283
301

新潟高等學校一覽

甲號

自昭和十七年
至昭和十八年

사6042

新潟高等學校一覽

（自昭和十七年度 至昭和十八年度）

發行所寄贈本

目次

【一】沿革……一
【二】學則……一
第一章 學年學期及休業日……一九
第二章 學科……一九
第三章 課程ノ修了及卒業ノ認定……二〇
第四章 生徒ノ入學、退學、休學及懲戒……二〇
第五章 授業料及入學料……二一
第六章 寄宿舍……二三
【三】生徒心得綱領……二四
【四】細則……二六
一、職制及處務規程……二六
二、各課校務分掌事項……二八

○教務課……二八
○生徒課……三〇
○圖書課……三二
○庶務課……三三
三、學級主任內規……三五
四、指導教官內規……三六
五、校旗取扱ニ關スル規程……三七
六、學級總代規程……三八
七、試驗進級卒業轉科轉類規程……三八
八、通學生規程……四〇
九、制服規程……四〇
一〇、生徒心得……四二
○遲二刻、缺課……四二
○諸願及屆……四二
一一、醫務室規程……四三
一二、寄宿舍警火規程（省略）……四四
一三、寄宿舍非常手配規程（省略）……四四

一四、圖書ニ關スル規程……四四
一五、物品會計規程施行細則……四七
一六、非常警備ニ關スル規程……五一
一七、宿直心得……五二
一八、文書處理及保存規程……五四
一九、御眞影奉安奉護規程……五七
二〇、被服規程（省略）……五九
【五】生徒本籍府縣別表……六〇
【六】職員……六四
【七】舊職員……七〇
【八】生徒……七七
【九】卒業者……八七
【一〇】關係法令……一四六
○高等學校令……一四六
○高等學校規程……一四九
○高等學校高等科學力檢定規程……一六三
○高等學校高等科入學資格試驗規程……一六五

○關係法規中主ナルモノノ文部法令集纂索引……一六六

附錄

一、新潟高等學校報國團規則……一六八
二、新潟高等學校報國團會計規程……一七一
三、新潟高等學校報國團六花寮部規程……一七五
四、新潟高等學校報國隊規則……一七七
五、新潟高等學校同窓會會則……一八一

教科書一覽表
學校建物配置圖
新潟高等學校防空計畫

新潟高等學校一覽

【一】沿革

明治ノ初年一度設ケラルタル新潟學校カ廢セラレテカラ、當地方ニ於テ高等專門教育機關ニ入ル門戸ヲ失ツテ、實ニ五十年ニ垂ントシタノテアツタ。明治十九年四月勅令第十五號ヲ以テ中學校令ヲ公布セラレ、同年十一月文部省告示第三號ヲ以テ高等中學校ノ設置區域ヲ定メラレ、新潟縣ハ其第四區ニ指定ノ上第四高等中學校ノ區域ニ編入セラレ、第四高等中學校ノ金澤ニ置カレタ際、直チニ篠崎縣令ヲ首トシテ當地方ノ官民一致ノ高等中學校設置運動トナツタカ、其目的ヲ達スルヲ得ス、明治二十一年度ニ於テ新潟縣ハ右設置區域負擔額金六千三百六拾壹圓參拾八錢七厘ヲ議決支出シタノテアツタ。

次テ明治三十二年全國ノ學事進歩ノ結果諸學校令ノ改正トナリ、再ヒ高等學校設置ノ運動カ起ツタトキ、新潟縣ニ於ケル運動ハ臨時縣會ニ於テ創設費金參拾萬九千圓寄附ノ議決ト内務大臣ヘノ建議トナツテ、新潟縣ニ於ケル高等學校設置ノ濫觴トナツタカ、長野縣ト位置爭奪ノ結果不幸兩縣共挫折スルニ至ツタ。其後明治四十五年度ニ文部當局ニ於テ信越地方ヲ撰擇シテ高等中學校ヲ新設スル

ノ議アルヤ、縣會ハ之ヲ速ニ新潟縣ニ設置セラレタキ旨ノ意見書ヲ內務大臣ニ提出シタカ、タマタマ、大正五年學制改革問題ノ進行ニ伴ヒ、高等教育機關增設ノ議起ルニ及ヒ、更ニ地方官民一致ノ高等學校設立ノ運動起リ、縣市教育會ノ意見書提出トナリ、十二月新潟縣會ノ議決ヲ以テ高等學校設立ニ關スル意見書ヲ內務大臣ニ提出シ、終ニ大正七年五月新潟市ニ設立スルノ確定ヲ見ルニ至ツタノテアル。

斯クテ大正七年十二月新潟縣會ニ於テ設備費金四拾九萬六千貳百圓寄附ノ議決ヲナシ、新潟市會ニ於テモ敷地(二万四十七坪七合)全部ノ寄附ノ申請ヲナシ、後ニ政府ノ追加豫算トナリ、大正七年ヨリ工ヲ起シテ、大正八年四月新潟高等學校ノ官制ノ制定ト共ニ遂ニ其實現ヲ見ルニ至ツタノテ、實ニ新潟高等學校ノ設置運動カ始メテ起ツテカラ三十餘年間ノ新潟縣地方官民ノ努力ノ結果テアル。

○大正八年

四月十四日　勅令第百十二號ヲ以テ文部省直轄學校官制ヲ改正シ同日勅令第百十三號ヲ以テ新潟高等學校職員ノ定員ヲ校長一人、教授十六人、書記三人ト定メラル

四月十五日　公立中學校長(東京府立第三中學校長)八田三喜本校教授ニ任シ學校長事務取扱ヲ命セラル

四月十六日　文部省令第十三號ヲ以テ新潟縣新潟市ニ新潟高等學校ヲ設置シ九月ヨリ授業開始ノ件並ニ同日文部省告示第百十九號ヲ以テ本校事務所ヲ文部省內ニ設置ノ旨告示セラル

五月廿四日　文部省告示第百五十九號ヲ以テ本校事務所ヲ六月一日ヨリ新潟縣新潟師範學校內ニ移ス旨告示セラル

七月十一日ヨリ十四日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ同月二十日生徒百六十名ノ入學ヲ許可ス

九月十日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ヲ定ム

九月十一日ヨリ授業ヲ開始シ假寄宿舍ヲ二ケ所ニ設ケ第一寮(新潟縣衛生會建物)第二寮(民家)ト稱ス

同月　制服規程、學級總代規程、通學生規程、假寄宿舍規程、生徒心得綱領、生徒心得、生徒成績考查規程、圖書ニ關スル規程、試驗進級卒業規定ヲ定ム

十月　本校職制及處務規定ヲ定ム

十一月　非常警備ニ關スル規程、宿直心得ヲ定ム

○大正九年

三月　文部大臣ノ許可ヲ受ケ物品會計規程施行細則ヲ定ム

五月卅一日　勅令第百八十號ヲ以テ本校職員定員中教授二十人、書記四人、助教授一人ト改正セラル

六月十二日　學校長事務取扱教授八田三喜本校々長兼教授ニ任セラル

六月十四日　文部大臣ヨリ學則中追加ノ件許可セラル

七月十一日ヨリ十四日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百三十八名ノ入學ヲ許可ス

七月　假寄宿舍ノ內第二寮ヲ閉鎖ス

八月廿二日　新築校舍(西大畑町)ヘ移轉ス

八月三十日　新築寄宿舍ヲ開ク
九月六日　文部省告示第四百十號ヲ以テ本校ノ事務ヲ新潟市西大畑町新潟高等學校ニ取扱フ旨告示セラル
九月七日　假寄宿舍第一寮ヲ新潟高等學校寄宿舍東寮ト改稱ス
九月八日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス
九月　制服規程、生徒心得及試驗進級卒業規程ヲ改正シ假寄宿舍規程ヲ廢シ新ニ寄宿舍規程ヲ定ム
九月二十日　宿直心得ノ一部ヲ改正ス
十月廿五日　敎育ニ關スル　勅語謄本ヲ下賜セラル

○大正十年

三月十八日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百四十二名ノ入學ヲ許可ス
三月三十日　勅令第五十號ヲ以テ本校職員定員中敎授二十五人、助敎授四人、書記五人ト改正セラル

○大正十一年

二月一日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス
三月十日　第一回文科五十九名、理科五十一名卒業ス
三月十八日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百五十名ノ入學ヲ許可ス
六月一日　本校落成式ヲ擧行ス

十月二十日　天皇、皇后兩陛下ノ　御眞影並ニ　皇太子殿下ノ　御眞影ヲ拜戴ス

○大正十二年

三月八日　第二回文科五十八名、理科四十九名卒業ス
三月十八日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百三十一名ノ入學ヲ許可ス
三月廿一日　校友會規則ノ一部ヲ改正ス
六月二日　創立記念學術講演會ヲ開ク
十二月二十一日　校友會規則ノ一部ヲ改正ス

○大正十三年

二月十九日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス
三月五日　圖書ニ關スル規程ノ一部ヲ改正ス
三月八日　第三回文科七十名、理科五十四名卒業ス
三月十八日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百四十名ノ入學ヲ許可ス
六月廿八日　開校記念第二回學術講演會ヲ開ク

○大正十四年

三月二日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス
三月九日　第四回文科五十四名、理科五十八名卒業ス
三月十八日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ生徒百四十名ノ入學ヲ許可ス
四月一日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助敎授三人、書記六人ト改正セラル

六月一日　開校記念第三回學術講演會ヲ開ク

○大正十五年

三月九日　第五回文科六十五名、理科六十六名卒業ス

三月十七日ヨリ二十五日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ四月十九日文科七十一名、理科七十三名ノ入學ヲ許可ス

六月一日　開校記念第四回學術講演會ヲ開ク

○昭和元年

十二月二十六日　大正天皇陛下ノ奉悼式ヲ擧行ス

○昭和二年

二月七日　大正天皇斂葬遙拜式ヲ擧行ス

三月九日　第六回文科五十六名、理科六十三名卒業ス

三年十七日ヨリ二十四日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ四月七日文科七十二名、理科七十三名ノ入學ヲ許可ス

三月廿九日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

六月一日　開校記念第五回學術講演會ヲ開ク

七月五日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

十二月二十七日　勅令第三百六十五號ヲ以テ本校職員定員中助手一人ヲ加ヘラル

○昭和三年

三月八日　第七回文科六十五名、理科六十九名卒業ス

三月十七日ヨリ二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十八日文科七十四名、理科七十六名ノ入學ヲ許可ス

四月九日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

六月二日　開校記念第六回學術講演會ヲ開ク

七月十四日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

九月　醫務室ヲ設ク

十月十日　天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

十月廿九日　勅令第二百五十七號ヲ以テ本校職員定員中生徒主事一人、生徒主事補一人ヲ加ヘラル

十一月十日　御大禮奉祝式ヲ擧行ス

○昭和四年

三月八日　第八回文科六十六名、理科六十二名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十七日文科六十六名、理科六十七名ノ入學ヲ許可ス

三月二十日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

六月一日　開校十週年記念式ヲ擧ケ終テ開校記念第七回學術講演會ヲ開キ同時ニ十年勤續者ニ記念品ヲ授與ス

十月二日　神宮式年遷宮奉拜式ヲ擧行ス

○昭和五年

三月九日　第九回文科六十八名、理科六十五名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十六日文科六十七名、理科七十二名ノ入學ヲ許可ス

四月九日　校友會規則改正

五月卅一日　開校記念第八回學術講演會ヲ開ク

○昭和六年

三月六日　昭和三年十月十日拜戴ノ　天皇皇后兩陛下ノ　御眞影ヲ奉還ス

三月六日　天皇　皇后兩陛下ノ　御眞影ヲ拜戴ス

三月九日　第十回文科六十一名、理科五十一名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十七日文科七十二名、理科七十五名ノ入學ヲ許可ス

五月三十日　開校記念第九回學術講演會ヲ開ク

九月八日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

十月卅一日　明治記念第一回學術講演會ヲ開ク

○昭和七年

三月九日　第十一回文科五十名、理科六十三名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十六日文科六十五名、理科六十七名ノ入學ヲ許可ス

三月卅一日　學校長棄教授八田三喜依願免本官竝兼官、德島縣立德島中學校長岡上梁學校長ニ任セラル

五月廿八日　開校記念第十回學術講演會ヲ開ク

十一月五日　明治記念第二回學術講演會ヲ開ク

十二月二十七日　勅令第三百九十五號ヲ以テ本校定員中助教授ノ三人ヲ二人ニ改メ助手一人ヲ削ラル

○昭和八年

二月二十日　御眞影奉安奉護規程ヲ定ム

三月九日　第十二回文科五十八名、理科七十一名卒業ス

三月十七日ヨリ二十日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十六日文科六十六名、理科六十五名ノ入學ヲ許可ス

六月三日　開校記念第十一回學術講演會ヲ開ク

九月八日　被服給與規程認可ヲ受ク

十月五日　本校校庭ニ於テ縣下中等學校及青年訓練大會擧行第二師團長東久邇宮殿下御親閲ノ爲メ御來校御小憩遊ハサル

十月三十日　明治記念第三回學術講演會ヲ開ク

十一月十日　國民精神作興ノ　勅語奉讀式擧行
十一月十四日　本校卒業生有志ヨリ寄附ノ前校長八田三喜胸像竝基受領中庭ニ建設ス
十二月二十三日　皇太子殿下御降誕ニ付職員生徒講堂ニ集リ奉祝

○昭和九年

三月九日　第十三回文科六十三名、理科六十三名卒業ス
三月十七日ヨリ二十日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ三月二十七日文科五十四名、理科五十六名ノ入學ヲ許可ス
三月卅一日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス
六月二日　開校記念第十二回學術講演會ヲ開ク
八月八日　學校長岡上梁廣島高等學校長ニ轉任　文部省督學官青木存義學校長ニ任セラル
十月三十日　第四回明治記念學術講演會ヲ開ク

○昭和十年

三月八日　第十四回文科五十三名、理科六十一名卒業ス
三月十七日ヨリ二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科五十六名、理科六十名ノ入學ヲ許可ス
三月廿二日　雨天體操場（十間、八間）落成引繼ク
三月廿四日　雨天體操場連絡廊下（九間）新築落成ス
四月十九日　學校長青木存義卒去ニ付敎頭藤田猪太郎學校長事務取扱トナル

四月廿七日　文部省思想局調査課長岡田恒輔學校長ニ任セラル
六月十五日　開校記念第十三回學術講演會ヲ開ク
七月十五日　校友會ヨリ寄附シタル運動器具置場一棟受入ル
九月六日、　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則第二十二條中改正ス
十一月九日　明治記念第五回學術講演會ヲ開ク

○昭和十一年

三月九日　第十五回文科五十二名、理科六十名卒業ス
三月十二日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則第三十六條中改正ス
三月十七日ヨリ同月二十一日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科五十八名、理科五十四名ノ入學ヲ許可ス
三月廿三日　生徒主事官舍敷地一八〇坪買收受入ル
三月廿六日　文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則第二十六條中改正ス
四月一日　寮生規約ヲ改正ス
四月廿七日　新營生徒主事官舍受入ル
六月六日　開校記念第十四回學術講演會ヲ開ク
九月一日　校友會規則並校友會會計規程ヲ改正ス
同月同日　校友會綱領ヲ創定ス
十月廿九日　寮生ヨリ寄附シタル建物清和寮一棟受入ル

十一月五日　增築特別實驗室受入ル
十一月二十四日　明治記念第六回學術講演會ヲ開ク

○昭和十二年

二月十一日　校旗ヲ制定シ樹立式ヲ行フ
三月九日　第十六回文科六十一名、理科五十八名卒業ス
三月十七日ヨリ同二十二日迄　入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科五十七名、理科五十六名ノ入學ヲ許可ス
四月一日　寮生規約中改正ス
四月十四日　五箇條御誓文發布七十週年記念式擧行
五月三十日　本校講堂ニ於テ同窓會設立總會開催
六月十二日　開校記念第十五回學術講演會開催
八月十一日　學校長岡田恒輔第七高等學校造士館長ニ轉任、靜岡高等學校教授川瀨光順學校長ニ任セラル
十月十一日　全校員彌彦神社ニ參拜戰勝祈願祭擧行
十月十三日　本日ヨリ一週間　國民精神總動員强調週間實施

○昭和十三年

三月九日　第十七回文科五十八名、理科五十九名卒業ス
三月十六日ヨリ同月二十五日迄ノ間ニ於テ入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科五十七名、理科五十七名ノ入學ヲ許可ス
四月一日　寮生規約中改正實施
六月十一日　開校記念第十六回學術講演會開催
七月十一日　運動場貸付規定ヲ定メ當日ヨリ之ヲ施行ス
八月廿七日　本日ヨリ三十一日迄五日間全校員夏季勤勞作業ヲ實施ス

○昭和十四年

三月九日　第十八回文科五十一名、理科四十九名卒業ス
三月十六日ヨリ同月二十五日迄ノ間ニ於テ入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科八十名、理科七十七名ノ入學ヲ許可ス
五月廿二日　陸軍將校學校配屬令公布十五週年記念行事ノ一トシテ東京ニ於テ全國青少年學徒ヲ御親閱アラセラルヽ事トナリ學校長以下職員三名、生徒十名代表トシテ上京受閱ス
同月同日　青少年學徒ニ對シ　勅語ヲ賜フ
六月一日　創立二十周年記念日ニ相當スルモ事變下ニ付學校トシテハ格別ノ行事等ヲ行ハス又記念事業等ノ計畫ナシ
但シ同窓會ニ於テ記念事業ヲ計畫シ之ヲ實行ニ着手ス
七月六日ヨリ同月十日迄及八月廿七日ヨリ同月卅一日迄各五日間宛全校員集團勤勞作業ヲ行フ
夏季休暇中大學高等專門諸學校等ノ生徒中ヨリ興亞青年報國隊トシテ滿洲、北

支ニ派遣サル、コト、ナリ本校ヨリ指導教官一名(教授)生徒五名參加ス

八月十六日　青少年學徒ニ下シ賜ハリタル　勅語ヲ拜戴ス

八月廿七日　寄宿舍ノ裏手校地ヲ借受ケテ建設シタル寄宿舍一棟竣工シ之ヲ西寮ト名付ケテ本日ヨリ開設シ生徒定員四十名ヲ收容ス

九月一日　本日ヲ始メトシ毎月一日ヲ興亞奉公日ト定メラレタルニツキ其ノ實踐事項ヲ定メテ之ヲ實施ス

九月二十八日、二十九日　陸軍將校學校配屬令公布十五周年記念行事ノ一トシテ實施セラレタル縣下中等學校聯合演習ニ全校生徒參加ス

○昭和十五年

一月十三日　學校長川瀨光順休職ヲ命セラレ、教授兼生徒生事(敎頭)藤田猪太郎學校長事務取扱ヲ命セラル

二月十一日　全職員生徒ニ依リ新潟高等學校銃後報國會ヲ設立シ紀元節拜賀式後發會式ヲ擧行ス

三月八日　第十九回文科五十二名、理科五十七名卒業ス

三月十六日ヨリ同月廿八日迄ノ間ニ於テ入學者選拔試驗ヲ施行シ四月八日文科八十名、理科百二十名ノ入學ヲ許可ス

四月一日　昭和十五年度ヨリ理科甲類ヲ一學級增設セラル

休職中ノ川瀨校長旅順高等學校長ニ任セラル

四月八日　入學式擧行

四月九日　始業式擧行

五月十日　京城帝國大學豫科部長中村寅松本校校長ニ任セラル

五月二十日　新任中村校長着任

五月三十日　勅令第三百五十九號ニ依リ職員定員令中敎授二十五人ヲ二十六人ニ助敎授二人ヲ三人ニ改メラル

七月六日　夏季休暇ノ始メ及終リニ於テ各三日間勤勞作業ヲ實施ス

九月十日　豫テ同窓會記念事業トシテ建築中ノ東寮工事竣成ニ付本日ヨリ生徒三十五名ヲ收容ス

十一月七日　報國團結團式

十一月十日　紀元二千六百年奉祝式ニ勅任官及奏任官並ニ判任官各代表者參列尙奉祝歌齊唱

十一月十二日　報國團ニ參加ノ爲メ敎官一名生徒二名參列ス

○昭和十六年

一月六日　報國團規則承認サル

三月七日　報國團會計規程承認サル

三月八日　奉安庫移築改裝ニ付　御眞影ヲ校長室ニ奉還ス

三月三十日　第二十回文科五十六名、理科五十五名卒業ス

三月三十日　三月十六日ヨリ同二十八日迄ノ間ニ於テ入學者選拔試驗ヲ施行シ文科八十名、

理科百二十名ノ入學ヲ許可ス

四月八日　入學式

四月九日　始業式

四月九日　生徒心得綱領改正ノ件承認サル

四月九日　報國團六花寮部規程承認サル

五月廿三日　勅令第五百九十九號ニ依リ職員定員令中教授二十六人ヲ二十八人ニ改メラル

六月一日　本學年ニ入リテハ文部當局ノ指示ニ從ヒ勤勞報國ノ時間ヲ增加スルコトヽナリ時宜ニ依リテ構內清掃、食糧增產等ノ作業ヲ實施シツヽアリ、六月一日ヨリ同月十二月迄ノ間ニ於テ一年生ハ文科、理科ノ二班ニ別レ各五日間宛南魚沼郡土樽村今成農場開墾作業ニ從事セリ

六月十九日　工事中ノ奉安庫竣成ニ付午後三時ヨリ神官ノ修祓ニ續イテ　御眞影奉還式ヲ擧行ス

八月廿七日　學校報國隊組織ニ關スル件文部大臣ノ承認ヲ受ク

九月　新潟高等學校報國隊規則ヲ制定シテ文部大臣ニ報告ス

九月一日　學校一覽ハ從來四月一日現在ヲ以テ四月上旬刊行シ來リタルモ諸種ノ都合ニ依リ本年度ヨリ毎年九月一日現在ヲ以テ刊行スルコトニ改ムルト同時ニ內容態裁ヲ改善シ且ツ刊行シタル一覽乙號ニ揭載セル舊職員、現在生徒及卒業生氏名ヲ之ニ收メ尙ホ參考トシテ關係法規等ヲ編入スルコトヽス

右各事項ノ改正ト同時ニ一覽乙號ノ刊行ヲ中止シ從ツテ一覽甲號ノ稱ヲ廢テシ新潟高等學校一覽トス

十月一日　各課分掌事項ヲ決定ス

十月四日　報國團ノ主催ニテ卒業生戰歿者慰靈祭ヲ執行ス

十二月十六日　全校職員生徒白山神社ニ參拜戰勝祈願祭ヲ擧行ス

○昭和十七年

一月八日　每月一日ノ與亞奉公日ヲ廢シ本日ヨリ每月八日ヲ大詔奉戴日ト定メラル當日ノ實踐事項等ハ與亞奉公日ニ同シ

三月一日　本日ヨリ三月十三日迄ノ間ニ於テ入學者選拔試驗ヲ施行シ四月一日文科八十名理科百六十名ノ入學ヲ許可ス

三月八日　第二十一回文科六十九名、理科六十八名卒業ス

三月　昭和十七年度ヨリ理科乙類ヲ一學級增設セラル

學級ノ增加ニ伴ヒ普通教室ニ不足ヲ來シタルヲ以テ從來ノ生徒課、體操科ノ室ノ間仕切リヲ取除キ又合併教室ニ間仕切リヲ取設ケテ普通教室ニ改造シテ地鑛教室ヲ合併教室兼用トシテ新學年ヨリ之ヲ使用ス

四月一日　入學式擧行

四月四日　始業式擧行

三月廿四日　學則第二條、第三條、第二十六條、第三十六條ヲ改正シ新學年ヨリ施行ノ件文

部大臣ニ報告ス

五月一日　學則第二十三條、第三十條改正ノ件許可ヲ受ク

五月三十日　勅令第五百五十三號ヲ以テ定員令改正本校教授二十八人ヲ三十一人ニ改メラル

九月二十日　第二十二回文科八十四名、理科百八名卒業ス

十一月一日　勅令第七百四十九號ヲ以テ定員令改正教授三十一人ヲ三十人ニ改メラル

【二】新潟高等學校學則

大正八年九月創定
大正九年九月改正
大正十三年二月改正
昭和二年三月改正
昭和三年四月改正
昭和四年三月改正
昭和六年九月改正
昭和十一年三月改正
昭和十七年三月改正

大正九年六月追加
大正十四年二月改正
昭和二年七月改正
昭和三年七月改正
昭和九年九月改正
昭和十一年五月改正
昭和十七年五月改正

第一章　學年學期及休業日

第一條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二條　學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ニ始マリ九月三十日ニ終ル

第二學期　十月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三條　休業日左ノ如シ

日曜日

大祭日祝日

開校記念日

夏期休業　自七月二十一日　至八月十九日

冬期休業　自十二月二十五日　至一月五日
春期休業　自二月二十四日　至三月十五日

第四條　式日ハ左ノ如シ
天長節
明治節
一月一日
紀元節
開校記念日（六月一日）

第五條　式日ニハ職員及生徒學校ニ參集シ所定ノ式ヲ行フ

第二章　學科

第六條　本校ノ學科ハ大正八年文部省令第八號所定ノ高等學校高等科文科及理科トス

第七條　前條各科ノ學科目中外國語ハ英語及獨逸語トス

第三章　課程ノ修了及卒業ノ認定

第八條　每學期一回ヲ、成績考査ノ爲メ指定ノ日ヲ以テ學期試驗ヲ行フ

第九條　各學科目ノ學期成績ハ每學期行フ學期試驗ノ評點ニ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム學期

試驗ヲ缺キタル學科ノ學期成績ハ平素ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムルコトアルヘシ

第十條　各學年ノ課程ノ修了ハ每學期ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

第十一條　各學科目ノ成績評點ハ百點ヲ以テ滿點トス

第十二條　學年成績左ノ各號ノ一ニ當ルモノハ之ヲ當該學年ノ課程ヲ修了セルモノト認メ進級又ハ卒業セシム

一、各學科目　六十點以上ノモノ

二、五十點以上六十點未滿ノ學科目總學科目數ノ三分ノ一以內ニシテ其他ノ學科目六十點以上總學科目平均六十點以上ノモノ

但前項ノ規定ニ該當セサルモノト雖モ詮衡ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

第十三條　操行不良ノモノ、缺席、缺課、遲刻等ノ多キモノハ前條ノ規定ニ拘ハラス進級又ハ卒業セシメサルコトアルヘシ

第十四條　試驗ヲ行ハサル學科目ノ成績ハ平素ノ成績ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條　學期成績ヲ缺キタル學科目ノ學期成績ハ其ノ學科目ノ他ノ學期成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四章　生徒ノ入學、退學、休學及懲戒

第十六條　入學ノ期ハ每年學年ノ始トス

第十七條　入學志願者ノ手續及選拔ニ關スル規程ハ每年別ニ之ヲ定ム

第十八條　入學考査料ハ金五圓トス

一旦納付シタル考査料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還付セス

第十九條　入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ指定ノ期日迄ニ入學料ヲ納付スヘシ

第二十條　疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ退學セントスル時ハ其ノ事由ヲ詳記シテ本校ニ願ヒ出ツヘシ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ除名ス

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

六　同一學年ニ在學滿二箇年ヲ超ユル者（陸海軍兵役ニ服シタル者及成業ノ見込充分ナルモノニシテ特別ノ事情アルモノハ此ノ限リニアラス）

七　授業料ノ怠納十五日ニ及フ者

但此ノ場合ニハ情狀ニ依リ詮議ノ上特別ノ取扱ヒヲナスコトヲ得

第二十二條　學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以內ニ再入學ヲ志願シタル時ハ詮衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ學年ノ始メヨリ三十日以內ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十三條　疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ニシテ休學セントスル者ハ詮議ノ上其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ヨリ原級ニ復セシム

但シ特別ノ場合ハ更ニ一學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十四條　陸海軍ノ兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中休學ヲ許可シ滿期ノ時ハ原學年ニ復セシム

第二十五條　生徒ノ本分ヲ缺キタルモノハ其ノ輕重ニヨリ謹愼、停學、又ハ退學ニ處ス

第五章　授業料及入學料

第二十六條　授業料ハ一學年間金八拾圓トス

但シ第三學年ニ在リテハ當分其ノ十二分ノ六ニ相當スル額トス

授業料ノ金額及徵收期日左ノ如シ

	徵收期日
第一期　金四拾圓	自四月三日　至四月九日
第二期　金四拾圓	自十月三日　至十月九日

第二十七條　轉學又ハ再入學シタル者ノ授業料ハ其ノ學期ニ於テ納付スヘキ分ヨリ之ヲ徵收ス

第二十八條　陸海軍兵役ニ服スルタメ休學ノ許可ヲ得タル者ハ授業料ハ之ヲ徵收セス

但學期始業後授業料徵收期日前ニ服役スル者並授業料徵收期日後ニ復校スル者ニ對シテハ其學期ニ於テ納付スヘキ分ヲ徵收ス

第二十九條　授業料未納中ニ退學スル者ハ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ
但退學又ハ除名ニ處セラレタル者ニ就テハ該授業料ヲ免除スルコトアルヘシ
第三十條　授業料ハ缺席及停學等ノ爲メ之ヲ免除スルコトナシ
但シ休學ヲ許可シタル者ニ對シテハ次學期以降ニ分納スヘキ授業料ヲ免除ス
第三十一條　（削除）
第三十二條　入學料ハ金參圓トス

第六章　寄宿舍

第三十三條　新ニ入學セル本校第一年生徒ハ寄宿舍ニ入ルヘキモノトス但自宅通學ノ止ムヲ得サル事情アルモノハ審査ノ上通學ヲ許スコトアルヘシ寄宿スヘキ生徒數所定ノ員數ヲ超過スルトキハ通學ヲ命スルコトアルヘシ
第三十四條　寄宿生ハ濫リニ退舍スルコトヲ許サス
第三十五條　寄宿生ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ種類又ハ病狀ニヨリ期ヲ限リ退舍又ハ外泊セシムルコトアルヘシ
第三十六條　寄宿生ハ寄宿料トシテ一學年間金貳拾貳圓ヲ納付スヘシ
寄宿料ノ納付期日及金額左ノ如シ

	徵收期日
第一期　金拾貳圓	自四月三日　至四月九日
第二期　金拾圓	自十月三日　至十月九日

但シ第三學年ノ寄宿生徒ニ付テハ當分第一期分ノミヲ徵收ス
寄宿料ノ怠納者ニ對シテハ授業料怠納ニ關スル規程ヲ準用ス
第三十七條　寄宿生ハ毎月七日迄ニ前月分ノ食費ヲ支拂フヘシ
第三十八條　（省略）

附　則

本學則實施ニ必要ナル規程ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本學則中第九條、第十二條、第十三條、第十七條、第十八條ハ昭和三年度ヨリ施行ス

附　則

本學則中第二十一條、第二十九條、第三十一條ノ改定ハ昭和六年九月九日ヨリ施行ス

附　則

本學則中第二條、第八條、第九條、第十一條、第十二條、條十三條、第二十六條ノ改正ハ昭和九年四月一日ヨリ施行ス

附　則

本學則中第二十二條ノ改正ハ昭和十年九月六日ヨリ施行ス

附　則

本學則中第二十六條、第三十六條ノ改正ハ昭和十一年四月一日ヨリ施行ス

【三】　生徒心得綱領

本校生徒タルモノハ左ノ條々ヲ服膺シ剛健中正ニシテ國家ノ重キニ任スヘキ人材タラシコトヲ期スヘシ

一　皇國ノ使命ヲ體シ盡忠報國ノ誠ヲ致スヘシ

一　學徒ノ本分ヲ盡シ學行一如ノ實ヲ擧グヘシ

一　全個一體ノ眞義ニ徹シ敬愛協和ノ念ヲ厚ウスヘシ

【四】　細　則

一、職制及處務規程

本校ニ於テ職制及處務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　教　頭　教授一名教頭トス
　　教頭ハ各課ヲ統ヘテ其ノ事務ヲ監督ス

教頭ハ校長事故アルトキハ學校長職務規程第二條ニ準シ其ノ事務ヲ代理ス

二　校務分課　校務ヲ教務、生徒、圖書及庶務ノ四課ニ分ツ各課ニ課長一名及課員若干名ヲ置キ本校職員ヨリ學校長之ヲ命ス
　各課長ハ其ノ課員ヲ統ヘテ其課ノ事務ヲ處理ス
　各課長ハ學校長ノ許可ヲ受ケテ其ノ課ニ係及主任ヲ定メ其ノ分掌ヲ定ムルコトヲ得

三　教務課　教務課ニ於テハ學科ノ教授及研究ニ關スル事務ヲ處理ス
　一學科目若ハ數學科目ヲ合セテ學科主任ヲ置ク
　學科主任ハ其ノ學科目ノ課程及教授ニ關スル事務ヲ處理ス
　學科主任ハ處務ニ關シテハ教務課ニ屬ス

四　生徒課　生徒課ニ於テハ生徒ノ訓育及ヒ監督ニ關スル事務ヲ處理ス
　學級ニ主任及ヒ指導教官ヲ置ク
　學級主任ハ其ノ學級ニ關スル事務ヲ處理ス
　指導教官ハ分擔生徒ニ關スル事務ヲ處理ス
　學級主任及ヒ指導教官ハ處務ニ關シテハ生徒課ニ屬ス

五　圖書課　圖書課ニ於テハ圖書ノ保管出納及閱覽ニ關スル事務ヲ處理ス
　特別教室其ノ他圖書室以外ニ於ケル圖書ノ分掌者ハ其ノ事務ニ關シテハ圖書課ニ屬ス

六　庶務課　庶務課ニ於テハ人事、文書記錄、會計用度、營繕及雇傭其ノ他一切ノ庶務ニ關スル事務ヲ處理ス

其他ノ課ニ於ケル分管ノ物品文書記錄ニ關シテハ其ノ分管者ハ庶務課ニ屬ス

七　評議會　教頭、課長及特ニ學校長ヨリ指名シタル評議員ヲ以テ評議會ヲ組織ス
評議會ハ學校長之ヲ召集シ重要ナル事務ニツキ諮詢ス
議會ノ議事ハ協議體トス

八　教授會　教授及特ニ指名シタル職員ヨリ組織ス
教授會ハ必要アルトキニ學校長之ヲ招集シ其意見ヲ徵ス

九　協議會　各課ノ事務ニ關シ必要アルトキハ課外ノ職員ヲ加ヘテ協議會ヲ開ク
協議會ハ教頭或ハ課長ノ請求ニヨリ教頭之ヲ招集ス

十　委任權限　教頭及課長ノ專決ニ屬スヘキ委任權限ハ毎學年ノ初メニ之ヲ定ム
委任權限內ノ事務ハ處理ノ後之ヲ學校長ニ報告スヘシ

二、各課校務分掌事項

○教務課

一　學科課程、教授要目ニ關スルコト
二　教官ノ分擔、日課ノ配當及授業時間割ニ關スルコト
三　教科用圖書ニ關スルコト
四　學級ノ編成ニ關スルコト

五　授業上ノ設備ニ關スルコト
六　授業及休業ニ關スルコト
七　第二外國語、選擇科目ニ關スルコト
八　生徒ノ募集、入學考査及入學ニ關スルコト
九　高等學校高等科學力檢定ニ關スルコト
十　生徒ノ學籍簿及出席簿ニ關スルコト
十一　生徒ノ休學、退學及除名等ニ關スルコト
十二　生徒ノ轉科、轉類ニ關スルコト
十三　生徒ノ試驗及成績考査ニ關スルコト
十四　生徒ノ進級及卒業ニ關スルコト
十五　卒業生ノ大學入學及卒業後ノ動靜ニ關スルコト
十六　卒業生中等教員無試驗檢定ニ關スルコト
十七　在學及成績、卒業ノ證明ニ關スルコト
十八　生徒ノ徵兵事務ニ關スルコト
十九　生徒ノ身體檢査及體力檢査ニ關スルコト
二十　生徒ノ行軍及野外教練等ニ關スルコト
二十一　教官會議ニ關スルコト
二十二　教官ノ缺勤、旅行等ニ關スルコト

○生徒課（體錬科、生徒課ト協力ノコト）

二十三　教室及教官室ニ關スルコト
二十四　教務上ノ諸掲示ニ關スルコト
二十五　教務上ノ諸統計ニ關スルコト
二十六　諸儀式及講演等ニ於ケル場内整備並職員生徒ノ入退場ニ關スルコト
二十七　教室及授業參觀人ノ取扱ヒニ關スルコト
二十八　教材費、演習費等ノ出納管理ニ關スルコト
二十九　教務課ニ屬スル備品ノ保管整理ニ關スルコト
三十　教務課ニ屬スル文書ノ起案整理保存ニ關スルコト
三十一　其ノ他教授上必要ナル一切ノ事項

○生徒課

一　生徒ノ訓育指導、監督及誨告並處罰ニ關スルコト
二　生徒ノ勤惰、操行等其ノ他一般性行調査ニ關スルコト
三　生徒ノ缺席、缺課、遲刻調査ニ關スルコト
四　生徒ノ衛生、保健並ニ發病者ノ處置ニ關スルコト
五　生徒ノ服裝ニ關スルコト
六　生徒ノ集會、掲示及寄稿ノ監督取締ニ關スルコト
七　生徒及親權者ノ住所ニ關スルコト

八　生徒ノ刊行物取締ニ關スルコト
九　學級主任、指導教官並ニ學級總代ニ關スルコト
十　生徒ノ成績通告ニ關スルコト
十一　生徒ノ休學、退學等其ノ他身上相談ニ關スルコト
十二　生徒保證人並ニ家庭トノ連絡ニ關スルコト
十三　徴兵事務ニ關スルコト
十四　旗手ニ關スルコト
十五　選手ニ關スルコト
十六　生徒ノ盜難及紛失物、遺失物ニ關スルコト
十七　生徒ノ乘車船運賃割引證並ニ身分證明書ノ發行ニ關スルコト
十八　貸費生、給費生其ノ他生徒ノ學費ニ關スルコト
十九　報國團ニ關スルコト
二十　勤勞作業ニ關スルコト
二十一　卒業生ノ性行等證明ニ關スルコト
二十二　入寮及退寮ニ關スルコト
二十三　六花寮ノ管理、警備、衞生及食事ニ關スルコト
二十四　寮生徒ノ指導監督ニ關スルコト
二十五　六花寮ノ會計事務ニ關スルコト

二十六　六花寮ノ宿直ニ關スルコト
二十七　生徒ノ福利施設ニ關スルコト
二十八　生徒集會所ノ管理及營業者ノ取締ニ關スルコト
二十九　清和寮ノ管理並ニ取締ニ關スルコト
三十　諸儀式及講演會等ニ於ケル場内整理並ニ生徒ノ入退場ニ關スルコト
三十一　生徒課（六花寮、集會所、清和寮ヲ含ム）ニ屬スル備品ノ保管整理ニ關スルコト
三十二　生徒課ニ屬スル文書ノ起案及整理保存ニ關スルコト
三十三　其ノ他生徒ノ訓育監督等ニ關スル一切ノ事項

○圖書課

一　購入圖書ノ審議並ニ保管整理ニ關スルコト
二　圖書ノ閲覽、貸出ニ關スルコト
三　圖書目録ノ調製ニ關スルコト
四　書庫及閲覽室ニ關スルコト
五　生徒ノ讀物調査ニ關スルコト
六　文部省推薦及紹介圖書ニ關スルコト
七　寄託圖書ノ保管ニ關スルコト
八　寄贈圖書ノ受附ニ關スルコト
九　圖書課ニ屬スル備品ノ整理保管ニ關スルコト
十　圖書課ニ屬スル文書ノ起案及整理保存ニ關スルコト
十一　其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

○庶務課

一　御眞影及勅語謄本ノ奉安奉護ニ關スルコト
二　諸儀式並ニ講演會ニ關スルコト
三　學校長ノ官印及校印ノ管守ニ關スルコト
四　文書ノ接受及發送ニ關スルコト
五　學校一覽及統計報告ニ關スルコト
六　職員錄ノ原稿作製ニ關スルコト
七　諸記錄ニ關スルコト
八　諸規則ノ制定及改廢ニ關スルコト
九　郵便切手受拂並郵便物ノ處理ニ關スルコト
十　職員ノ進退、身分及服務ニ關スルコト
十一　職員ノ俸給、賞與、手當ニ關スルコト
十二　職員ノ叙位、叙勳及官等陞叙ニ關スルコト
十三　職員出勤簿ノ管理及調査ニ關スルコト

十四　職員ノ出張等ニ關スルコト
十五　教官ノ在外研究並ニ內地研究ニ關スルコト
十六　教官以外ノ職員ノ缺勤、早退、請暇、賜暇及忌引ニ關スルコト
十七　傭人ノ進退並ニ監督取締ニ關スルコト
十八　職員ノ乘車船運賃割引證並ニ身分證明書ノ發行ニ關スルコト
十九　傭外國人ニ關スルコト
二十　學校構內ノ整理並警備ニ關スルコト
二十一　學校ノ宿直ニ關スルコト
二十二　外來者ニ關スルコト
二十三　庶務ニ關スル文書ノ起案並ニ整理保存ニ關スルコト
二十四　其ノ他他課ノ分掌ニ屬セサル一切ノ事項

會計掛ハ會計ニ關スル事項ヲ處理ス

一　歲入、歲出、豫算及決算ニ關スルコト
二　國有財產及資金ノ管理ニ關スルコト
三　金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
四　物品ノ購入及不用品ノ處分ニ關スルコト
五　物品ノ出納及保管ニ關スルコト
六　營繕ニ關スルコト

七　會計檢查並ニ校內定期物品檢閱ニ關スルコト
八　會計帳簿ノ整理、保存ニ關スルコト
九　政府職員共濟組合ニ關スルコト
十　國民貯蓄組合ニ關スルコト
十一　庶務課ニ屬スル備品ノ保管整理ニ關スルコト
十二　會計ニ屬スル文書ノ起案及整理保存ニ關スルコト
十三　其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

三、學級主任內規

一、各學級ニ學級主任ヲ置ク
一、學級主任ハ所屬生徒ヲ指導督勵シ其學級ニ關スル訓育事項ヲ處理ス
一、學級主任ノ任期ハ一年トシ每學年ノ始メニ於テ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス
處理事項概ネ左ノ如シ
一、所屬生徒ノ學業、操行、勤惰ニ關シ不良ノ者アラハ之ヲ訓戒シ情狀重シト認ムルモノハ生徒主事ト協議スルコト
二、學校ト家庭トノ聯絡
例ヘハ不良成績、不行狀、缺席、缺課ノ多キモノアル時ハ父兄ニ注意シ或ハ場合ニ依リ父兄ヲ呼フ等

而シテ其ノ用務ハ生徒課員之ヲ處理ス

三、學校ノ命令、諭告、注意事項等ヲ生徒ニ傳達スルコト

例ヘハ入學ノ際ノ注意事項ノ如シ

四、所屬生徒ヨリ差出スヘキ宿所、轉宿、休學、退學、缺席、缺課等ノ願書、屆書ノ書類ヲ審査シ正當ト認ムルトキハ之ニ捺印シテ其ノ主管課ニ回附セシム

五、教務課生徒課ヨリ回附スル當該學級ノ成績表、出缺席調査表等ヲ審査スルコト

六、所屬學級、教室ノ整頓、座席ノ指定（學年始）

七、學級正總代、副總代決定ニ關スルコト

八、級會ニ關スルコト

四、指導教官内規

一、本校ニハ指導教官ヲ置ク

二、指導教官ハ個人的ニ指導生徒ノ學業、素行、健康等ヲ常ニ考慮シ之ニ適當ナル忠告ヲ與ヘ且ツ家庭ト連絡シテ其事情ニ應シ之カ相談ニ與ルモノトス

三、指導教官ハ生徒主事及學級主任ト常ニ連絡スルヲ要ス

四、指導教官ハ指導生徒トノ個人的接觸ヲ多クスル爲適宜會合ヲ催シ又生徒ヲシテ時々訪問ノ機會ヲ得シムルコト

五、指導教官ハ指導生徒ノ出席狀態ニ注意シ無屆缺席、缺課ノ有無ヲ取調ヘ之ニ訓戒ヲ與フルモノ

トス（訓戒ヲ要スル生徒名ハ其都度生徒課ヨリ通知ス）

六、指導教官ハ指導生徒ノカードヲ所持シ生徒ノ原籍、現住所、家庭ノ狀況、學資支辨ノ方法、讀書、趣味、運動、思想、交友、其他參考トナルヘキ事項ヲ記入シ置キ生徒訓育ノ資料トス

七、生徒ノ指導教官決定ハ生徒ノ出身地、趣味等ヲ考慮シ學校長之ヲ定ム

但シ一教官ノ指導生徒數ハ大體二十五名ヲ限度トス

五、校旗取扱ニ關スル規程

第一條　校旗ハ本校ヲ代表スル標識トス

第二條　校旗ハ儀式又ハ校外ニ於テ生徒行動ノ場合ニ是ヲ用フ

第三條　校旗ヲ用フル場合ハ其ノ都度學校長之ヲ指定ス

第四條　校旗ハ庶務課長之ヲ保管シ旗手之ヲ保護ス

但シ校旗ノ護衛ニ當ル生徒ノ選定ハ校旗ヲ用フル都度生徒主事之ヲ行フ

第五條　旗手ハ生徒中身體强健、品行方正、學業成績優良ナル者ヲ選ヒ學校長之ヲ命ス（正副二名）

第六條　校旗ハ旗手ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

但シ非常變災ノ場合及其組立ヲ解キテ覆ヲ付シタルトキ又ハ特ニ學校長ノ命アリタルトキハ此ノ限リニアラス

六、學級總代規程

第一條　各學級ニ正副總代各一名ヲ置ク

第二條　學級總代ハ學級主任ノ指揮ノ下ニ其ノ學級ニ關スル諸般ノ要務ニ任スルモノトス

第三條　學級總代ハ生徒主事、各學級主任ノ詮衡セル正副各二名ノ候補者中ヨリ學校長之ヲ任命ス

第四條　學級總代ノ推薦及任命ハ各學年ノ始メニ行フ
但シ第一學年ニアリテハ第二學期始メニ行フ

備考　學級總代ノ要務大體左ノ如シ
1. 擔任教官定刻ニ至ルモ教室ニ臨場セサル場合ハ教務課ニ出頭シ其指示ヲ受クルコト
2. 教室ノ清潔、整頓ニ任スルコト
3. 學校當局ヨリノ依頼及傳達ニ任スルコト等

七、試驗進級卒業轉科轉類規程

一　每學期一回宛成績考査ノタメ學期試驗ヲ行フ
二　學期試驗時間割ハ試驗開始前一週間以内ニ揭示ヲ以テ告示ス
三　學期試驗以外ニ何レノ學期内ニ在リテモ擔任教官必要ト認メタルトキハ臨時試驗ヲ行フコトアルヘシ

四　學期試驗ハ其ノ學期内ニ於テ履習シタル課程若シクハ其ノ學年中ニ履習シタル課程ニツキコレヲ行フ

五　學科目ニヨリテハ學期試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ

六　學年ノ途中ニテ授業ノ終了シタル學科目ニアリテハ隨時學期試驗ヲ行フコトアルヘシ

七　學科目ノ學期成績評點ハ學期試驗評點ニ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム
試驗ヲ缺キタル學科目ノ學期成績ハ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトアルヘシ

八　平素成績評點ハ臨時試驗評點日課點及勤惰等ヲ參酌シテ之ヲ定ム但シ臨時試驗ヲ行ハサルモノハ日課點及勤惰ニヨリ之ヲ定ム

九　學期試驗ヲ行ハサル學科目ノ學期成績評點ハ日課點及勤惰ニヨリ之ヲ定ム

十　各學科目ノ學年成績評點ハ其ノ學科目ノ各學期成績評點ノ和ヲ二ニテ除シタルモノヲ以テ之ニ充ツ

十一　轉科轉類セントスルモノハ缺員アル場合ニ限リ左ノ方法ニ依リ特ニ詳可スルコトアルヘシ

1. 轉科轉類ハ同一學年若クハ其以下ノ學年ニ限ル　但シ第一學年ヘノ希望者ハ凡テ入學選拔試驗ヲ受ケシム
2. 轉科轉類希望者ニ對シテハ從來ノ操行及學業成績ヲ考査シタル上一定ノ檢定試驗ヲ課ス
3. 轉科轉類希望者ハ每年二月中ニ理由書ヲ添ヘ願ヒ出ツヘシ
4. 檢定試驗ヲ許否ハ學年成績決定ノ後之ヲ決ス

八、通學生規程

第一條　通學生ハ宿所選定ノ日ヨリ三日以内ニ學級主任ノ承認ヲ經テ宿所届ヲ生徒課ニ差出スヘシ轉宿ノ時亦同シ

宿所届用紙ハ生徒課ニ於テ交附ス

第二條　通學生徒ニハ其ノ宿所ノ位置宿主ノ職業家庭ノ狀態又ハ其ノ他ノ事情ニシテ不適當ト認ムル時ハ他ニ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ

九、制服規程

帽子

形式　海軍型

地質　黒絨若ハ濃紺羅紗

徽章　銀色

白線　細リボン二條（幅二分）

耳釦　眞鍮製（本校徽章入）

顎紐　黒革

服形式　立襟背廣

地質　冬服（十月ヨリ五月マテ）黒若ハ濃紺セル又ハ小倉

夏服（六月ヨリ九月マテ）霜降小倉

黒煉物徽章入リ

釦　短靴又ハ編上（黒革）

外套

形式　兩前

地質　黒若ハ濃紺羅紗

釦　徽章入眞鍮釦

但シ黒若ハ濃紺羅紗マントハ之ニ代用スルコトヲ得

略帽

形式　麥桿製普通形（縁約三寸、高約三寸）

鉢巻黒地（幅約一寸七分）ニ白線二條（幅二分）徽章ヲ附スヘシ

着用期間ハ夏服着用期間ニ同シ　但シ儀式及體操ノ時ハ必ス制帽ヲ着用スヘシ

脚袢

形式　巻脚袢

地質　綿布又ハ羅紗（黒又ハ濃紺）

一〇、生徒心得

第一條　登校ニハ制服制帽ヲ着用スヘシ

第二條　指定ノ場所以外ニ於テハ喫煙スヘカラス

第三條　掲示ヲナサントスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　集會ヲ爲サントスルトキハ代表者ヲ定メ日時、目的、場所、費用等ヲ具シテ前日マテニ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　生徒出版物ヲ發行スルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　金員募集ニハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

○遲刻、缺課

一　起立禮ノ終了後ニ入場シタルモノヲ遲刻トス

二　一時間又ハ連續シ二時間以上缺席シタルトキハ缺課一回トス

○諸願及届

一　生徒缺席又ハ缺課スルトキハ其ノ當日ヨリ三日以内ニ事由ヲ詳記シ學級主任ノ檢印ヲ得テ生徒課ニ届出ツヘシ　但シ病氣缺席一週日ニ渉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

二　忌服ノ爲メノ缺席、缺課ハ缺席日數又ハ缺課回數ニ算入セス此場合ニハ前條ト同樣ノ手續ヲ經テ生徒課ニ忌服届ヲ差出スヘシ

忌服日數左ノ如シ

イ、父母ノ喪ハ七日以内　　ロ、祖父母兄弟姉妹ノ喪ハ五日以内　　、其他ハ二日以内

三　生徒休學又ハ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ親權者連署ノ上願出ツヘシ　但シ其ノ事由カ病氣ノ爲メナルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

四　諸願届ハ凡テ學校長宛トシ用紙ハ半紙ヲ用フヘシ

一一、醫務室規程

一　本校生徒ハ毎週火曜、金曜ノ午後三時ヨリ本校醫務室ニ於テ診察醫、醫學博士倉島正平氏ヨリ無料ニテ診察ヲ受クルヲ得（藥價治療代等ハ實費支拂）

希望者ハ當日二時半迄ニ生徒課ニ出頭シ受診簿ニ要項記上ノ上定刻醫務室ニ赴クヘシ

寮生ニシテ病症ニヨリ醫務室ニ赴ク能ハサル者ハ其旨生徒課ニ申出テ特別ノ扱ヒヲ受クルヲ得

一　右時間以外ニ於テハ市内營所通一番町倉島醫院ニ於テ同樣ニ診察ヲ受クルヲ得

一　諸届書願書ニ添付スヘキ診斷書ハ成ルヘク診察醫ヨリ受クヘシ無料ニテ交附セラル

一　新潟醫科大學教授醫學博士柴田經一郎氏ハ本校々醫ニシテ同博士ノ診察日毎週火、木、土ノ午前中ナリ

希望者ハ醫科大學附屬醫院柴田内科外來診察室ニテ診察ヲ受クルヲ得

本校生徒ハ特別ノ便宜ヲ與ヘラル

一　右ノ場合ニハ當日ノ午前十時迄ニ必ス生徒課ニ出頭シ豫メ校醫ノ都合ヲ確メタル後醫院ニ赴クヘシ

一　貸給費出願ニ要スル身體檢査書ハ校醫ニヨリ作成セラルヽヲ要スコノ外學校ヨリ特ニ校醫ノ診斷書ヲ指定セラレタル場合ニハ必ス生徒課ニ出頭シ其ノ指示ヲ受クヘシ

一二、寄宿舍警火規程　（省略）

一三、寄宿舍非常手配規程　（省略）

一四、圖書ニ關スル規程

第一條　本校所有ノ圖書ハ凡テ書庫ニ藏置ス

第二條　書庫ニハ又便宜本校ノ借受ケタル圖書及他ノ寄託ニ係ル圖書ヲモ保管スルコトアルヘシ

第三條　擔任事務員ノ外濫リニ書庫ニ入ルコトヲ得ス

第四條　教官並ニ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ必要ノ場合書庫ニ入リ圖書ヲ檢索スルコトヲ得

但シ決シテ圖書ノ位置ヲ錯亂スルコトヲ得ス

第五條　本校ノ職員及生徒其他學校長ヨリ特別ノ許可ヲ得タルモノハ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第六條　圖書閱覽室ハ左ノ期間毎日始業時ヨリ午後九時マテ之ヲ開ク

但シ土曜日ハ午後五時マテトス

一　四月十日ヨリ七月五日マテ

二　九月一日ヨリ十二月廿四日マテ

三　一月八日ヨリ三月十日マテ

但シ式日祭日日曜日ハ閉室ス　七月六日ヨリ七月卅一日マテハ午前八時ヨリ正午マテ開室ス

尙開閉ノ日時ヲ臨時變更スルトキハ之ヲ揭示ズ

第七條　閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ音讀、談話、喫煙其他閱覽ヲ妨害スル行爲アルヘカラス

第八條　生徒ニシテ圖書ヲ閱覽セントスルモノハ學年ノ始毎ニ圖書課ニ就テ閱覽票ノ交付ヲ受クヘシ

第九條　生徒ニシテ圖書ヲ閱覽セントスルモノハ備付ノカードニヨリ所要ノ圖書ヲ檢出シ規定ノ圖書請求用紙ニ一切ノ事項ヲ記入シ閱覽票ト共ニ係員ニ差出スヘシ

第十條　職員生徒ニ非スシテ特ニ學校長ヨリ圖書閱覽ノ許可ヲ得タルモノニ對シテハ特別閱覽票ヲ交付ス

第十一條　特別閱覽票ヲ有スルモノ謁書ヲ閱覽セントスルトキハ第九條ノ手續ヲナスヘシ

第十二條　閱覽者ハ圖書ヲ閱覽シ了レハ直チニ之ヲ返納シテ閱覽票ノ還附ヲ受クヘシ

第十三條　第九條ノ手續ニヨリ借受セル圖書ハ之ヲ閱覽室外ニ携出シ又ハ他人ニ轉貸スルコトヲ許サス

第十四條　閱覽者一人ニシテ一時ニ借覽シ得ヘキ圖書ハ洋裝ノモノ五冊以內和漢裝ノモノ十冊以內トス

但シ圖書課長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ制限ヲ超過スルコトヲ得

第十五條　生徒ノ研究ニ便スルタメ參考書ヲ生徒閱覽室ニ備ヘ付ケ第九條ノ手續ヲ要セス自由閱覽

ニ供スルコトアルヘシ

第十六條　生徒ノ研究ニ便スルタメ開館期日中土曜日ヨリ日曜日ニカケ一部圖書ノ館外貸出ヲ行フコトアルヘシ館外貸出ヲ受ケントスルモノハ土曜日（休日ノ場合ハ其ノ直前日）中ニ土曜日館外携出ト朱書セル圖書請求用紙ニ要用事項ヲ明記シ閲覽票ト共ニ差出スヘシ　一人三冊以内携出借覽スルコトヲ得　此ノ手續ニヨリ圖書ヲ借受ケタルモノハ必ズ月曜日（休日ノ場合直後始業日）午前中ニ返納スヘシ

第十七條　閲覽票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十八條　閲覽票ヲ紛失シタルトキハ速カニ其ノ旨ヲ圖書課ニ屆出テ更ニ交付ヲ請フヘシ

第十九條　各學科主任ハ參考上必要ノ圖書ヲ借受シ之ヲ特別ノ場所ニ備ヘ付ケ其科教官ノ共用ニ供シ且ツ其ノ管理ノ下ニ生徒ニ閲覽セシムルコトヲ得　各課長ハ各課ニ於テ事務上必要ノ圖書ヲ借受シ之ヲ課室ニ備付ケテ使用スルコトヲ得

第二十條　本校職員ハ圖書ヲ借受携出スルコトヲ得

第廿一條　圖書ヲ借受携出セントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ

第廿二條　辭書貴重書寄託書借用書等ハ借受携出スルコトヲ得ス

但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラズ

第廿三條　教官ハ本校所藏ノ圖書ヲ參考用トシテ一員二十冊事務員ハ一員三冊ヲ限リ（和漢裝ノモノハ其冊數ヲ倍スルコトヲ得）借受携出スルコトヲ得

但シ必要ニヨリテハ其貸出冊數ヲ增スコトヲ得

第廿四條　借受ケタル圖書ハ使用了レハ直チニ返納スヘシ必要ノ場合ハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第廿五條　借受ケタル圖書ハ毎年一回定期檢查ノ際（六月下旬）一旦全部返納スヘシ

第廿六條　共用借受ノ圖書ニ限リ掛員出張ノ上點檢ヲ行フ

第廿七條　定期刊行ノ雜誌等ニシテ一般的ノモノハ校用ヲ除ク外到着ノ日ヨリ一週間ヲ過グルニ非レハ借受携出スルコトヲ得ス

第廿八條　借受ケタル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルモノハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ責ニ任ス

第廿九條　凡テ本規定ニ違反シタルモノハ圖書貸付及閲覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第三十條　參考用トシテ職員生徒ノ閲覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ヲ寄託セントスルモノハ其ノ著譯者名、圖書名、裝訂別冊數見積價格ヲ具シ寄託期限ヲ定メテ學校長ノ承諾ヲ受ケ然ル後現品ヲ本校ニ送致スルモノトス本校ハ之ニ對シテ保管證ヲ交附ス

第卅一條　火災、盜難、其ノ他不慮ノ災難ニヨリ寄託圖書ニ損失ヲ來スコトアルモ本校ハ其ノ責ニ任セス

一五、物品會計規程施行細則

第一章　總則

第一條　本校所有ニ屬スル物品ハ學校長之ヲ管理シ其ノ保管及出納ハ物品會計規則及文部省直轄

學校各部物品會計規定ニ基キ此細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品、消耗品ニ分チ備品ノ用途ヲ專用共用ノ二種トス

但シ備品消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ云フ

第三條　各部ニ於テ通常所用ノ物品ハ毎年度始メニ於テ其ノ員數ヲ豫定シ會計係ニ通報スヘシ

但シ學術用機械標本ニシテ豫定シ難キモノハ此ノ限リニ非ス

第二章　出　納

第四條　物品ノ出納ハ校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第五條　通常所用ノ物品ニシテ定數アルモノハ其ノ以內ニ於テ物品會計官吏直ニ之ヲ執行シ臨時所要ノ物品ハ各部ノ請求ニ依リ學校長ノ決裁ヲ受ケ執行スヘシ

第六條　機械ノ製作及修理ニ學術上特種ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル場合ハ便宜上各部ニ於テ營業者ノ見積書ヲ徵シ（外國製品等ニシテ見積ヲ徵ス能ハサルトキハ之カ調書ヲ添付）會計係ニ請求スヘシ

第七條　物品會計官吏ニ於テ受入シタル物品ヲ支給セントスル時ハ普通備品ニアリテハ番號札ヲ物品ニ付シ共用品ト專用品トニ分チ備品支給簿ニ登記シ消耗品ニアリテハ消耗品出納簿ニ登記シタル後之ヲ物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ配付シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若クハ領收證書ヲ徵スヘシ

第八條　監守者若クハ取扱主任者ニ於テハ物品ヲ受取リタル時ハ備品ニ屬スルモノハ備品監守簿

消耗品ニ屬スルモノハ消耗品受拂簿ニ記入スヘシ

第九條　物品ノ不用ニ歸シタルモノアル時ハ直ニ之ヲ會計係ニ返付スヘシ

會計係ハ其ノ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ

第三章　保管及監督

第十條　各部室受入物品ハ一定ノ場所ニ藏置シ之ヲ毀損シ又ハ紛失セサル樣注意スヘシ

使用中ノ物品ハ時々修理ヲ要スルモノヽ員數ヲ調査シ之カ請求ヲナスヘシ

第十一條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ事項ニ依リ監督スヘシ

一　各學期一回以上消耗品支給簿ト現品ト照合スルコト

一　毎年一回以上備品支給簿及消耗品支給簿ヲ以テ各部ニ就キ現品ヲ査閱シ且各部ノ監守簿受拂簿ノ調査ヲナシ學校長ニ報告スルコト

一　前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シ又ハ其ノ使用上ニ付意見アル時ハ學校長ニ其ノ處理ヲ求ムルコト

第十二條　共用備品ノ監守及消耗品取扱ノ爲各部ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置ク

但シ專用物品ハ各自之ヲ監守シ其責ニ任スヘシ

第十三條　物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタル時ハ物品監守者ニ於テ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ物品檢閱委員ノ合議ヲ經學校長ノ裁定ヲ得テ責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若クハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第四章　檢　閲

第十四條　學校長ハ物品檢閲委員若干名ヲ設ケテ本校所有品ノ保管及使用ヲ檢閲セシムヘシ

第十五條　定期檢閲ハ毎年六月乃至十月其ノ時日ヲ定メテ之ヲ施行シ臨時檢閲ハ臨時之ヲ施行スヘシ

但シ檢閲ヲ分チ定期臨時ノ二種トス

第十六條　物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ事項左ノ如シ

一　物品保管ノ適否

一　物品使用及消費ノ適否

一　物品缺損ノ有無

一　備品及消耗品ノ支給定數過不足

一　帳簿ト現品トノ對照

第十七條　物品檢閲ノ際ハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ席ニ列シテ檢閲ヲ受クヘシ

第十八條　物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認ムル時ハ帳簿ニ捺印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アル時ハ該當責任者ヨリ仕末書ヲ差出サシメ處分了ルヲ俟チテ前記ノ手續ヲナスヘシ

第十九條　物品檢閲ヲ終リタルトキハ其ノ顚末ヲ具シ意見ヲ附シテ學校長ニ申報スヘシ

第五章　帳　簿

第二十條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

一　物品出納簿

證票ニ基キ物品ノ出納ヲ記入シ及在庫並ニ使用物品ノ現在ヲ明ニス

一　備品支給明細簿

命令文書ニ基キ使用ニ供シタル物品ヲ記入シ所在ヲ明ニシ監守者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

一　消耗品支給簿

命令文書ニ基キ支給ノ物品ヲ記入シ取扱主任者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

第二十一條　各部ニ於テハ備品監守簿及消耗品受拂簿ヲ備ヘテ物品保存及受拂ヲ明確ナラシムヘシ

第二十二條　帳簿樣式ハ別紙ノ通定ム（別紙省略）

一六、非常警備ニ關スル規程

第一條　校内若クハ近傍ニ於テ火災其ノ他非常事變アリタルトキハ電話又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ直ニ學校長敎頭各課長及學校附近所在ノ職員ニ報知スヘシ

第二條　非常ノ際ハ職員及生徒ハ直ニ馳付ケ左ノ任務ニ從事スヘシ

一　報　知　學校長其ノ他第一條ニ揭クル職員、生徒主事宿舍、警察署ヘ報知スヘシ

二　消　防　消火器、消火栓、喞筒其ノ他適當ノ方法ニヨルヘシ

三　運　搬　各室内非常持退ノ印アルモノ、圖書、機械標本、其ノ他ノ器具

四　警　衛　門及其ノ他要所ニ高張提灯ヲ揭クルコト、職員及ヒ生徒ハ應援者ノ外妄リニ構内ニ入ラシメサルコト、搬出品ヲ監守スルコト

第三條　非常用トシテ常ニ左ノ器具ヲ備付ケ且ツ其ノ所在及使用方法等ヲ一般ニ周知セシムヘシ

イ 消火器　ロ 輕便喞筒及水管　ハ 高張提灯
ニ 用心桶　ホ 其ノ他必要ノ器具

前項ノ器具ハ庶務課ニ於テ時々檢査スヘシ

第四條 本校職員ノ住宅等火災ノ節又ハ其ノ眞アルトキハ本校生徒ヲシテ臨機應援セシムルコトアルヘシ

第五條 煙突ハ毎週所定ノ回數之ヲ掃除シ電燈線及瓦斯栓ニ異狀ヲ發見シタルトキハ直ニ絕緣器ヲ外シ其ノ旨各會社ニ急報スヘシ

第六條 火鉢煖爐等使用中ハ特ニ注意シ終業退廳後又ハ使用後ハ直ニ火氣及灰燼ヲ取除カシメ一定ノ場所ニ於テ之カ處置ヲナスヘシ

一七、宿直心得

第一條 執務時間外ニ生スル事務ヲ處理シ且ツ警備ニ任スル爲メ宿直ヲ置ク

宿直ノ時限左ノ如シ

一 平日ハ退廳時刻ヨリ翌朝出勤時刻マテ

二 休日ハ晝間ハ昇廳時刻ヨリ退廳時刻マテ及ヒ同夜間ハ退廳時刻ヨリ翌朝出勤時刻マテ

但シ寮宿直ハ平日ハ退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ休日ハ昇廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ

第二條 宿直員ハ書記及事務員以下輪番ヲ以テ擔任スルモノトス 但シ其ノ順番ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 第二條以外ノ職員ノ宿直ヲ必要ト認ムル場合ニハ學校長特ニ之ヲ命ス

第四條 宿直員ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス

第五條 直宿員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル事件ヲ宿直日誌ニ認メ翌日庶務課長ニ申報スヘシ若シ翌日休暇ナルトキハ交代ノモノニ必ス事務ノ引繼ヲナシ退出スヘシ

第六條 左ノ各號ノ一ニ當ルモノハ宿直ヲ免ス

一 出張ノ前日及歸校ノ翌日
二 缺勤中
三 暇ノ當日
四 忌引中
五 新任者ハ着任ノ日ヨリ起算シ七日目ニ於テ席次ニ編入ス
六 以上ノ外學校長ニ於テ除直スヘキ必要アリト認メタルトキ

第七條 宿直員ハ止ムヲ得サル事故ノ爲メ當日ノ勤務ニ差支アルトキハ同僚ヲ以テ代直ヲ立ツルコトヲ得

第八條 宿直員ハ宿直ノ際庶務課ヨリ左ノ物件ヲ受取ルヘシ

一 宿直日誌
二 諸室ノ鎖鑰
三 職員住所簿
四 電信用符號表
五 宿直用郵便切手及發送簿

第九條　宿直員勤務ノ主要事項概ネ左ノ如シ

一　第八條ノ物件ノ保管ヲナスコト

二　校丁ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲナスコト

三　接受シタル物件ヲ處理スルコト

四　烈風及變時ニハ特ニ注意シ校舍ノ内外ヲ巡視シ火氣其ノ他火災ノ虞アル器物ノ取締ヲナスコト

第十條　宿直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

一　親展公文書並職員宛私文書及其ノ他ノ物件ハ翌日夫々之ヲ回付シ電報其ノ他急速ヲ要ストキト認メ得ヘキモノハ直ニ宛名ノモノニ送達スヘシ

二　親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ夫々處理スヘシ

第十一條　宿直中非常異變アルトキハ直ニ學校長、教頭、各課長及學校附近所在ノ職員ニ報知シ事急ナルトキハ臨機ノ處置ヲナスヘシ　但シ別ニ定ムル非常警備ニ關スル規程ニ準據スヘシ

一八、文書處理及保存規程

第一條　本校ニ到達シタル文書ハ親展其他特定ノモノヲ除キ庶務課ニ於テ開封シ文書件名簿ニ其件名年月日及發信者ヲ記シ主務課ニ送付シ認印ヲ徴スヘシ

主務課ニ於テハ收受文書ニ收受年月日及課名ノ一字及受付番號ヲ附シ之ヲ處理スヘシ發送文書ニ就テモ亦同シ

番號ハ學年ノ始メニ起リ學年ノ終リニ止メ其番號ノ首ニ（昭和年度）ヲ附ス

但シ文書ノ完結ニ至ルマテ同一番號ヲ附スヘシ

例規トナルヘキ訓令及通牒等ハ主務課ニ於テ其謄本ヲ作リ原本ハ速ニ庶務課ニ返附スヘシ

第二條　收受セル文書ニ就キテハ主務課ハ速ニ起案シ決裁ヲ受クヘシ決裁後ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ其課ニ於テ淨寫校合ノ上回議案ト契印ヲナシ施行年月日、番號ヲ記シ且ツ件名簿ニ記入シ回議案ト共ニ庶務課ニ送付シ官印、校印ノ押捺ヲ求ムヘシ

第三條　數課ニ關係アル文書ハ主務課又ハ其關係最モ多キ課ニ於テ處理案ヲ草シ當該課長ノ決裁淨寫及校合者ハ其ノ回議案ニ認印ヲ押捺スヘシ

第四條　文書發送ニ際シ親展又ハ書留郵便至急電報等特別ノ取扱ヲ要スルモノハ主務課ニ於テ其後他課ニ合議スヘシ

回議案ニ標記スヘシ

第五條　庶務課ニ於テハ郵便發送ニ係ルモノハ郵便發送簿ニ其宛名、年月日及其件名ヲ記シ之レカ處理ヲナスヘシ

第六條　使送ニヨル文書ハ各課ニ於テ送付簿ヲ作製シ其宛名、年月日、番號及其件名ヲ記載シテ庶務課ニ送付スヘシ

第七條　左ノ文書ハ主務課長又ハ關係課長限リ處分スヘシ

一　生徒在學證明ニ關シ徴兵事務ニ關係ナキモノ

一　生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

一　生徒ノ宿所、入退舎及諸屆ニ關スルモノ
一　物品ノ支給ニ關スルモノ
一　一定ノ例規ニヨルモノ

前各號ニシテ其性質重大ト認ムルモノハ此ノ限ニアラス

第八條　左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主務課ニ於テ接受スヘシ

一　教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
一　教官及生徒ヨリ差出ス願屆書類
一　入學志願者受驗名票

第九條　施行濟又ハ閱覽濟文書ニシテ完結ノモノハ主務課ニ於テ種類別ヲナシ該課件名簿ニ記入ノ上之ヲ編纂シ其冊首ニ番號及索引目錄ヲ付シ必要期間當該課ニ保管スヘシ

第十條　文書ノ保存ヲ區別シテ永年、十年、五年、一年ノ四種トシ其保存スヘキ書目ハ各課ニ於テ學校長ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第十一條　會計ニ關スル諸帳簿ハ會計規則ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　保存期限ノ計算ハ文書完結ノ翌年度四月ヨリ起算ス

第十三條　保存文書ハ文書完結ノ日ヨリ翌年ヲ以テ分界ス

但シ歲入歲出及物品會計ニ關スルモノハ其翌年度ニ係ル

第十四條　文書ノ保存編次ハ完結ノ前後ニ依リ一事件中ノ文書ノ順番ヲ正シ編綴スヘシ

第十五條　永年保存文書ハ學年若ハ累年ニ其期限アル文書ハ學年ニ編綴スヘシ

但シ一年間保存ヲ除クノ文書ハ何レモ其ノ冊首ニ索引目錄ヲ附スヘシ

第十六條　保存文書ニシテ他ノ書目ニ關聯スルモノハ其重キ方ニ編綴シ一方ノ索引ニハ其要旨ヲ記載スヘシ

第十七條　保存期限ヲ經過シタル文書ハ主務課ニ合議シ官印ヲ塗抹シ學校長ノ指揮ニヨリ處分スヘシ

第十八條　保存文書ハ庶務課ニ就キ閱覽スヘシ

但シ機密文書ハ學校長ノ許可ヲ得タル者ニアラサレハ閱覽スルコトヲ得ス

第十九條　保存文書ノ借覽ヲ要スル者ハ三日以內ノ期限ヲ以テ庶務課備付ノ貸附簿ニ書目番號氏名ヲ記載シ捺印スヘシ

第二十條　本規程ニ依リ難キモノハ特ニ學校長ノ許可ヲ經テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

一九、御眞影奉安奉護規程

御眞影ノ奉安奉護ニ關シテハ學校長監督指導ノ下ニ本校職員擧ツテ其ノ任ニ當ルヘキハ勿論ナルモ尙左記條項ニ依リ之カ萬全ヲ期セントス

○常時

一　平時　御眞影ノ奉安奉護ニ關スル事項ハ學校長ノ命ニ依リ、庶務課ニ於テ之カ實務ヲ奉仕スルモノトス

二　庶務課員ハ常ニ奉安庫ノ内外ニ留意シ扉ノ開閉、施錠ノ安否及庫内濕氣ノ侵入等其ノ他異狀ノ有無ヲ確メ置クヘシ

三　毎月二十九日若ハ其ノ前後二、三日間ニ於テ成ルヘク晴天ノ日ヲ選ヒ　御眞影ニ御異狀ナキヤヲ奉檢スヘシ

四　庶務課ニ於テ豫メ帳簿ヲ作製シ奉檢セシ月日、當時ノ御模樣及其ノ他ノ必要ノ事項ヲ記錄シ置クヘシ

五　前條ニ依リ奉檢ノ結果萬々一ニモ御異狀等ヲ發見シタル時ハ直チニ學校長ニ之ヲ報告シ其ノ原因ヲ探究シテ極力之カ防止ニ努ムルハ勿論其ノ位置、程度及其ノ處理方法等ヲ詳細記錄シ置クヘシ

六　一年中適當ノ時季即チ春秋各一回約半日間　御眞影ヲ不敬ニ渉ラサル個處ニ奉遷シテ御虫干ヲ爲シ奉安庫及金庫ノ扉ヲ開放シ奉納ノ木箱、奉包ノ紙、袱紗及奉遷用鞄ヲ通風乾燥シ必要ト認ムル時ハ之カ取換ヘヲ行フヘシ

七　學校休業日出勤時間外ニ於テハ當宿直ハ奉安庫及其ノ附近巡視ノ責ニ任スルハ勿論必要ニ應シ奉安奉護ノ實務ヲ奉仕スルモノトス

八　奉安庫ノ鍵ハ常時庶務課ニ於テ之ヲ保管シ退廳時ハ當宿直員ニ之ヲ引繼クモノトス

○非常時

一　非常時ニ於テハ事ノ如何ニ關ラス　御眞影奉護ノ爲庶務課員他事ヲ顧慮セス迅速ニ適宜ノ處置ヲ執ルヘシト雖モ本校職員ハ何人ヲ問ハス機ニ臨ミ變ニ應シテ最善ノ途ヲ講シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

二　本校構內若ハ隣接ノ地域ニ火災起リ延燒ノ虞レアリト認メタルトキハ風ノ方向ニ依リ左記ノ個所ニ奉遷スヘシ

風向キカ西風、西南ノ風、南東ノ風ノ時　醫大若ハ縣廳ヘ
同　北風、北東ノ風、西北ノ風ノ時　二葉國民學校ヘ
同　南風、東風ノ時　新潟國民學校ヘ

三　非常時ト雖モ事變ノ程度ニ依リ急ニ奉遷ノ必要ナシト認メタル時ハ職員及生徒ヲシテ奉安庫及其ノ附近ノ警衛ニ當ラシムヘシ

右ノ場合職員及生徒ノ員數ハ事ノ性質、緩急等ニ依リ學校長ハ臨機之ヲ指圖ス

四　敎育勅語謄本ノ奉安奉護ニ關シテハ御眞影奉安奉護ノ規程ニ準ス

【五】生徒本籍府縣別表

昭和十七年九月一日現在

道府縣 ＼ 學年・科	第一學年 文科	第一學年 理科	第二學年 文科	第二學年 理科	第三學年 文科	第三學年 理科	計 文科	計 理科
北海道		一	四	四	一		五	五
青森							—	—
岩手							—	—
宮城	一	一				二	一	三
秋田	二	二	一	二	三	一	六	五
山形		三			三	二	三	五
福島	六	一四	三	四	五	二	一四	二〇
茨城	三	一	一	一	二	一	六	三
栃木	三	二		三	三		六	五
群馬	四	八	二	七	一	六	七	二一
埼玉	一	五		四	二	二	三	一一
千葉	四	六	二		三	五	九	一一
東京	一五	一九	一二	一六	一二	九	三九	四四
神奈川	三	三	六	八	二	九	一一	二〇
新潟	二八	六七	三一	五八	二六	五〇	八五	一七五
富山		二	一	三	一		二	五
石川			一		一		二	—
福井		一	一	二			一	三
山梨		三	一	二	一	一	二	六
長野	四	六	五	六	六	四	一五	一六
岐阜	一	一		一		二	一	四
静岡		二	一	三			一	五
愛知	三	一	二	三		三	五	七
三重	一	二		二	一	二	二	六
滋賀			二	一			二	一
京都	一	一	一	二			二	三

大阪		一	二	三	一	一	三	五
兵庫		一	一	一	一	二	二	二	一
奈良	一				一	一	二	一	一
和歌山		一	一		一		二	一	二
鳥取			二				二		
島根				二					
岡山	一	一		一	一	二	三	二	三
廣島			一	一	二	一	三	三	二
山口									
德島		一							
香川		一			一	一	一	一	二
愛媛	一								
高知			一						
福岡									
佐賀		二				一			三

長崎																																			
熊本																																			
大分																																			
宮崎																																			
鹿兒島																																			
沖繩																																			
樺太																																			
朝鮮																																			
臺灣																																			
合計	八三	一六〇	八五	一四六	八六	一〇九	二五四	四一五

【六】職　員（定員）校長、教授三十人、生徒主事一人、助教授三人、書記六人、生徒主事補一人

教授

學校長	文學士	中村寅松（東京）
博物科（生物）	理學士	眞保一輔（新潟）
外國語科（英語）	マスダ、オヴアー	廣政幸助（新潟）
古典科（漢文）	文學士	平澤東貫（山形）
理化學科（化學自然科）	理學士	坂部重壽（山形）
同　（化學）	理學士	小林文平（新潟）
古典科（國語）	文學士	羽鳥芳雄（東京）
哲理科道義科（哲學）	文學士	赤松元通（大阪）
哲理科道義科（心理）	文學士	集山菊二（長野）
經國科（法制經濟）	法學士	鈴木光錄（新潟）

教務課勤務

評議員、博物科及理科第二演習主任	教務課長	頭、外國語科及文科第二、理科第三演習主任
評議員文科第一演習	圖書課長	哲理科、人文科主任
評議員、理化學科及理科第一演習主任	教務課長	道義科主任
庶務課長		
評議員、古典科文科第一演習主任		

歷史科（歷史）文科第一演習	歷史科主任	文科一年一組主任	文學士　植村清二（大阪）
外國語科（英語）兼生徒主事		理科二年甲類ノ二組主任	文學士　落合欽吾（山梨）
數學科（數學）	數學科主任		理學士　河野伊三郎（東京）
外國語科（英語）	休職		文學士　佐內巖（山口）
古典科（國語）兼生徒主事		文科一年二組主任	文學士　永井行藏（新潟）
數學科（數學）	應召中		理學士　山崎鐵治（新潟）
外國語科（獨語）		理科二年乙類主任	文學士　永松讓一（福岡）
經國科（地理）博物科（地學）			理學士　堀田松一（愛知）
外國語科（獨語）			文學士　中島勝（兵庫）
外國語科（獨語）兼生徒主事		理科一年四組主任	文學士　妹尾泰然（廣島）
外國語科（獨語）			文學士　石井靖夫（栃木）
外國語科（英語）		理科一年一組主任	文學士　平井正穗（福岡）

理化學科(物理)　理學士　鈴木保正(新潟)
博物科(生物)　理科二年甲類ノ一學級主任　理學士　八田享二(東京)
哲理科(論理)　道義科、人文科　文學士　鷲坂三良(宮城)
歷史科(歷史)　文科二年甲類學級主任　文學士　家永三郎(佐賀)
外國語科(英語)　文學士　竹內公基(東京)
數學科(數學)　理學士　澤木澄男(愛知)
生徒主事
理化學科(物理力學)兼教授生徒課長　理學士　坪田弘(長崎)
配屬將校
體錬科(教練)　陸軍大佐　望月宏明(新潟)
同　(同)　陸軍中尉　伊藤喜元(新潟)
助教授
數學科(製圖)　理科一年二組學級主任　志賀完(秋田)

體錬科(體操)兼生徒主事補　體錬科主任　北井柳太郎(群馬)
同　(同)　應召中　陸軍中尉　竹中良三(栃木)
生徒主事補
體錬科(教練)兼助教授　應召中　陸軍准尉　箕輪平八(新潟)
傭外國人教師
外國語科(獨語)奏任取扱　ヤコブ・フキツシエル(獨國)
講師(就職順)
文學第一演習　諸橋政範(新潟)
體錬科(體操)　事務囑託　生徒課勤務　五十嵐正男(新潟)
體錬科(教練)　庶務課兼教務課生徒課勤務　荒井周平(新潟)
體錬科(教練)　陸軍曹長　村川安平(新潟)
經國科(法制、經濟)人文科第一演習　經國科主任　文科二年乙類學級主任　法學士　三條善三(新潟)
陸軍中尉　本間侃雄(新潟)
陸軍少尉
數學科(數學)自然科　理科一年三組學級主任　理學士　市原秀夫(北海道)

外國語科(獨語)　文學士　野田健一（新潟）
體錬科(柔道)　小坂光之介（石川）
同　(劍道)　今村保（石川）

書記

囑託員
弓道師範　小山德吉（新潟）

學校醫　入山隆（新潟）
同　貝沼末治（新潟）

物品會計官吏　中山勇之助（新潟）
會計主任　大鹽弘（新潟）

庶務課主任　南波喜藏（新潟）
教務課主任　片野寬一郎（新潟）
圖書課主任　丸山繁多（新潟）
庶務課勤務　柴田經一郎（新潟）
會計掛　加藤信治（愛知）

生徒課
兼教務課勤務　醫學博士
生徒課勤務
寮務掛主任　醫學博士

診察醫　醫學博士　倉島正平（新潟）

雇員（就職順）

工作室勤務　鈴木常五郎（新潟）
生徒課勤務　北條ミチノ（新潟）
物理科兼圖書課勤務　下山藏太郎（新潟）
博物科兼圖書課勤務　應召中　丸山正平（新潟）
生徒課勤務掛　南保一男（新潟）
庶務課勤務電話掛　玉木千代（新潟）
教務課勤務　齋藤成己（新潟）
庶務課勤務　近藤義一（新潟）
化學科勤務　大井武司（新潟）
博物科勤務　早川佐四郎（新潟）
圖書課勤務　植木岩太（新潟）

乙骨五郎（東京）文學士　東京市豐島區目白町四丁目三五
・佐藤東（新潟）　同記　一〇　死
小池市太郎（新潟）　同　一〇　死
安達貞（宮城）　經濟士　一〇　死
原田正一（靜岡）　同　一〇　死
甲斐三郎（東京）　經濟士　同　一〇　死
林英一（新潟）　書記　同　一〇　死
關泰（奈良）　文學士　同　一〇　死
第一高等學校教授　東京市牧穴區弓古田二七二
・原田韋一（山口）　同　一〇　死
中村周治（千葉）　法學士　講師　一〇　死
原田虎男（東京）　同　一〇　死
千葉市湊川九四九番地　鹽土商業
東京市淺谷區中淺谷六九六　仙臺市角五町丁一〇七
三宅開一（岡山）　文學士　教授　一〇　死
野口榮三郎（埼玉）　同　一〇　死
東北帝國大學理學部　仙臺市角五町丁一〇七
・田村明一郎（高知）　經濟士　教授　一〇　死
藤田鎮一郎（新潟）　講師　一〇　死
春原榮雄（岡山）　經濟士　同　一〇　死
千代田生命保險相互會社（東京市京橋區）　仙臺市角五町丁一〇七
古谷俊太郎（福井）　同　第四高等學校教授　會津市上本多一ノ四七
東京市世田谷區弦卷町二丁目

池田作次郎（新潟）　講師　一〇

氏名　原籍　學位　稱號名　官職名　在職

・田邊良平（新潟）　講師　東京市淺谷區代官町一
岡崎正治（鳥取）　同　一〇
三上節造（京都）　文學士　同　一〇
遠藤誠（山梨）　法學士　同　一〇
高橋里見（山形）　文學士　教授　一〇
・ベルツ・ヘルマン（德國）　講師　一〇
高橋二郎（東京）　經濟士　同　一〇
西垣兼（新潟）　同　一〇
・小田英平（新潟）　經濟士　教授　一〇
小林榮（福島）　理學士　講師　一〇
・宋悠（山形）　同　一〇
東京農業大學農科　東京市淺谷區中淺谷六〇三
大津地方裁判所長　〇
鈴田幹太（岡山）　法學士　講師　一〇
日野月明喜（愛媛）　文學士　教授　一〇
佐賀高等學校長　〇
新潟醫科大學　新潟市鳥屋町二番町
高橋二郎（東京）　經濟士　同　一〇
・ベルツ・ヘルマン（德國）　講師　一〇
高橋里見（山形）　文學士　教授　一〇
遠藤誠（山梨）　法學士　同　一〇
三上節造（京都）　文學士　同　一〇
岡崎正治（鳥取）　同　一〇
・田邊良平（新潟）　講師　東京市淺谷區代官町一

•工藤孫八郎	（岩手）	理學士	教授	一〇、九—一四、一二	死亡	
松村龍雄	（神奈川）	同	講師	一五、一—一五、三	長岡高等工業學校	長岡市櫻木一ノ一一二九
手塚良道	（愛知）	文學博士	教授	八、七—一五、四	廣島文理科大學	廣島市白島中町七二ノ一
•松井喜三郎	（神奈川）	理學士	同	八、五—一五、四	死亡	
反町省三	（新潟）		講師	一五、四—一五、六	○	長岡市表町
黒田亮	（新潟）	文學博士	教授	九、八—一五、一〇	京城帝國大學法文學部	岐阜市加納町南陽町二丁目（留守宅）
•湯淺政則	（石川）		同	一三、一—一五、一〇	死亡	
•横山良盛	（宮崎）	文學士	同	八、七—一二、三	死亡	
田中務	（福岡）	理學博士	同	八、六—一二、四	東京帝國大學理學部	東京市本郷駒込西片町一〇ノい五七
宮本和吉	（東京）	文學博士	同	九、七—一二、四	京城帝國大學法文學部氣付	
•竹内長政	（福井）	法學士	同	一三、五—一三、四	死亡	
岡部龍玄	（富山）	文學士	同	八、六—一二、五	福岡縣私立南築中學校長	福岡市柳原町三丁目二二
網倉孝之	（靜岡）	陸軍中佐	配屬將校	一四、五—一二、七	遊就館主事（北支派遣森（兵）部隊）	東京市荏原區小山町六一九（留守宅）
鳥山喜一	（東京）	文學博士	教授	八、六—一三、三	京城帝國大學法文學部	東京市本郷區駒込片町一八（留守宅）
ヒー・エー・コーツ	（英國）	マスタ、オヴアーツ	傭外國人教師	一〇、八—一三、三		3. The Grove, Parham, Near Canterbury. England
飯島監	（秋田）	文學士	教授	昭二、四—四、三	第六高等學校教授	岡山市門田一一四〇
畑中伊三郎	（兵庫）	同	同	二、四—四、一〇	大阪高等學校教授	兵庫縣武庫郡本山村岡本字中島
川口幹（舊柳澤）	（千葉）	理學士	同	大正一五、四—四、一〇	○	千葉縣千葉郡犢橋村柏井

ヨセフ・ザートリツヒ	（獨逸國）		傭外國人教師	大正一〇、四—一五、三	岐阜縣土岐郡多治見町長瀬二二八八 多治見修道院	○
松木鐵太郎	（新潟）		助教授	一三、四—一五、一二	千葉縣立長生高等女學校長	千葉市千葉寺一一七七
清水二郎	（東京）	文學士	教授	一三、一二—一五、一二	學習院	東京市淀橋區下落合四丁目二〇五
中田忠一	（三重）	陸軍大佐	配屬將校	二、七—五、一二	第十六師團司令部付 奈良縣諸學校服務	奈良市芝辻町一一
•稲川喜一郎	（新潟）		書記、事務囑託	八、五—一六、三	死亡	
宇野慶三郎	（東京）	理學士	教授	昭五、四—六、四	松江高等學校教授	松江市南田町一七四
八田三喜	（東京）	文學士	學校長	大正八、四—七、三	○	東京市豐島區駒込四丁目七
•村島靖雄	（東京）	同	講師	一五、四—七、三	死亡	
エルヴイン・マイエンブルグ	（獨逸國）	ドクトル、フロソフイー	傭外國人教師	昭五、四—七、八	○	bei Prof. Dr. prebeek Berln-Grünewell Orberar, 1
片江秀雄	（佐賀）	文學士	教授	大正一二、四—七、一〇	○	佐賀市赤松町鬼丸西小路一八〇
宿利豐平	（熊本）		同	一三、四—七、一〇	○	東京市豐島區椎名町五丁目三二六三
西川巖	（石川）	文學士	同	二、七—八、三	○	神奈川縣片瀬西濱
内藤好文	（岡山）	醫學士 文學士	同	昭四、八—八、三	姫路高等學校教授	姫路市八代茶屋垣内三九二ノ二
北村龜作	（群馬）	陸軍大佐	配屬將校	五、一二—八、八	偕行社	東京市麴町區九段一丁目一四ノ一
•渡邊眞治	（新潟）	理學士	教授	五、一〇—八、八	死亡	
澤田敬義	（新潟）	醫學博士	衛生・顧問	大正八、九—九、三	○	新潟市營所通一ノ三一一三

山崎鐵治	（新潟）	理學士	教授	昭六、九—九、三	新潟高等學校教授	新潟市學校町三番町五三三五
エイ、エス、ホイツトフヰールド	（英國）	バチエラ、オブ、リテラチユア	傭外國人教師	三、四—九、三	○	Eyffyn, Merion, England and weles
岡上梁	（高知）	文學士	學校長	七、三—九、八	第四高等學校長	金澤市泉野第四高等學校長官舍
桂壽一	（東京）	同	教授	大正一五、一〇—一〇、三	第一高等學校教授	東京市世田ヶ谷區代田二ノ一〇五七
近藤康信	（愛知）	同	同	昭二、四—一〇、三	第八高等學校教授	名古屋市昭和區高田町五丁目五
•青木存義	（東京）	同	學校長	九、八—一〇、四	死亡	
池田嘉平	（新潟）	理學博士	教授	二、四—一一、三	廣島高等師範學校教授	廣島市皆實町三丁目九一二
レヂナルド・ルウキン・ハリス	（英國）		傭外國人教師	九、四—一一、七	○	○
•富田準市	（愛知）	理學士	教授	大正一四、三—一一、七	死亡	
大畑末吉	（東京）	文學士	同	一五、四—一二、三	山形高等學校教授	山形市新築中通二七五
廣橋浩	（新潟）	同	講師	一〇、四—一二、三	○	東京市淀橋區上落合二ノ七九九前田方
池田廉二	（愛知）	陸軍大佐	配屬將校	八、八—一二、三	中支派遣岩松部隊池田部隊長	新潟縣北蒲原郡新發田町外ヶ輪裏三四（留守宅）
•丹羽七次郎	（新潟）	醫學博士	診察醫	三、七—一二、五	死亡	
岡田恒輔	（埼玉）	文學士	學校長	一〇、四—一三、八	第七高等學校造士館長	鹿兒島市藥師三四ノ二
吉川賚	（山口）	陸軍中佐	配屬將校	一三、三—一三、三	中支派遣甘粕部隊本部	○
ジヨン・ウイルマー・レワーン	（英國）		傭外國人教師	一一、九—一三、三	○	○
米重清二	（鹿兒島）		助教授	五、一二—一三、六	鹿兒島縣立川邊中學校	鹿兒島縣川邊町平山

松本芳房	（佐賀）	陸軍大佐	配屬將校	一三、三—一三、七	東京文理大東京高師（國士館中學外服務）	東京市中野區富士見四〇
關根幸四郎	（新潟）		講師	大正一五、七—一三、九	盛岡高等工業學校	盛岡市東中野紺屋一五一
入江義郎	（群馬）	陸軍大佐	配屬將校	昭一三、八—一四、三	留守第一師團司令部付	東京市世田ヶ谷區世田ヶ谷二丁目二〇六一
鶴田眞次郎	（東京）	文學士	教授	一三、三—一四、五	靜岡高等學校教授	靜岡市西草深町六〇
鈴木越郎	（東京）	陸軍大佐	配屬將校	一四、三—一四、一二	○	○
近藤四郎	（新潟）	陸軍大尉	配屬將校	一四、一—一四、一二	○	新潟縣北蒲原郡濁川村（留守宅）
小堀憲	（京都）	理學士	教授	九、四—一五、三	第三高等學校教授	京都市上京區紫野宮東町一
川瀬光順	（東京）	文學士	學校長	一三、八—一五、四	旅順高等學校長	旅順市日進町二一官舍
朝日方圓	（福井）	文學士	教授	大正一〇、一—一五、四	旅順高等學校教授	旅順市常盤町
德重英助	（福岡）	理學士	教授	一〇、五—一五、四	日本出版文化協會	東京市王子區上十條五丁目三四ノ二
江村重雄	（新潟）		教授	一四、三—一五、四	旅順高等學校教授	同校構內
野崎壽	（新潟）		書記	一〇、四—一五、四	福島高等商業學校書記	
藤田猪太郎	（愛知）	工學士	教授	大正八、七—一六、三	○	名古屋市南區呼續町石神二三
ジヨン・オーウエン・ガントレツト	（英國）		傭外人教師	一三、四—一六、三	○	○
山下政治	（東京）	文學士	教授	七、一〇—一六、四	第一高等學校教授兼生徒主事	東京市外吉祥寺六〇〇
安藤祐專	（愛知）	文學士	教授	大正八、六—一六、五	第五高等學校教授	熊本市小峯町八六
潮田富貴藏	（大阪）	文學士	教授	昭二、一一—一六、五	松山高等學校教授	松山市昭和町四四
野本祥治	（新潟）	文學士	教授	一五、四—一六、五	熊本陸軍幼年學校教授	熊本市北千反畑町八一園川方

齋藤卯一郎	（新潟）	書記	奏二、三—二五、九
田澤時四郎	（新潟）	事務囑託	昭一〇、四—一六、五
白石義夫	（神奈川）	文學士 講師	一六、五—一六、八
佐藤晃一	（秋田）	文學士 教授	一五、二—一七、三
パーシー・トーマス・ルーク	（英國）	傭外人 教師	一六、四—一七、七
酒井千尋	（東京）	教授	奏八、七—一七、八
麻生種衛	（廣島）	文學士 教授	昭六、八—一七、八
市川渡	（福井）	理學士 教授	一五、五—一七、八

島本鐵工所			新潟市南濱通一番町
			新潟市關屋松波町
山形高等學校教授			○
東京高等學校教授			東京市中野區鷺宮一ノ一二
根津美術館			東京市杉並區上高井戶三丁目八〇八
第六高等學校教授			岡山市北方大和町二六三
第四高等學校教授			金澤市四町一ノ六ノ二馬場峰昭方

【八】生徒

文科第一學年一組（四十一名）

龍山鮎澤實	新潟	東京五	青木茂
東京三	遠藤德貞	高崎	半田信行
會津平	田茂男	新潟	廣瀨家彥
逗子開成	細貝益男	橫濱二	岡井貞助
一東京市	今井讓	千葉	岩本層三
大田原	菊池彰	東京六	秋田刈田良太郎
東京九	松尾一夫	高崎二	三田順三
上田	成澤淳	一東京市	四大條坦
新潟	小栗春彥	新潟	小黑義一
小千谷	大塚平吉	新發田	齋藤英夫
豐中	清水健夫	六日町	品川珪三
角館	鈴木省三	三條	高橋正法
宮津田	中一男	東京六	敦賀大石三
新潟	內田文雄	東山	邊啓

文科第一學年二組（四十二名）

千葉秋廣賢治　新潟青池卓　新潟長谷川健彦
東京六井田大作　新潟五十嵐清　上野井上英昌
横濱一石田貞夫　境石塚恒夫　卷小出良政
上田小山信平　會津町野武　早稻田松原諒
諏訪松田守人　會津滿山禮吉　麻布宮本正
東京五宮本靖　京華茂木良二　千葉本橋浩
千葉中村敏紹　東京一中山耕作　長岡楡原芳夫
長岡大森榮一　一神戸大野哲雄　一東京市大里敏雄
東京八齋藤操　新潟坂井秀夫　佐渡佐々木正哉
會津佐原甲吉　東京開成瀬野桂一　京華下田功
會津宗田淳　同志社鈴木福松　長岡鈴木俊司
成城高橋榮　下妻田宮新平　湘南上田大次郎
錦城宇居信之助　新潟涌井精　宇都宮渡會重彦
白河屋形稔　一東京市山下茂　臺南一米山義壽

理科第一學年一組（四十名）

新潟會田治雄　礪波幅田權俊　新潟服部堅一
京北日野强哉　二東京市平光昇　浦和星野貞二

澁川福田甲子男　芝布施彰　巣鴨藤井欽二郎
新潟藤井義良　長野藤田修　逗子開成五十嵐正次
新潟片岡信二　柏崎川合洋一　湘南川瀬望浩
福島菊野長泰　長野熊谷武　宇都宮草野雄
新潟丸田貞介　高田丸山正義　新發田水澤伸也
三條皆川喜一　奉天二百島宏　柏崎本山藤夫
柏崎村山尙　小千谷大塚卓爾　鶴岡齋藤弘義
東京九關矢好文　甲府志村半七郎　東京九鹽入淳平
新發田杉原千代治　函館杉山淳　魚津高野寛英
新潟高野一郎　相川田中秀穗　東京一塚田政伊
長岡殖栗亮二　新潟渡邊純　早稻田山本重俊
新潟米田公一

理科第一學年二組（四十名）

安積青山翠　高崎荒居宏　卷淺野芳郎
東京一遠藤健一郎　豆陽長谷川仰治　新潟籏杏洲
新發田速水守男　飯田平澤日吉　村上本間喜美雄
新發田本間鐵男　茨木加納晴三郎　東京高師附河合吉正
長岡近藤剛　東京六近藤洋　村上近藤浪江
東京八小柳進一　東京開成飯島一　東京二今井力

熊谷伊藤博未　京畿岩村向純　高田牧田茂
新潟嶂昇　高田中川三男　仙臺一野口道久
函館野澤登　湘南岡本英一　新潟齋藤宗三
京華齋藤千別　沼田曾我勳　新潟反町健一
長岡須藤一　正則田上友彦　湘南玉城逸夫
會津田中白　横濱一手塚久雄　日立津川安正
新潟宇佐美襄　新潟渡邊徹　東京十山下忠孝
湘南吉田敏行

理科第一學年三組（四十名）

村松相田誠一　新潟原宏　二東京市長谷川榮一
新潟廣川浩一　卷古島芳男　身延日向哲夫
早稻田飯高英之助　澁川石北明　長野磯貝光康
千葉伊藤邦男　東京六伊藤貢　東京六岩井憲司
六日町上村忠夫　一東京市樫淵隆　新潟工藤弘安
木更津黒坂正則　新潟町井浩一　秋田松浦富雄
世田谷松山茂　早稻田三村誠一　柏崎宮川[illegible]平
函館宮村東一　村松村川裕　新潟仁保武人
喜多方大沼徹　東京開成大類一久　新潟齋藤英輔
會津齋藤精美　前橋阪井豐　長岡櫻井舜作

熊谷清水壽　芝　椙本政義　新潟杉山靜也
藤岡高橋誠治　二東京市高瀨讓治　安達武田豊明
新京一栃倉收　新潟渡部松生　志太山内良彦
巣鴨吉田充

理科第一學年四組（四十名）

新潟銅冶倫　安積牛谷二郎　三條原徹夫
長岡長谷川輝　三條平出典　東京六藤田敏郎
新潟今井勝十郎　帶廣石本剛　六日町伊藤利根太郎
千葉甲田安二郎　新潟近藤司郎　東京六栗田健太郎
新潟櫛純一　日大四松木喬　世田谷三井進
會津森清　一東京市野瀨時治　新潟小川正裕
會津小川稔　新潟荻野博　横濱一大和田耕一
長生齋藤正　愛知一更井利行　横手佐々木敬二
喜多方佐藤哲郎　日立茂村達三　豐橋二鈴木武
新莊鈴木有司　新潟田胡延夫　芝高村良平
三條竹田弘　東京三玉置文一　成城田島昌
新潟寺田秀夫　熊谷德澤邦輔　新潟和氣和夫
富士渡邊政治　卷渡邊重雄　成田山崎昇
東葛飾横錢滋雄

文科第二學年甲類（四十二名）

湘南五島敏明　新潟幡新守也　高田八田三郎
松本平山正秋　日本飯田義雄　横濱一石川一郎
京都二商上林昌　横濱二金子順治　豐原片山三郎
一東京市川本徹　成東小松翠　長野窪田貫
岩見澤國上孝次　新潟倉田四郎　大連一日下滋男
藤岡町田正利　柏崎箕輪眞澄　彦根望月正夫
成城内藤房吉　新潟中川正美　新潟小串俊正
秋田小原孟　東京二大澤哲夫　一東京市小澤圭介
卷寒河江一雄　身延佐野文次　富士佐野睦臣
群山佐藤博　日大二佐藤十二　東京八清水太郎
東京二田近方雄　長野竹中慶三郎　前橋瀧澤精一
新潟田中敏夫　長生塚田義房　灘辻泰三
東京開成植竹操芝　臼井源三郎　東京六夜間山田鎌二
宇治山田山田光男　飯山山田泰男　東京四山田淳一

文科第二學年乙類（四十三名）

卷淺野正義　新潟江間正二郎　新潟畑新次
横濱一早川博通　羅南林正男　新發田樋口進

千葉比企他郎　新潟本間健四郎　新潟深澤穆
函館福岡俊郎　新潟藤田吾三郎　一東京市犬塚紫郎
諏訪市川弘道　三條金井惠次郎　日大四川村茂樹
新潟風間修一　新潟小林久鄉　三條小林稔
芝小山健　東京開成草刈一重　東京二眞上隆俊
柏崎牧口新一　甲陽丸山喬一郎　長野町田博
村松松尾吉信　長岡森庄三郎　新潟中山眞
新潟大坂保男　新潟大谷一男　早稻田小澤聰
北野酒井秀郎　東京高師附佐藤正治　眞岡關口武士
正則鈴木謹一　喜多方鈴木外吾　十日町竹内道雄
魚津橘彌之助　高田塚田耕康　新潟都築弘
横濱一若林醇一　函館柳谷敏夫　川崎矢富良夫
新潟吉田六郎

理科第二學年甲類（一）（四十八名）

會津相田義則　高崎阿久澤裕昭　新潟青山信一
函館朝井欣一　卷濱田忠　卷本間正男
長岡星野正平　新潟細野耕爾　東京十飯田正意
札幌二井上良雄　横濱一上條宣彦　東京八金井不二彌
卷金子哲夫　麻布加藤太郎　三條川口清一

東京五 北村尙 横濱一 小橋川秀夫 秋田工藤英伸
京北眞野智之 横濱二 丸山一惠 横濱一 增澤貞一
秋田三浦忠四 會津宮崎茂 茨木永井吉造
三條中林正 長野中澤和夫 富山西野正雄
村上西坂英策 高田入村達雄 東京九岡田稔
富士齋木良郎 加古川齋藤一郎 新潟齋藤暐太郎
小樽堺潔 福井坂本正 秋田志村勳
熊谷新間彌一郎 桐生杉野昇 新潟瀧澤信義
早稻田田中一郎 新潟立石哲郎 東京舍人順一
臺北一海野幸貞 新潟渡邊一郎 六日町山崎巖二
豐原安田寬 東京六横山幹 新潟吉弘芳郎

理科第二學年甲類(二)(四十九名)

新潟有礒一郎 網走遠藤文雄 新潟本田浩一
新潟本間俊之 熱田星野泰一 富士深澤敏男
天王寺福井實 長岡福本利尙 諏訪古橋隆之
高田古川幸 相川池田義雄 新潟今井忠一
糸魚川猪又忠弘 長岡石橋金一郎 相川石井安男
三神戸石川努 碾波岩佐繁 長岡柿沼光彥
横濱二角和善造 平壤二金岡潤濟 土浦片岡秀文

東京五 片桐茂雄 新潟勝又讓 新潟川上愼三
旭川川村祐一 新潟清野清 麻布小室康雄
二東京市小島隆 東京開成久保島信弘 前橋桑原史郎
新潟眞壁秀二 新潟丸山弘志 高千穗美山悌二郎
澁川宮崎隆二 新潟西倉正 天王寺信枝廣吉郎
東京四岡田實 早稻田大木博 石橋大久保薰
東京開成大島正中 新潟齋藤直輔 前橋笹川力
村上澤田可信 豆陽瀧澤慧 新潟田中利男
早稻田槌田昭卷 矢口達雄 韮山山岡久也
柏崎吉浦謹爾

理科第二學年乙類(四十九名)

熊谷秋谷博 新潟伴忝 新潟出村光一
豐中藤森英一 新潟五十嵐明 東京開成石橋文太
新潟石井正文 成城石井亨 横濱一石浦純一
豆陽河合信一 村上木村圓治 新潟倉島亮一
横濱二栗村武敏 長野黑岩茂隆 新潟黑川一男
東京七前田稔 東京五松村映太郎 糸魚川松澤達
横濱一中川脩 明石西大條義久 横濱一小笠原晃
富山小川廣昌 長岡小川順二 川崎岡村明達

東京四　奥田八雄　高田大井道夫　新潟夜間　近江健作
烏山大　野孝新潟　柴田整一　刈谷鈴木　龍哉
湘南高　橋武二　新潟高橋康夫　長岡高木　琢郎
横濱二　高野瀬徹　東京八武田清一　旭川竹内　正七
前橋田　中正三　本庄田島逢也　臺中一郷　錦輝
長岡栃　倉辰五郎　上田豊田正光　川崎津田　進
新潟若　杉正巻　渡邊修　新潟山田　猛
關東學　院山岸正卿　臺中一楊　啓三
宇都宮　吉澤清　會津米山高　德

【九】卒業生

（昭和十七年十一月一日現在）

（出身大學學部ニ括弧ヲ附シタルハ目下在學中ナルヲ示ス　●印ハ死亡）

大正十一年三月卒業（第一回）（一一〇名）

文科甲類（三十四名）

東法　八田健次（新潟）　東経　中野友作（舊石田）（新潟）　東法　市川喜平（新潟）
京法　岩澗止（新潟）　●東法　井利忠憲（新潟）　東経　清野清之輔（福島）
東法　菊地寫太郎（山形）　東法　木村友則（愛知）　●東経　清野清之輔（福島）
○　小林利策（新潟）　東法新聞　小林敏彌（新潟）　東法　小西義郎（舊古口）（栃木）
東法　近藤芳一（德島）　●東経　益子有文（栃木）　京法　村上慶之（靜岡）
●東文　村山紀一郎（新潟）　東法　村岡武夫（群馬）　●○　長濱義之（新潟）
東法　中澤謙吉（埼玉）　東経　小島三二（舊中村）（群馬）　京文　中野定雄（新潟）
東法　中澤久範（新潟）　東法　根津耕史（新潟）　東法　野村健藏（新潟）
東経　生松淨（神奈川）　東経　布川省三（舊岡）（新潟）　東経　大島順一（新潟）
京経　小田島庄司（秋田）　京文　關根梁應（新潟）　東法　篠田榮三郎（新潟）
○　竹内富治（新潟）　東法　千葉胤夫（東京）　東法　渡邊德次（新潟）
東文　吉田澄夫（新潟）

文科乙類（二十五名）

●○ 東文 相川規久雄（石川）
東文 不破祐俊（東京）
東法 本多倚馬（新潟）
東文東工 岩崎航介（新潟）
東文 古山利雄（新潟）
東法 齋藤紫郎（東京）
●○ 菅屋豐（新潟）
東法 田中市助（新潟）
●○ 山田定雄（新潟）
東法 荒井實（福島）
東法 林孝平（山梨）
●東文 星野俊英（新潟）
東法 菅野茂（福島）
京法 小川東造（新潟）
京法 坂本房治（福島）
東法 鈴木光錄（新潟）
東法 後藤惠治（舊瓜谷）（北海道）
東文東法 伴雄一（北海道）
東文 本間祥敬（舊末雄）新潟）
東文 藤川忠治（新潟）
東經 川口惣藏（舊順二郎）（東京）
東法 中條博（舊齋藤）（福島）
東經 志賀隆雄（福島）
●京法 田村乙止（新潟）
京法 若林賢英（新潟）

理科甲類（二十八名）

東北工 相田榮三郎（新潟）
京工 林芳樹（滋賀）
東工 藤井雄之助（新潟）
東工 市川涓策（新潟）
京經 小林小三郎（新潟）
東工 佐藤卯三郎（新潟）
●東農 澁谷雄一郎（新潟）
東工 安藝皎一（德島）
九工 廣川憲二郎（新潟）
●東北工 久保田誠司（舊藤崎）（新潟）
東北工 芋川郁平（新潟）
●○ 三浦久衛（新潟）
京工 佐藤與一郎（新潟）
東工 霜島芳三（新潟）
○ [illegible] 羽田清次（新潟）
九工 堀谿（新潟）
九工 古川一郎（新潟）
東農 河合義銓（富山）
東北工 長野昌隆（新潟）
新醫（博）澤井淳（舊田中）（新潟）
●東工 正野亮（新潟）

東農（博）住木諭介（新潟）
新醫 竹內節之助（新潟）
東工 吉澤英雄（新潟）
東工 高橋榮一（新潟）
●九工 富澤精司（新潟）
東理 高澤十三郎（新潟）
京工 八百枝清（新潟）

理科乙類（二十三名）

九醫 阿部信介（新潟）
東農 神谷榮進（沖繩）
京醫（博）小林盈藏（埼玉）
京工 畚澤浩（新潟）
京醫（博）水野勝次（新潟）
九醫（博）榊原賢三（神奈川）
九醫（博）杉崎陽（新潟）
新醫京文 植木吉英（新潟）
東醫（博）堀內信（長野）
新醫（博）河邊昌一（新潟）
新醫（博）金野巖（岩手）
新醫（博）南正夫（新潟）
東醫 諸橋十郎（新潟）
九醫（博）佐藤隆二（新潟）
東理 田代芳郎（東京）
東（醫）山本孝介（神奈川）
新醫 星野宏（新潟）
新醫（博）小林榮太郎（新潟）
新醫（博）國岡恭一（福島）
早理工 宮田正昭（新潟）
新醫 中村彦左工門（新潟）
新醫京文 瀨高德榮（新潟）
京醫（博）豐島順二郎（新潟）

大正十二年三月卒業（第二回）（一〇七名）

文科甲類（三十二名）

●東法 赤羽良一（長野）
東經 込山二太郎（舊平野）（新潟）
東經 井戸川森治（福島）
京法 今井行藏（舊羽賀）（新潟）
東經 堀江武男（靜岡）
東經 飯島輝（山梨）
東文 八田元夫（東京）
東法東經 藤井倚三（新潟）
○ 木村芳夫（新潟）

東京東京東京東京●○　東京東京○東京東京○　東京東京東京東京○

經經法法法法經　法經法法法經　法文法法經文　文法文經法文

橫清本岡松伸松岩古荒　柳都濵岡中村小木　山竹澤森中南近

山水行兵衞(新潟)　澤倉木田野村山村　口內　田端(靜岡)　藏季之助(東京)

知義(山形)　良一男(神奈川)　伊之助(新潟)　助誠(新潟)　一郎(兵庫)

科文乙

東京東京東京東京●○　東京東京東京東京東京　東京東京東京東京●

經經法文法法經　經法法法法法經　文法文經法文

小高橋井多田端龜(福島)　八十島幸二(福井)　大森健治(靜岡)　早山洪三郎(新潟)

林倉持武雄(山梨)　島倉彌之助(栃木)　田藤脇周次郎(新潟)　木青木中人(靜岡)(大分)

直衛(山形)　永酉利太郎(新潟)　佐四利太郎(新潟)　津丈三郎(長野)

梨城山(新潟)　木良(新潟)　藤永兵衞(新潟)　野山(新潟)

類(二十六名)

東京東京東京●○　東京東京東京東京東京　東京東京東京東京●

經法法法法經　經法法法法法經　法法法法經文

高橋忠雄(靜岡)　中田敏夫(岡山)　井丈七郎(新潟)　坂多(長野)

小河原)　田一郎(新潟)　坂多(長野)

科乙　理

千新九千千●　東京東京東京東京●○　新東東東京東京東京

醫醫醫醫醫　醫(博)醫(博)醫(博)　醫醫工農文

內海　山高深丸生　井本間本　上田仙岡中古荒　村波定忠　野村慶三郎　作谷岡本　拾茂夫(東京)　館居野高　修三(高知)

弘(東京)　登幅夫(新潟)　田奥三吉(靜岡)　吉丰(長野)　順(埼玉)　生島　井俊五郎(兵庫)　新井俊五郎(兵庫)

類(二十一名)

千●京　東京東京東京●○　東京東京東京東京東京　東京東京東京東京●

醫醫醫醫　醫(博)醫(博)醫(博)　醫醫工農文

大原左門(靜岡)　江面正四(靜岡)　萱場寬之(新潟)　本間敏夫(新潟)

科甲　理

新東東東京東京●　千●京東東京東京東京　東京東京東京東京●

醫文農工理　醫(博)工農文　氏家泰一郎(東京)　田彈正疝知(新潟)　立江三(長野)　近藤周次郎(新潟)　西桂小坂　稻葉喜之助(富山)

館上田仙岡中古荒　中田彈正疝知(新潟)　立江三(長野)　近藤周次郎(新潟)　西桂小坂　稻葉喜之助(富山)

居野高村波定忠　村野慶三郎(新潟)　谷岡本拾茂夫(東京)　作谷岡本拾茂夫(東京)　村野慶三郎(新潟)　谷岡本拾茂夫(東京)

修三(高知)　形)　猛重(石川)　敷(東京)　敷(東京)　猛重(石川)　敷(東京)

類(二十八名)

東京東京東京東京●○　東京東京東京東京東京　東京東京東京東京●

醫醫醫醫醫　醫(博)醫(博)醫(博)　醫醫工農文

若井　東條弘(靜岡)　三田長逢　目黑　池田二男(新潟)　川田逢彌(新潟)　田長逢彌(新潟)　黑林秀一(新潟)

東北醫(博)　坂井)(新潟)　英(新潟)　川田逢彌(新潟)　田長逢彌(新潟)　黑林秀一(新潟)

○○　東京東京東京●○　新東東東京東京東京　東京東京東京東京●

醫醫醫醫醫　醫(博)醫(博)醫(博)　醫醫工農文

富治(新潟)　坂井)(千葉)　英(新潟)　川田逢彌(新潟)　田長逢彌(新潟)　黑林秀一(新潟)

東醫(博)渡邊逹三郎(新潟)　新醫渡邊悌二(新潟)　新醫吉田誠一(新潟)

大正十三年三月卒業（第三回）（一二四名）

文科甲類（三十六名）

東文阿部藤策(新潟)　東法秋山次男(京都)　新醫青池茂(新潟)
東文淺田和(東京)　○濱島正金(福島)　京經平田五郎(新潟)
京法細野龜一郎(新潟)　•東法藤井元一(山形)　東經福井利一(神奈川)
東經井田德次(埼玉)　京文五十嵐祐宏(新潟)　東經遠入孝(大分)
京文伊藤鄕一(北海道)　•東法柿村敬二(新潟)　東法角出正則(石川)
東經荻原武(舊龍島)(新潟)　東法金井重男(新潟)　東北法文城戸旭(福井)
京法 東文選 小田義雄(新潟)　東經松村莊輪(新潟)　•京經中井政文(舊松坂)(滋賀)
•東法峰村丈樹(長野)　•東經中川文雄(新潟)　•○根立清(新潟)
東經野尻哲二(東京)　東法西海枝芳男(山形)　東文齋藤忠(東京)
新醫齋藤謙(新潟)　新醫三條善郎(新潟)　京文佐藤寅佐武郎(新潟)
○石﨑重郎(舊曾我)(新潟)　東法長橋清(舊高橋)(新潟)　東法瀧口龍雄(千葉)
•○鳥居重雄(新潟)　•新醫山田義民(新潟)　東法結城司郎次(福島)

文科乙類（三十四名）

東法阿部吉郎(秋田)　京文 東法 荒川萬壽夫(新潟)　東北 法文 蓮池公咲(新潟)
京經林孝三郎(舊樋口)(大阪)　東法平山坦(岩手)　東文 東法 福田武雄(東京)
•京法井上延(兵庫)　東醫 東法 京理 石川英助(奈良)　東經市橋二郎(舊夏井)(新潟)
東文加藤七郎(東京)　東法木村善也(新潟)　京法小林秀武(東京)
東法古市利正(千葉)　千醫(博)久能六郎(東京)　京法桒原秋雄(長野)
東文眞島勝郎(新潟)　東法・松井卯一(群馬)　東法松尾茂雄(長崎)
東法松田安懷(栃木)　東經永倉德四郎(栃木)　京法川口源四郎(舊長谷)(愛知)
東經中村一郎(東京)　京法似鳥勳(舊大竹)(東京)　東文佐々健治(新潟)
•○關根小麓(新潟)　•東法鈴木道夫(福島)　東經小出昇(舊鈴木)(新潟)
東經高橋四郎(栃木)　京法高梨小一郎(千葉)　京法田中三郎(群馬)
東法豐原道也(新潟)　東經筒井秋水(高知)　東法内田實(栃木)
京法山崎好道(高知)

理科甲類（二十五名）

新醫淺野博(新潟)　•○伴茂(新潟)　京文原善平(長野)
東工廣岡東一郎(千葉)　東北工樋口丑男(新潟)　京經星名陽一(新潟)
東農五十嵐眞作(新潟)　東工金子柾(新潟)　東工金子南瀧(新潟)
東醫松尾重一郎(舊金澤)(長野)　•東農沓掛壽(新潟)　東農(博)皆川豐作(新潟)
東工 東法 茂木亮(群馬)　東工名兒耶馨(新潟)　新醫(博)島田修二(舊中野)(新潟)
新醫(博)野崎秀英(北海道)　東農大島弘(長野)　東農大谷鐘五(新潟)

京理 笹岡康男（新潟）　東工 佐藤謙吉（新潟）　東工 田口鉚三郎（東京）
東理 渡部重勝（新潟）　東理 小笠原萬龜三郎（新潟）　京工 山田正盛（新潟）
京理 山崎鐵治（新潟）

理科乙類（二十九名）

新醫 安宅洪茜（新潟）　京醫 濱松辰太郎（新潟）　新醫(博)樋ノ浦治一（新潟）
新醫(博)福原 武（新潟）　京醫(博)家坂直清（新潟）　•東北醫 今井健郎（宮城）
東工 伊藤俊男（新潟）　京醫(博)岩田正三（新潟）　新醫(博)樺澤 巖（新潟）
東醫 金井朋中（新潟）　新醫(博)唐津英作（新潟）　東醫(博)片桐仁禮（長野）
東北醫(博)木村圭一（岩手）　東北醫(博)古寺金剛（新潟）　東北醫 小島繁四郎（新潟）
新醫(博)雨宮尙二（舊水戶）（新潟）　新醫(博)岡田 博（舊中山）（新潟）　新醫 岡田潤一郎（新潟）
九醫(博)大坪潔己（東京）　東北工 佐藤 乾（北海道）　•新醫 霜島重吾（新潟）
京醫 鈴木 博（新潟）　東醫(博)杉本忠雄（新潟）　千醫 高橋貞三郎（埼玉）
新醫 高橋秀夫（新潟）　新醫(博)伊藤辰治（舊高橋）（新潟）　東理 井上竹千代（新潟）
新醫 山口亮松（新潟）　•東農 山內則之（愛知）

大正十四年三月卒業（第四回）（一一一名）

文科甲類（二十五名）

東法 安中忠雄（新潟）　東經 後藤 功（神奈川）　東經 端 俊夫（石川）

東經 波多野 武（新潟）　東經 山城孝昭（舊林）（東京）　東經 堀 敦（神奈川）
•東文 渡邊隆英（舊飯塚）（東京）　京法 池 留三（新潟）　東文 川村孫六（新潟）
東經 北原千尋（長野）　東經 前田 實（福島）　東文 松田壽男（東京）
•東經 松岡茶三男（東京）　東經 村岸和直（滋賀）　東北法文 明神信久（高知）
京經 野口五郎（新潟）　東文 齋藤菊麿（新潟）　東經 齋藤佩雄（北海道）
京法 齋藤澄丸（新潟）　新醫(博)江坂弘三（舊佐藤）（新潟）　東法 高森愛二郎（新潟）
京文 竹村菊太郎（奈良）　東法 田宮 淳（茨城）　東經 海野吉之（島根）
東法 渡邊泰敏（舊勝）（茨城）

文科乙類（二十九名）

•東經 海老原 賢（茨城）　東經 早川和成（舊劃）（新潟）　東法 早山隆三（新潟）
東經 池野德治（新潟）　京法 井坂吉一（新潟）　京經 伊藤宏一（千葉）
京法 上郡 幸（神奈川）　京法 久保利鷹（香川）　東經 增永文夫（東京）
東文 目黑松治（新潟）　京經 南 淺（富山）　京法 名島德次（舊森川）（山口）
京法 南部喜三矩（滋賀）　京文 二宮忠行（新潟）　京法 中島雄次郎（舊大橋）（愛知）
東法 大鹿 知（愛知）　東北法文 小田部家一（秋田）　東法 關根小鄕（新潟）
東法 淸水芳一（新潟）　京法 須貝哲榮（新潟）　京法 高橋公男（長野）
東法 高橋正巳（新潟）　京法 谷林 勝（東京）　東文 多勢甚吉（福島）
東北法文 山口光三（福島）　東法 山川 操（新潟）　東經 山添 亢（新潟）
京法 簡田正俊（香川）　東法 横山修二（新潟）

理科甲類（三十名）

•○阿部忠雄（山梨）
東工 牛田睦夫（栃木）
新医 長谷川三男（新潟）
新医 本間爲次（新潟）
新医（博）河路貞夫（新潟）
東理 近藤堅二（新潟）
•東農 宮森清次（福島）
•東工 西巻芳平（新潟）
京工 清水力（新潟）
東工 坪田隆平（神奈川）

新医（博）安宅辰之助（新潟）
•新医 原道則（島根）
新医 林勝潮（新潟）
東工 伊藤定管（新潟）
岡医 木村誠七郎（新潟）
新医 倉品克一郎（新潟）
東北工 中村一元（新潟）
新医 岡三郎（東京）
新医（博）小山征助 舊住木）（新潟）
新医（博）塚田恒助（新潟）

新医 槇連（新潟）
新医 長谷川一男（新潟）
新医 本間博吉（東京）
東工 兼子重途（福島）
東北工 北山爲寂（兵庫）
新医（博）三國龍門（新潟）
東北工 西良夫（山形）
九農 九法文 佐藤正雄（新潟）
•新医 玉木三十八（新潟）
京経 京法 塚本只一（愛知）

理科乙類（二十八名）

東医 安藤誠一（新潟）
•○延命正治（石川）
新医 池田苗夫（滋賀）
東北医（博）泉田塞（福島）
京医（博）栗原善夫（新潟）
•○元井昌一（新潟）

東北医 青木孝二（神奈川）
京医 後藤拙郎（宮城）
千医（博）今井知文（新潟）
新医（博）金井武夫（岐阜）
新医 丸山和雄（新潟）
新医（博）室橋博（新潟）

新医 青柳浩（新潟）
新医（博）林不二男（新潟）
新医 磯部誠之助（新潟）
千医 近藤俊英（新潟）
東工 松井達夫（新潟）
東医（博）中川明（東京）

新医 大野薫（東京）
九医 茂田孟（千葉）
東医 高橋繁（福島）
•新医 吉田武司（新潟）

新医 齋藤順作（新潟）
新医（博）清水弟二（新潟）
東医 博）土屋文雄（新潟）

東医（博 熊谷洋（舊瀨水）新潟）
京医 高橋松藏（新潟）
新医 堤捷平（新潟）

大正十五年三月卒業（第五回）（一三一名）

文科甲類（三十五名）

東法 青柳悟郎（新潟）
京文 星野力（新潟）
東経 石山慶次郎（新潟）
東法 小池恒雄（長野）
東法 近藤貞次（新潟）
○松本勝次（兵庫）
東文 間島定雄（新潟）
•東法 三崎道夫（新潟）
•○齋藤市作（新潟）
東文 篠田成之（新潟）
京経 宇尾野惇（新潟）
東経 矢浜淑夫（富山）

京法 淺間武夫（東京）
東文 藤田海龍（新潟）
京文 磯部辰雄（新潟）
•○鴻田忠夫（奈良）
東経 前田平八郎（東京）
東北法文 松本一雄（静岡）
東文 源川公[illegible]（舊玄一）（新潟）
京経 大上末廣（石川）
京文 酒井壤（東京）
東文 蕗谷武司（舊田村）新潟）
東法 渡邊一俊（新潟）
東文 吉田冬藏（新潟）

東北法文 彅田武嗣郎（長野）
東法 石山元二（福島）
東経 小池俊雄（新潟）
東法 近藤祐武（新潟）
東法 松井道夫（新潟）
東文 松本千代二（千葉）
東法 南宏（新潟）
東経 太田好治（長野）
•東農 關矢留作（新潟）
•○田中英二（新潟）
東経 山本忠雄（東京）

文科乙類（三十名）

- 京法 藍澤惟親（新潟）
- 京法 平田順一（栃木）
- 慈醫(博)伊藤總司（新潟）
- 京文 小島功一（新潟）
- 東經 松澤亮次郎（山形）
- •京文 西村國三郎（新潟）
- 九法文 澤田龍夫（新潟）
- 東文 鈴木當之（東京）
- •○ 千葉保夫（岩手）
- •京經 山田英一（新潟）
- 京文 高塚三平（舊原）（長野）
- 京文 堀部春晃（舊國治）（埼玉）
- •○ 岩野二三四（新潟）
- 京經 西川四郎（舊栗城）（福島）
- 東經 中居直二（舊長井）（新潟）
- 京經 齋藤一雄（新潟）
- 京經 志田清彥（長崎）
- •○ 高崎政明（茨城）
- 東法 豐島正已（新潟）
- 東經 山內榮一（新潟）
- 東北法文 長谷川義雄（新潟）
- •○ 板橋勝利（新潟）
- 京農 小山靜二（新潟）
- 東文 松本周二（三重）
- 東經 中村怜（山梨）
- 東經 佐藤文雄（新潟）
- 東經 曾和敬二（京都）
- 東經 坪谷五郎（舊田代）（新潟）
- 東法 上竹賢雄（新潟）
- 東法 平川次郎（舊山澤）（神奈川）

理科甲類（三十八名）

- 新醫(博)阿部功（新潟）
- 新醫 會津龍平（新潟）
- 新醫 武藤經世（新潟）
- 東理 廣川愿二（新潟）
- 京工 鎌田敏夫（東京）
- 東北理 加藤精一（東京）
- 東工 阿部卓三（福井）
- 東工 青柳晴一（新潟）
- •東農 惠美須良治（鳥取）
- 新醫(博)細野七郎（新潟）
- 東工 笠原宏（新潟）
- 新醫(博)小池上春芳（新潟）
- 新醫 藍原權次（新潟）
- 東農 馬場文夫（福島）
- 新醫 日野田碩三（新潟）
- 新醫 岩澤薫（新潟）
- 京工 笠原正夫（新潟）
- 新醫 桝澤中（新潟）

- 新醫(博)目黑隆（新潟）
- 新醫 宮澤稔（新潟）
- 東北醫 相川芳一（舊櫻井）（群馬）
- ○ 高橋道雄（新潟）
- 東農 田中辰雄（新潟）
- 新醫 渡邊要市（新潟）
- •新醫 吉田捷治（新潟）
- 新醫 高橋哲次（舊三輪）（新潟）
- ○ 大橋三朗（新潟）
- ○ 笹川純一（新潟）
- 東工 田村勝平（新潟）
- 東工 富永五郎（秋田）
- ○ 渡邊義男（新潟）
- •慈惠醫 吉山一郎（山口）
- 新醫(博)宮澤政榮（新潟）
- 新醫 坂井松三郎（新潟）
- 新醫(博)密田捷（舊正野）（新潟）
- 東北醫 田中邦雄（新潟）
- 日本醫(博)志賀達雄（舊梅原）（京都）
- 東北醫、博)金子喜八郎（舊山田）（新潟）

理科乙類（二十八名）

- 新醫(博)阿部良七（新潟）
- 新醫(博)本間茂雄（新潟）
- •○ 岩崎國衞（新潟）
- •新醫 村山信助（新潟）
- 東工 太田定治（岩手）
- 新醫 鈴木宏（新潟）
- 新醫 田中宏（新潟）
- 新醫(博)富田忠一（愛知）
- 新醫(博)渡邊好雄（新潟）
- 新醫 吉川健太（新潟）
- 新醫 花岡正（長野）
- 新醫(博)家田三郎（新潟）
- 東醫 小林謙司（新潟）
- 新醫(博)小川卯一郎（新潟）
- 新醫 關忠次（新潟）
- 東北工 高田規矩男（新潟）
- 京醫(博)天野謙吉（舊田中）（福島）
- 京文 渡邊啓一（東京）
- 東醫 山田一郎（新潟）
- •新醫 長谷川榮治（新潟）
- 東北醫(博)內村健兒（舊石塚）（岩手）
- 新醫 前澤惓五（新潟）
- •新醫(博)岡村正幸（新潟）
- •慈惠醫 柴本博（長野）
- 新醫 高橋權三郎（新潟）
- 新醫 藤崎三郎（舊時岡）（新潟）
- 新醫 渡邊武（新潟）
- 新醫(博)山賀勇（新潟）

昭和二年三月卒業（第六回）（二一九名）

文科甲類（二十八名）

京經 秋山勉一（山梨）　東經 林榮一（新潟）　京經 林周二（新潟）
京經 磯部己子太（新潟）　東文 岩崎次男（新潟）　東法 神山五郎（舊金井）新潟）
東法 梶谷丈太（廣島）　東法 神前和雄（東京）　東經 工藤秀夫（新潟）
東文 熊木啓作（新潟）　東法 國本嘉平次（富山）　京法 栗林潤吉（東京）
東文 的場慶四郎（北海道）　京法 松木明（新潟）　東文 松谷彌（新潟）
東經 三浦實德（島）・東經 中村彌一郎（滋賀）　○野口昌明（新潟）
京法 明石昇（舊大森）（大阪）　京經 來田才（新潟）・○瀨賀卯一（新潟）
京經 杉山重男（東京）　東經 高木清彌（新潟）　東經 竹內源三（愛知）
京經 渡邊五郎（新潟）　京經 渡邊豐松（新潟）　○山田繁三郎（東京）
○山崎三十八（新潟）

文科乙類（二十八名）

東北法文 安藤正一（新潟）　東經 早川秀治（新潟）　東農 引場太刀（新潟）
京經・本間寬次郎（新潟）　・東法 星野憲四郎（新潟）　京文 京農 飯田陸二（新潟）
京經 伊藤陞夫（山形）　東法 岩原繁司（新潟）　東經 小金井健男（東京）
東經 小宮山利三（新潟）　京經 小森七郎（岐阜）　東經 桑原玉市（新潟）

東・經 松村勝之助（東京）・東經 松浦晉二（德島）　京經 小澤健三（新潟）
○坂井一元（舊止仁）（新潟）　東經 齋藤又次（舊佐藤）（新潟）　東文 白坂農太郎（福島）
東法 鈴木勝利（新潟）　東北法文 高橋半六郎（新潟）　東經 高木克巳（島根）
東文 湊元克巳（新潟）　京法 簿井友治（石川）　東法 渡邊剛太郎（群馬）
○渡部清吉（新潟）　東經 山崎新次郎（新潟）　東北法文 中川力三（舊吉田）（富山）
東法 吉田作穗（新潟）

理科甲類（三十六名）

新醫（博）荒木護郎（佐賀）　京理（博）萩原基衛（大阪）　京工 本多深應（新潟）
新醫 石井石一郎（新潟）　東農 笠原潤二郎（新潟）　東農 金子克巳（新潟）
東農 川瀨武三郎（滋賀）　東農 木原林二（新潟）　東工 清田丁未（新潟）
・○小林茂（新潟）　東農 小林尚一郎（新潟）　東工 桑原靖雄（新潟）
・○松澤敏雄（新潟）　京工 源川豐二郎（新潟）　○宮澤榮一（新潟）
東北理 森田日子次（新潟）　東醫（博）南雲與左衞門（新潟）　新醫 中町喜三次（新潟）
新醫 仲村洋太郎（新潟）　東農 荻原貞夫（長野）　新醫（博）齋藤定（新潟）
東理 酒井軍治郎（勅潟）　東理 佐野重雄（新潟）　九農 佐藤一夫（岡山）
新醫 佐藤澤郎（山形）　九工 關博治（福島）　新醫 志賀滿雄（長野）
東理 高橋喜久雄（東京）　東工 田川忠之助（新潟）　京農 高山新一（新潟）
新醫 山口健吉（舊田中）（新潟）　遞官練 長瀨逸一（和歌山）　・○山崎正平（新潟）
京工 山下實（新潟）　東農 吉田巖（新潟）　新醫 吉本茂敏（島根）

昭和三年三月卒業（第七回）

甲類（三十五名）　文科　理科　乙類（二十七名）

甲類（三十五名）　文科

●東○京　法　後藤軍平（新潟）
經　文　五十嵐男司（新潟）
金井石太郎（新潟）
坂藤塚三松蔵（北海道）
義　省（北海道）
郎　司（新潟）
千　平（新潟）
寒　蔵（新潟）

京　法　川田任太郎（新潟）
文　東　野哲夫（長野）
科　東　池平一（新潟）
河伊市　男（新潟）
島藤川　太郎（新潟）
良武　男（新潟）
一　東（新潟）
京

○東○京　法　野村胡堂（静岡）
文　東　小林清（新潟）
北金伊石古　東（熊本）
村子藤黒川　吉（新潟）
憲英喜止男（新潟）
郎二（新潟）
島　潟（新潟）

●東京　法　小林澄兵衛（新潟）
經　文　前田林（新潟）
後藤澤（新潟）
藤原咲平（高橋）（新潟）
窓昌之（石川）
雄（新潟）
形（新潟）
島（新潟）

●東京　法　久保田隆圀（新潟）
經　文　井貫一（新潟）
小林澄（新潟）
前田林（新潟）
藤澤（新潟）
原咲平（高橋）（新潟）
窓昌之（石川）
雄（新潟）
形（新潟）
島（新潟）

●東京　法　小牧近江（新潟）
文　東　伊橋本（新潟）
法　東　多三郎（新潟）
川野出（新潟）
平三郎（新潟）
鈴木駒四郎（山形）
桑原武夫（新潟）
小牧近江（新潟）
伊橋本（新潟）
多三郎（新潟）
悌吉（新潟）
博（熊本）
本（新潟）
島（新潟）

●東京　法　小林澄兵衛（新潟）
文　東　伊藤欽二（埼玉）
法　東　物部長穂（岐阜）
佐々木慶七郎（長野）
伊藤深（福島）
欽二（埼玉）
穂（岐阜）
七郎（長野）
玉）

●東京　法　久保田隆圀（新潟）
經　文　井貫一（新潟）
小林澄（新潟）
前田林（新潟）
藤澤（新潟）
原咲平（高橋）（新潟）
窓昌之（石川）
雄（新潟）
形（新潟）
島（新潟）

●東京　法　小牧近江（新潟）
文　東　伊橋本（新潟）
法　東　多三郎（新潟）
川野出（新潟）
平三郎（新潟）
鈴木駒四郎（山形）
桑原武夫（新潟）
小牧近江（新潟）
伊橋本（新潟）
多三郎（新潟）
悌吉（新潟）
博（熊本）
本（新潟）
島（新潟）

●東京　法　小林澄兵衛（新潟）
文　東　伊藤欽二（埼玉）
法　東　物部長穂（岐阜）
佐々木慶七郎（長野）
伊藤深（福島）
欽二（埼玉）
穂（岐阜）
七郎（長野）
玉）

●目大黒　法　草野已代治（福田）（新潟）
北文　法　利我倉孝一（新潟）
海　東　鯖俊一（熊本）
道　京　吉（新潟）
●京　東　○　東京　東京　文　經　森田田　重孝正　信（埼玉）
○　東京　東京　文　經　經　文　小宮古神石　一（新潟）
北　金伊石古　東　東京　東京　文　經　經　文　梅杉佐露南小　俊倉孝　一（新潟）
村子藤黒川　東　東京　東京　文　經　經　文　津崎藤藍　林　吉（新潟）
憲英喜止男（新潟）　東　東京　東京　文　經　經　文　八久靜一清政　神谷川玉）
郎二（新潟）　東　東京　東京　文　經　經　文　重藏彌牛郎作（一（新潟）
島）　潟（新潟）　形）　潟（新潟）　玉）　山（新潟）　群）　坦（新潟）

理科甲類（三十名）

新醫 江部恒夫（新潟）
東工 堀川秀一（新潟）
○ 貝瀬範一（新潟）
東北工 小池勇二郎（新潟）
東農 水野金一郎（新潟）
新醫（博）納田早太郎（北海道）
新醫（博）大里太郎（新潟）
●○ 齋藤平藏（新潟）
東工 篠原恒男（長野）
新醫 武樋可雄（新潟）
東北法文 鵜澤定一（千葉）

東理（博）林孝三（新潟）
新醫 星長重郎（新潟）
東工 刈谷亨（新潟）
京工 近藤弘一（新潟）
新醫（博）西野芳久（山形）
東北工 野口善雄（新潟）
東工 大竹理三（新潟）
東農 酒井秀三（新潟）
金醫 杉山克巳（岐阜）
●新醫 武石邦三郎（舊田中）（新潟）

新醫 廣瀬廣（新潟）
東工 飯塚十郎（新潟）
新醫（博）笠原六郎（新潟）
新醫 前澤正（福島）
新醫（博）庭山政次（新潟）
新醫 小川敏夫（新潟）
東理 長内忠雄（青森）
新醫 槇嘉助（舊新穗）（山形）
新醫 鈴木一男（新潟）
新醫 内山彦九郎（新潟）

理科乙類（三十八名）

新醫 阿部泰輔（新潟）
千醫 本間賢吉（新潟）
新醫 曾田德（舊布施）（新潟）
新醫 石川政藏（新潟）
新醫（博）河邊昌平（新潟）

●○ 秋山孝美（新潟）
●千醫 堀昇（千葉）
●新醫 飯村叔雄（新潟）
金醫（博）石本義四郎（新潟）
新醫 北見角太郎（新潟）

●新醫 原天林（新潟）
新醫（博）星野孝男（新潟）
新醫 石田福一（德島）
新醫 伊與部彌市郎（新潟）
新醫 小林誠一（新潟）

●新醫 栗城實（福島）
新醫 三間博（新潟）
東北醫 大島公男（新潟）
京理 關根榮雄（新潟）
●新醫 田中長治（新潟）
東理 飛山圭一（新潟）
新醫 木村玄夫（舊涌井）（新潟）
●新醫 安田三郎（新潟）

●○ 桑名順治郎（秋田）
新醫 三浦義夫（山形）
●○ 大屋一三（新潟）
新醫（博）高橋恭平（新潟）
新醫 田中義剛（新潟）
新醫 津島繁太郎（新潟）
●○ 山本保夫（新潟）
千醫（博）吉野清（千葉）

新醫 前田寬（新潟）
東農 中原彦之亟（新潟）
東農 齋藤逸朗（千葉）
●新醫 田中輝男（新潟）
●京醫 田代健（新潟）
新醫 堤交平（新潟）
新醫（博）山添三郎（新潟）

昭和四年三月卒業 第八回（一二八名）

文科甲類（四十名）

東經 有賀博（長野）
東經 帆坂藤吉（新潟）
神戸商 井上一夫（東京）
●○ 川島泰（新潟）
京經 橘川利三郎（栃木）
京法 眞下利治（群馬）
東經 森田正義（栃木）
東北法文 大湊德治（新潟）

○ 平等文成（神奈川）
京法 細川平一郎（新潟）
東法 石田吉男（長野）
東文 勝又俊教（舊弘信）（新潟）
●京文 日下卓造（兵庫）
東法 松本正一（京都）
京經 中村清英（新潟）
東北法文 佐々木榮一（新潟）

東文 花岡直一（長野）
京法 五十嵐英夫（新潟）
○ 金子武夫（福島）
京經 木原四郎（大阪）
東文 久住良三（新潟）
京法 松田順吉（富山）
京經 奥村三郎（滋賀）
京法 佐藤明（福島）

東文 佐藤顕宏(山形)
東經 清水雪松(東京)
東北法文 田中喜一(新潟)
東文 土岐元春(新潟)
東法 馬瀬文夫(和歌山)
東經 吉清文次郎(東京)

神戸商 柴宮久雄(長野)
京法 富岡博(舊關根)(新潟)
東經 田中光夫(長野)
•東北法文 植木恒彦(東京)
○ 八木三郎(新潟)

京文 清水平作(新潟)
東經 高木皖(千葉)
京文 茅根一誠(茨城)
東法 內山友次郎(新潟)
京法 矢崎榮一(山梨)

文科乙類 (二十六名)

東經 近藤勇(舊阿部)(新潟)
東經 牛來進(福島)
東文 稲葉誠一(新潟)
東文 岡部鎗三郎(舊神戸)(群馬)
東文 小谷浩藏(新潟)
京都京法 中原藏之亟(新潟)
京法 坂井孝(新潟)
○ 上原廉三(新潟)
東經 山中克巳(栃木)

京法東文 風間慶三(舊鎧谷)(山形)
東文 星野愼一(新潟)
東文 伊藤世美(新潟)
京法 河村善生(山口)
東北法文 森茂夫(愛媛)
京法 小川潤(東京)
東經 曾和亶三(東京)
東經 內村政芳(北海道)
京法 泉金三郎(舊湯澤)(栃木)

•京法 赤眞博(和歌山)
東法 池田和美(長野)
京法 賀來一郎(東京)
京法 駒井巳年雄(山梨)
東文 永井行藏(新潟)
京法 齋藤幸一(新潟)
京經 田部淵之(島根)
新醫 渡邊林八郎(新潟)

理科甲類 (三十名)

新醫 阿部俊一(新潟)
東工 有坂誠喜(新潟)
東北工 後藤秀雄(長野)

東北工 小島央(舊早川)(新潟)
東北工 岩間幸得(宮城)
新醫 木根淵善吉(山形)
•新醫 小島武司(新潟)
東北工 中山嘉三(茨城)
東北工 小山順一郎(宮城)
京工 佐藤健三(秋田)
東工 海老名貞助(舊高橋)(福島)
東北法文 山田誠士(山形)

京醫 遠藤龍雄(新潟)
•京工 金田義雄(新潟)
新醫 小林勝郎(東京)
東工 丸山力三(新潟)
東工 西野榮一(新潟)
新醫(博)櫻井正治(新潟)
東北理 佐藤德松(新潟)
東理 竹林松二(新潟)
北理 山口四郎(山形)

○ 飯島功(山梨)
東理・加藤寛郎(新潟)
新醫(博)込田康夫(新潟)
東工 南義夫(新潟)
東北法文 慈醫 大森茂樹(新潟)
東工 佐藤岩男(新潟)
東農 清水弘(新潟)
•○ 若杉日出生(新潟)
○ 山名正二(新潟)

理科乙類 (三十二名)

東工 五幣淳次(新潟)
新醫 盧田二三男(舊伊藤)(兵庫)
東北醫(博)坂井藤吉(舊菊地)(新潟)
九醫 宮城文雄(沖繩)
金醫 小高泰藏(千葉)
京醫 太田正(新潟)
新醫 關根榮一(新潟)
新醫 鈴木進(新潟)
東農 田中良男(新潟)

新醫 後藤鐵藏(新潟)
新醫 伊藤一男(山形)
東北醫(博)木村元(宮城)
新醫(博)中川正平(新潟)
•新醫 丘山幹一(新潟)
名醫(博)齋藤直衞(京都)
東北醫(博)重野謙次(北海道)
慈惠醫 高橋彌二郎(東京)
•○ 田代健(新潟)

新醫(博)星野清(新潟)
•新醫 金子嘉兵衞(新潟)
新醫 小林繁(新潟)
新醫 小田市造(群馬)
•東農 大石眞滑(新潟)
新醫 齋藤良太(舊清野)(新潟)
新醫 小野四郎(舊早福)(新潟)
新醫 高島初男(新潟)
東醫 伊藤富久衞(舊蟲)(長野)

東醫(博)德重　隆(福　岡)　新醫　涌井孝敏(舊上田)(靜岡)　新醫　牛山　正巳(長　野)
新醫　渡邊　實(新　潟)　新醫　安原　美王麿(新　潟)

昭和五年三月卒業　第九回　(一三三名)

文科甲類　(三十三名)

東北法文　二村　穰(福　島)　京法　指宿　千春(鹿兒島)　東文　池島　信平(東　京)
東北法文　生田　太(熊　本)　京法　石井　良三(新　潟)　○　龜谷　繁(新　潟)
東北法文　宮崎克巳(舊金井)(富山)　東法　神田　坤六(新　潟)　京法　加野　一郎(新　潟)
東經　狩野　雄二(群　馬)　東經　桂井　浩三(北海道)　東北法文　小宮　益太郎(東　京)
●東北法文　丸山　定(新　潟)　●東法　松下　典夫(石　川)　京法　土井健三(舊森)(京都)
東法　內藤　豐作(新　潟)　東經　中澤　好夫(宮　城)　東法　佐藤　孝(舊奥村)(新潟)
京法　中野義彥(舊奥村)(新潟)　東法　大谷　喜一郎(新　潟)　東文　高橋　國男(新　潟)
●京法　今湊曉照(舊高松)(滋賀)　東文　竹前　逵矣(長　野)　京法　竹內　至(新　潟)
東經　田宮　章(茨　城)　東北法文　田邊　榮二(新　潟)　東經　田崎　與喜衞(新　潟)
京法　土屋　勳(新　潟)　東文　渡邊　芳雄(新　潟)　東經　山田　功助(新　潟)
京法　横倉良夫(舊山田)(栃木)　○　山名　榮一(新　潟)　●東北法文　柳原　壽孝(愛　媛)

文科乙類　(三十五名)

東經　阿部　津登務(新　潟)　京法　原　勝人(長　野)　京法　本藤　正美(愛　媛)
京法　堀內　憲要(長　野)　京法　井上　憲司(新　潟)　東經　市川　六郎(長　野)
東經　伊藤　哲彌(新　潟)　○　加藤　武之(新　潟)　京法　加藤　義則(愛　知)
京經　西本爲道(舊川角)(島根)　京經　岡　圭輔(舊藏野)(山口)　東經　松橋　賢三(長　野)
東經　三森　重義(栃　木)　東北法文　中林　東平(新　潟)　●○　西澤　義雄(新　潟)
九法文　小川　朔郎(岐　阜)　京農　太田　昇之助(埼　玉)　○　大塚　彌平次(新　潟)
東文　齋藤　省三(新　潟)　東文　佐藤　正志(宮　城)　東北法文　澁谷　門衞(新　潟)
東文　須貝　興一(新　潟)　京法　多田鋼二(舊須貝)(新潟)　京法　鈴木　捐次(愛　知)
東文　高橋　易(宮　城)　東文　丸龜金作(舊武田)(新潟)　東文　田中　悅平(宮　城)
東北法文　宍澤三武雄(舊田中)(新潟)　京經　田中　正佐(山　形)　東文　上野　康貴(北海道)
東法　牛塚　公太郎(富　山)　東經　宇都見　保(栃　木)　京法　渡邊　裕四(愛　知)
東法　土屋四郎(舊山田)(福井)　九法文　養老　學(福　井)

理科甲類　(三十三名)

新醫　阿部　新太(福　井)　新醫　荒　蕃男(福　島)　新醫　淺野　豐(新　潟)
東工　江口　治(新　潟)　東工　長谷川　大(新　潟)　東北工　樋口　史郎(新　潟)
新醫　本間　五郎(新　潟)　京醫　石坂　英夫(新　潟)　東理(博)岩崎　岩次(新　潟)
東工　上島　大助(長　野)　新醫　金子　重次郎(新　潟)　東農　笠原　新二(新　潟)
京醫　笠木　甲一(新　潟)　新醫　菊地　耕一(福　島)　●京工　木村　德治(大　阪)
○　小林　源一郎(新　潟)　●新醫　工藤　鈔藏(新　潟)　新醫　朽名　憲(愛　知)
●新醫　西岡幸次郎(舊眞柄)(新潟)　東工　升箕　藤二郎(新　潟)　東工　箕浦　務(新　潟)

新醫 宮井喜子男(福島)　新醫 宮腰 清(新潟)　東農 宮崎芳武(北海道)
東北工 羽根田勝次(舊村井)(山形)　新醫 中山 坦(新潟)　東農 中澤忠作(石川)
新醫 福山 仁(舊齋藤)(福井)　東工 拓植 武(岐阜)　新醫 清水常司(新潟)　新醫 菅原常雄(山形)
東工 山崎幸一(新潟)　新醫 上野顯一(京都)　東工 山口隆男(群馬)

理科乙類（三十一名）

○ 淺利仁吾(山梨)　新醫 林 啓介(新潟)　新醫 深井忠作(新潟)
新醫 五十嵐彌志郎(新潟)　新醫 池 留雄(北海道)　新醫 今泉久平(富山)
新醫 石井 裕(新潟)　○ 相澤喜代治(舊石田)(新潟)　九醫 板垣新一(山形)
○ 岩佐侑三(富山)　東農 河邊昌保(新潟)　新醫(博)田中清人(舊國分)(福島)
○ 水上浩一(新潟)　京農 溝口德三郎(京都)　新醫 守口 萬(宮城)
東歯 中川 孝(新潟)　新醫(博)中山恒明(山梨)　新醫(博)中澤忠雄(山梨)
新醫(博)丹路信男(新潟)　千醫(博)佐野宣正(舊大枝)(新潟)　新醫 佐野一郎(新潟)
東北醫(博)佐々木德雄(宮城)　新醫 渡部 孝(舊關川)(新潟)　新醫 霜鳥重策(新潟)
東北醫 鈴木 勳(福島)　新醫 鈴木正弘(秋田)　新醫 高橋 博(新潟)
新醫(博)坪井清三郎(新潟)　新醫 上野大成(新潟)　新醫 和貝俊夫(栃木)
東北醫 渡邊正彦(新潟)

昭和六年三月卒業（第十回）（一一二名）

文科甲類（三十二名）

東法 佐々木寛司(舊阿部)(新潟)　東文 淺野三郎(新潟)　京法 濱田幸治(石川)
●東文 本間泰士(東京)　東北法文 星野秀治(新潟)　京經 藤野種生(福岡)
京法 今成一郎(新潟)　京法 石橋竹苞(福井)　京法 一瀨幸雄(山梨)
京文 木村貞夫(宮城)　京經 玉井善一郎(舊木寺弘)(大阪)　東法 小島正一(茨城)
東文 近藤定義(新潟)　京經 近藤丈夫(新潟)　東北法文 栗山甚之助(新潟)
京法 渡部政二(舊松永)(新潟)　九法文 松岡壽男(山口)　京文京理 村山方治(新潟)
京法 長濱政壽(新潟)　京經 中島長一(北海道)　東文 和田聖嗣(舊庭山)(新潟)
京經 小川泰藏(新潟)　東文 小野塚忠義(新潟)　東經 齋藤英四郎(京都)
東北法文 齋藤敏雄(福島)　○ 角田陽吉(新潟)　京法 神保鳳三郎(舊高橋)(新潟)
京法 田邊隆一(新潟)　○ 栂尾彌太郎(東京)　○ 若林四郎(北海道)
神戸商 山村一雄(東京)　京經 山崎 勉(新潟)

文科乙類（二十九名）

東文 育柳英夫(新潟)　東經 古川虎男(新潟)　東經 井上哲二(秋田)
●京經 石井武男(新潟)　京經 籠島秀雄(新潟)　東經 金古隆治(群馬)
東文 片桐顯智(長野)　東文 金學俊(朝鮮)　京法 小林甚三郎(新潟)

東法　三國一義（新潟）
京法　長嶺豐明（長野）
東法　奧村義雄（石川）
東經　大岡齊（舊柴田）（福岡）
京經　田邊俊（新潟）
東北法文　谷久彌（新潟）
○　渡邊三郎（新潟）
•京經　森泉英三（長野）
東文　中野久一（新潟）
東法　小野塚彬樹（新潟）
京法　高橋謙四郎（東京）
京經　田中寛（長崎）
京法　豐島稔（新潟）
東文　山宮作市（新潟）
京法　長藤友三郎（島根）
京法　小畔信三郎（舊野澤）（新潟）
京文　齋藤貞雄（栃木）
東北法文　高橋茂（宮城）
東北法文　田中誠作（新潟）
○　塚田梅三（新潟）

理科甲類（二十名）

東理　安達忠次（新潟）
•東農　石田仁平（新潟）
新醫　水戶良七（新潟）
新醫　中野英雄（新潟）
東北工　笹川正男（新潟）
東工　田中節之助（神奈川）
新醫　服部濤作（舊山田）（新潟）
京理　原光雄（山梨）
新醫　木村圭一（新潟）
新醫　宮村三男（新潟）
京工　中山義男（新潟）
北理　佐藤礒之介（福島）
新醫　戶田義雄（新潟）
新醫　成澤雄三（舊矢濱）（富山）
新醫　星善六（福島）
新醫　串田正（新潟）
東工業　中村周清（新潟）
新醫　新田見文雄（新潟）
新醫　佐藤喜一（新潟）
東工　植木正平（新潟）

理科乙類（三十一名）

京醫　堀井隆男（新潟）
新醫　今井一雄（新潟）
新醫　堀內靜生（長野）
新醫（博）今井二雄（新潟）
新醫　藤崎誠治（新潟）
新醫　石坂良英（新潟）

新醫　石崎和男（新潟）
新醫（博）川崎元一（新潟）
新醫　松浦桂秋（新潟）
•○　小野塚俊夫（新潟）
新醫　關谷俊冬（東京）
•新醫　竹之內誠次（新潟）
新醫　歐川宣之（新潟）
千醫（博）渡邊宗次（栃木）
新醫　吉弘一郎（新潟）
新醫（博）角原時之助（新潟）
新醫　兒玉喜夫（新潟）
新醫（博）安藤洲二郎（舊仲村）（新潟）
新醫　大野彰吾（新潟）
新醫（博）新井八郎（舊宍戶）（山形）
東農　近岡忠三（山形）
•新醫　渡邊浩（新潟）
新醫　矢部寛（東京）
京農　大沼康（舊加藤）（宮城）
京醫　增村雄三（新潟）
•千醫　中山賴信（山梨）
新醫　尾崎貞夫（新潟）
新醫　住川孝治（新潟）
新醫　土田鐵男（新潟）
東醫　渡邊正毅（長野）
新醫　板井佐次郎（舊山田）（新潟）

昭和七年三月卒業（第十二回）（一一三名）

文科甲類（十七名）

京文　青沼英幸（長野）
京法　平澤達夫（新潟）
京法　前田達雄（東京）
•○　澤田眞一（埼玉）
京文　須藤賢（栃木）
東文　戶井田耕（新潟）
京法　渥美源平（靜岡）
東法　笠原吉三（新潟）
東北法文　森本二郎（長野）
東北法文　關口清（新潟）
東法　玉木正利（新潟）
○　渡邊泰通（鹿兒島）
京文　川崎健史（舊長谷部）（千葉）
京經　眞部悌吾（新潟）
東經　小倉要（神奈川）
神戶商　澁谷慶彥（新潟）
東文　田村輝雄（東京）

文科乙類（三十三名）

東文 阿部 乾六（新潟）
京法 遠藤 準一（福島）
東法 平間 金次郎（宮城）
京法 飯塚 克夫（群馬）
京法 加賀美 正秀（山梨）
東北法文 村上 啓一（宮城）
京法 田中 進（舊太田）（三重）
・○ 佐野 章一（新潟）
京經 鈴木 房吉（埼玉）
京經 高柳 貫（北道海）
京法 富澤 龍雄（東京）

○ 相田 英一郎（新潟）
京經 榎 赳郎（新潟）
京法 五十嵐 伊佐夫（新潟）
京法 川上 英三（舊今井）（新潟）
東法 川上 陞（新潟）
・○ 西方 勇（新潟）
・○ 齋藤 利鐮（群馬）
東法 關根 達夫（新潟）
東經 鈴木 昌一（東京）
京法 田中 清太郎（新潟）
京法 上原 武美（新潟）

東文 有山 崧（東京）
京法 間 卓二（岐阜）
東北法文 井越 春三（舊五十嵐）（新潟）
東北法文 石黒 正（新潟）
京法 松本 正雄（新潟）
京法 西見 太郎（福岡）
・京經 眞田 孝（神奈川）
京法 志田 勝美（新潟）
京法 鈴木 正二（新潟）
京法 田代 三作（新潟）
東文 矢部 越夫（新潟）

理科甲類（二十八名）

東北工 安藤 公平（新潟）
九農 石黒 富美男（新潟）
新醫（博）木村 英雄（兵庫）
新醫 久保田 幸次郎（新潟）
新醫 齋藤 榮作（舊村上）（山形）

新醫 牛腸 義次郎（新潟）
東工 伊藤 容之助（新潟）
東工業 木村 恒行（東京）
東工 桑山 正俊（新潟）
新醫 中田 三郎（福島）

新醫 坂本 國男（舊蓮沼）（茨城）
新醫 岩佐 修嶽（滋賀）
東農 鴻巣 俊次郎（茨城）
・○ 宮路 幸平（新潟）
新醫 中村 正（茨城）

京農 小田柿 進二（滋賀）
新醫 佐々木 桐樹（秋田）
東醫 高橋 越民（新潟）
・新醫 豐田 併三（山形）
東北工 山崎 卓爾（新潟）

東北工 齋藤 吉之助（新潟）
新醫 佐藤 一郎（新潟）
東工 高木 利夫（新潟）
東醫 栂野 喜一（舊渡邊）（新潟）

新醫 櫻井 誠一（新潟）
新醫 相馬 雄三（新潟）
東北工 高久 逸郎（群馬）
京工 渡邊 安藏（新潟）

理科乙類（三十五名）

新醫 明石 勝文（北海道）
新醫（博）萩尾 一夫（福岡）
新醫 帆刈 喜四男（新潟）
・新醫 井坂 吉二（新潟）
新醫 君 健男（新潟）
新醫 古閑 朔郎（新潟）
新醫 桑島 亥四郎（山形）
新醫 内藤 義熹（新潟）
新醫 岡田 藤二郎（福島）
新醫 鈴木 源三郎（栃木）
新醫 竹内 仁幸（新潟）
大醫 若林 清（山形）

新醫 江川 三二（福島）
新醫 花野 由三郎（新潟）
新醫 古澤 東松（新潟）
新醫 河邊 昌伍（新潟）
新醫 小出 圭吉（新潟）
新醫 染谷 通大（舊小島）（千葉）
新醫 丸山 求藏（新潟）
新醫 西條 良雄（新潟）
東農（獸）瀬崎 貫三（埼玉）
新醫 鈴木 仁長（新潟）
新醫 北條 末作（舊出卷）（新潟）
新醫（博）渡邊 林八郎（新潟）

新醫 遠藤 長平（新潟）
新醫 林 元四郎（新潟）
東醫 林 豁（舊池田）（新潟）
新醫 川上 濟治（新潟）
新醫 杉本 磐根（舊小池）（新潟）
京理 栗原 正次（新潟）
新醫（博）若山 美知（舊三須）（埼玉）
新醫 岡田 健之助（岩手）
新醫 志村 彦八（山梨）
新醫 鈴木 清藏（新潟）
新醫 田中 眞一（新潟）

昭和八年三月卒業（第十二回）（一二九名）

文科甲類（三十名）

京法 安部清雄（山形）
東法 福田正男（栃木）
●○ 市橋七郎（新潟）
東経 川崎進一（新潟）
京法 古松四郎（舊丸山）（長野）
京文 南勇（新潟）
京法 中村登（新潟）
○ 岡崎佐太郎（和歌山）
京経 坂井義雄（新潟）
東北法文 鹿俣丈三（舊高橋）（新潟）

京法 坂口恒太郎（新潟）
東法 石島祐（栃木）
東文 土屋仁（舊伊藤）（新潟）
京経 小日山秀夫（福島）
九法文 松原保（福岡）
東北法文 三澤幹雄（福井）
京経 中野惣平（新潟）
東文 大西正美（長野）
京経 相馬五郎（北海道）
東北法文 田中一郎（鹿兒島）

●○ 後藤芳弘（新潟）
東文 曦野信司（新潟）
東法 甲斐英夫（新潟）
東文 栗林正（新潟）
●○ 松井清彌（山形）
京法 三橋淑夫（東京）
京農 大石芳郎（新潟）
東北法文 大谷越男（新潟）
京法 高橋清一郎（新潟）
東北法文 山内康平（新潟）

文科乙類（二十八名）

東北法文 青木七三雄（東京）
東法 樋浦省吾（新潟）
東経 石川正義（山形）
京経 富田信雄（舊川瀬）（福島）

○ 早川勝夫（新潟）
東文 藤井重雄（新潟）
東法 神田利武（新潟）
九法文 木村德（新潟）

京法 廣島一雄（新潟）
京法 井上二郎（滋賀）
東文 加藤義平（新潟）
京法 木下直（山形）

○ 喜多健三郎（新潟）
東法 牧野哲二（新潟）
●京法 永井薫（新潟）
京法 尾崎幸平（埼玉）
京法 上野一益（新潟）
東北法文 吉野孝雄（宮城）

東経 小林孝平（新潟）
東北法文 三東三司（北海道）
京経 中村誠（東京）
京法 白勢清（舊杉崎）（新潟）
東法 渡邊上（新潟）

理科甲類（三十五名）

新醫 赤川徹男（新潟）
東理 飯盛武夫（東京）
東工 小林諒二（新潟）
●○ 丸田茂夫（新潟）
東北醫 增淵一正（千葉）
大阪工 名兒耶亘（新潟）
新醫 中川一雄（新潟）
○ 佐藤一（新潟）
東農 新澤嘉芽統（新潟）
●○ 高崎芳之助（長崎）
新醫 山田正夫（新潟）
東工 吉田昭平（新潟）

新醫 堀川悌次郎（新潟）
東理 伊藤泰三（秋田）
東工 古俣鐵三郎（新潟）
東農 丸山岩三（新潟）
新醫 松原俊慶（新潟）
東農 中條榮太郎（新潟）
新醫 中川一（新潟）
東工 丹路敬信（新潟）
新醫 清野政雄（新潟）
東北工 鈴木公一（新潟）
東工 土田陽（新潟）
東工 山口重夏（新潟）
京工 吉田豐（新潟）

新醫 星山甚三郎（舊星野）（新潟）
東工 河上由男（新潟）
新醫 迅田幸夫（新潟）
東工 眞島清貴（新潟）
東工 南一枝（新潟）
東農 中川一郎（新潟）
新醫 西田育三（三重）
東理 關口米藏（新潟）
東理 鈴木保正（新潟）
東北醫 渡部久之丞（福島）
東北工 矢島悅次郎（新潟）

理科乙類（三十六名）

東農 青木 萬（新潟）
大阪醫 林 拾五（岐阜）
東農 飯島 春三（長野）
・○ 岸野 昇一（新潟）
新醫 巻淵 隆一（新潟）
東工 松井 健藏（新潟）
金醫 成澤 堅一郎（秋田）
京醫 野田 博（京都）
新醫 篠原 啓一（新潟）
新醫 植田 五一郎（新潟）
新醫 櫛谷 敏夫（舊山口）（新潟）
新醫 山本 稔（新潟）
新醫 丸山 正三（舊江部）（新潟）
京醫 平田 幸一（新潟）
東農 伊關 豐次（山形）
新醫 北脇 滿親（新潟）
新醫 丸山 欽一（新潟）
大阪醫 村井 出（新潟）
新醫 成田 深義（福島）
新醫 小澤 信夫（千葉）
新醫 高橋 七五三夫（新潟）
新醫 八幡 一良（新潟）
新醫 山口 好三（大阪）
東理 矢澤 大二（長野）
新醫 榎並 季平（新潟）
新醫 茨木 政夫（新潟）
新醫 笠原 吉衛（新潟）
新醫 小島 文吉（新潟）
東農 松井 久夫（新潟）
・○ 南波 周一（新潟）
東北醫 二瓶 泰（福島）
大阪醫 關 悌四郎（新潟）
新醫 田中 正二（新潟）
新醫 藥丸 蛾（宮崎）
新醫 山本 源一郎（新潟）
東醫 吉澤 功（新潟）

昭和九年三月卒業（第十三回）（一二六名）

文科甲類（三十名）

東法 阿部 市次（新潟）
京經 服部 文一（廣島）
京經 青木 圭太郎（東京）
京法 廣部 悌哉（千葉）
東文 長谷川 修一（新潟）
東經 深澤 正一（神奈川）

東北法文 古川 清一（福島）
京文 簡野 正明（東京）
東文 久門 英夫（東京）
東文 長崎 達男（新潟）
○ 新保 常作（新潟）
○（新醫） 高橋 一郎（新潟）
・京文 照井 善信（秋田）
京經 渡邊 良哉（東京）
東北法文 猪坂 三郎（新潟）
・京經 笠川 脩平（千葉）
・東北法文 前田 政一（福井）
東文 山田 康二郎（舊佐野）（新潟）
東文 鈴木 昌德（東京）
○ 高橋 正夫（新潟）
京經 塚本 清景（兵庫）
東北法文 吉田 茂勇（新潟）
・○ 板倉 八十吉（福島）
・○ 川上 隆（新潟）
東文 長崎 素明（新潟）
東法 關 隆正（新潟）
・○ 高木 洸（石川）
・○ 瀧澤 義一（秋田）
東經 上原 虎雄（新潟）
東經 讓原 猛（神奈川）

文科乙類（三十三名）

東法 後藤 正弘（東京）
・○ 石川 軍二（群馬）
京法 甲田 敏郎（新潟）
東文 栗林 種一（福島）
京法 室川 政純（東京）
・○ 昇 昌信（鹿兒島）
京文 大杉 文夫（靜岡）
京法 齋藤 博（秋田）
京經 關根 進（新潟）
京法 渡邊 久（舊鈴木）（千葉）
東法 橋本 忠夫（新潟）
東法 片桐 十吉（新潟）
京法 小島 福三郎（神奈川）
京法 栗山 宇之助（新潟）
京經 中村 浩（福岡）
東法 小原 剛（新潟）
○ 大谷 軍二（新潟）
東北法文 澤田 達夫（新潟）
京法 靜谷 澄夫（大阪）
京法 高浦 保雄（岡山）
東文 藤巻 慧宏（新潟）
京經 計良 長雄（新潟）
京經 小柳 昌治（新潟）
東文 松岡 英夫（新潟）
東法 根本 祐隆（長野）
京法 岡垣 梅治（鳥取）
京經 五十嵐 平四郎（舊齋藤）（新潟）
京經 關原 利夫（新潟）
東北法文 須貝 壽一（新潟）
東文 田村 五郎（鳥取）

京經田中正世(山形)　東法和田靜男(新潟)　東法渡邊正新潟)

理科甲類(三十一名)

東農阿部又三(新潟)　新醫味方正作(新潟)　東工明山正元(兵庫)
東農淺井宏(新潟)　東理波磨忠雄(德島)　新醫服部貞治(新潟)
新醫石垣勇(埼玉)　東農石山貫治(新潟)　東理金子修(新潟)
○柏原一郎(東京)　●東理川村直清(山梨)　新醫黑川武三郎(新潟)
新醫宮村定男(新潟)　東理宮崎政三(新潟)　新醫西山正吉(新潟)
新醫小黑忠太郎(新潟)　新醫大橋義臣(新潟)　新醫大西正一(新潟)
東工大野賢二(新潟)　(東理)大野峻泉(新潟)　新醫太田武新潟)
京理佐藤彬新潟)　東工重野伊(新潟)　東農杉山多四郎(新潟)
九工高田光次郎(福岡)　東工高野政夫(新潟)　大工田中正一(新潟)
新醫若松榮一(新潟)　新醫渡邊堅治(新潟)　東北工山田俊夫(岩馬)
京農山田豐(新潟)

理科乙類(三十二名)

新醫荒川正(新潟)　京理江川正(新潟)　新醫樋口雄七(新潟)
京理堀龍夫(新潟)　京醫福中一雄(鳥取)　新醫猪初男(新潟)
京醫岩川克信(青森)　新醫梅津寬(新潟)　新醫加藤秀英(新潟)
新醫田中芳藏(新潟)　新醫小林三郎(新潟)　新醫小林誠之助(新潟)

新醫熊谷富義(新潟)　新醫倉品稔(新潟)　新醫町田一郎(新潟)
新醫松田英雄(新潟)　●新醫宮島正治(新潟)　新醫森弘(新潟)
新醫森德松(新潟)　新醫中原友之亟(新潟)　新醫岡田正雄(新潟)
新醫桶谷勇策(新潟)　新醫大屋恒夫(新潟)　新醫篠川至(新潟)
新醫佐藤謙介(新潟)　東工業清水朋治(東京)　東醫清水俊雄(新潟)
新醫高橋文雄(新潟)　●新醫高橋興一(新潟)　新醫高橋稔(新潟)
千醫澤榮一(千葉)　新醫橫山正松(新潟)

昭和十年三月卒業(第十四回)(一一四名)

文科甲類(二十六名)

東文淺井祥朝(新潟)　京法濱田芳馨(新潟)　京法廣瀨豐平(愛知)
京文藤江正路(大阪)　東文伊津野正(東京)　京經石井作美(佐賀)
京法伊藤春一(新潟)　京文角原喜四郎(東京)　東法海嶽毅(福島)
東文金勝久(新潟)　●小林貞臣(北海道)　東文桑山乾司(新潟)
京法宮島八彌(新潟)　東法森多聞長野)　東文長野誉一(新潟)
東北法文中島喜久治(新潟)　東法成田清(新潟)　東文西島弘邦(滋賀)
東法野澤剛三(新潟)　京法大久保武男山形)　京法大竹佐中(福島)
東經齋藤庫太郎(新潟)　京法梱村二男(千葉)　神戶商田村正三(東京)
京法蒲井十一郎(新潟)　京經安岡茂夫(靜岡)

乙類（二十七名）

京	京	京	東北	東	京	京	京	京	京
法	法	法	文	文	法	法	法	法	法
戸崎（神奈川）	高奥（山梨）	井村（岐阜）	嗚澤（山形）	嗚道（奈良）	佐藤（東京）	三原（京都）	山矢（岐阜）	田澤（東京）	會馬（鳥取）
法	松	永	忠	俊	三	藤	矢	村	場
經	黒	田	後	夫	黒	原	澤	杉	金太郎（新潟）
經	石	黒	藤	一（兵庫）	嶋	山	政	政	太
經	稻	業	洋一	郎（愛知）	入	一（三重）	誠	太郎（神奈川）	郎（新潟）
科	本	間	雄	祐之（群馬）	慶	二（新潟）	清	一（新潟）	之（群馬）
理	嶋	川	雄	之（群馬）	喜	一（新潟）	藏	一（新潟）	助（島根）
形	喜	方	慶	知（鳥取）	馬	重（新潟）	島	島	馬（岡山）
良（奈良）	一（兵庫）	一（新潟）	阜（岐阜）	島（鳥取）	嶋（東京）	藏（新潟）	嶋（東京）	嶋（東京）	嶋（東京）

甲類（二十九名）

東北	京	東	新	新	京	○	東	東	東
工	工	工	醫	醫	理		農	農	農
川川時	中	内	川	川	井	谷	片	小	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）
良	村	田	林	山	川		川	井	船	正	西	埼	早	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）
二（新潟）	正	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）																				
京	東	新	新	京	○	東	東	東	東	東	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
工	醫	醫	醫	理		農	農	農	農	農	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
川川時	中	内	川	川	井	谷	片	小	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）	永	山	三男雄（新潟）	玉	三男雄（新潟）
良	村	田	林	山	川		川	井	船	正	西	埼	早	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）
二（新潟）	正	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）																				
京	東	新	新	京	○	東	東	東	東	東	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
工	醫	醫	醫	理		農	農	農	農	農	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
川川時	中	内	川	川	井	谷	片	小	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）	永	山	三男雄（新潟）	玉	三男雄（新潟）
良	村	田	林	山	川		川	井	船	正	西	埼	早	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）
二（新潟）	正	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）																				
京	東	新	新	京	○	東	東	東	東	東	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
工	醫	醫	醫	理		農	農	農	農	農	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
川川時	中	内	川	川	井	谷	片	小	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）	永	山	三男雄（新潟）	玉	三男雄（新潟）
良	村	田	林	山	川		川	井	船	正	西	埼	早	布	施	實	一（群馬）	藏	三郎（福島）	正義（宮城）	一（新潟）	吉（新潟）	男（群馬）	正（新潟）	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）
二（新潟）	正	人（新潟）	峻（東京）	誠（新潟）	保	夫（新潟）	一（新潟）	忠	信	喜	夫（新潟）	宏（新潟）	文雄（砂木）	金太郎（新潟）	玉	三男雄（新潟）																				

乙類（三十二名）

東	東	東	新	新	京	新	新	新	新
農	農	農	醫	醫	工	醫	醫	醫	醫
島	田	島	賢司（新潟）	勇次郎（群馬）	鈴木 治（群馬）	外所一義（群馬）	良喜代（新潟）	外科	木	周幸（新潟）
津	島	島								
島	島	島								
宇都宮	紀元（鹿児島）									

甲類（三十二名）

新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
小原又男（福島）	田 文雄（砂木）	河 宏（新潟）	崎 内 塚	黒 信喜 夫（新潟）	川 忠 正（新潟）	宮 譽 一（新潟）	本目黒 哲 夫（新潟）	笹 川	寺	井
馬場金太郎（新潟）										
飯	田	石	内	黒	川	宮	本目黒	笹	寺	井
小	田	河	崎	黒	川	宮	本	笹	寺	井
馬	文	宏	内	喜	忠	譽	哲	川	寺	井
場	雄（砂木）	宏（新潟）	塚	夫（新潟）	正（新潟）	一（新潟）	夫（新潟）	川	寺	井
金太郎（新潟）										
新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
小原又男（福島）	田 文雄（砂木）	河 宏（新潟）	崎 内 塚	黒 信喜 夫（新潟）	川 忠 正（新潟）	宮 譽 一（新潟）	本目黒 哲 夫（新潟）	笹 川	寺	井
馬場金太郎（新潟）										
飯	田	石	内	黒	川	宮	本目黒	笹	寺	井
小	田	河	崎	黒	川	宮	本	笹	寺	井
馬	文	宏	内	喜	忠	譽	哲	川	寺	井
場	雄（砂木）	宏（新潟）	塚	夫（新潟）	正（新潟）	一（新潟）	夫（新潟）	川	寺	井
金太郎（新潟）										
新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
小原又男（福島）	田 文雄（砂木）	河 宏（新潟）	崎 内 塚	黒 信喜 夫（新潟）	川 忠 正（新潟）	宮 譽 一（新潟）	本目黒 哲 夫（新潟）	笹 川	寺	井
馬場金太郎（新潟）										
飯	田	石	内	黒	川	宮	本目黒	笹	寺	井
小	田	河	崎	黒	川	宮	本	笹	寺	井
馬	文	宏	内	喜	忠	譽	哲	川	寺	井
場	雄（砂木）	宏（新潟）	塚	夫（新潟）	正（新潟）	一（新潟）	夫（新潟）	川	寺	井
金太郎（新潟）										

昭和十一年三月卒業（第十五回）（一一二名）

文科甲類（二十六名）

（東經）新井利兵衛（群馬）
東經笠原四郎（新潟）
東經倉澤英夫（福島）
東法中村博（千葉）
東法南部彌之介（新潟）
東法大橋文夫（新潟）
東文佐藤進一（新潟）
東經高島精一（北海道）
京法 慶醫 浦口英夫（長崎）
京法飯塚義通（新潟）
●東經加瀨弘（千葉）
東經黑山覺晴（新潟）
東經中山立平（新潟）
東文西川源一（長崎）
京法大橋道夫（千葉）
京法白井重麿（山形）
●○竹部英一（新潟）
東文渡邊綱也（新潟）
東北法文 伊藤文男（新潟）
東經川本秀夫（東京）
京農本村秀穗（神奈川）
（東經）中澤伸之介（山梨）
東經西村大典（東京）
東法齋藤英一（北海道）
東文須藤滋（秋田）
東文竹內公基（東京）

文科乙類（二十六名）

東文藤田良雄（新潟）
京法川島光雄（三重）
京法岸修祐（新潟）
東北法文 增本外雄（兵庫）
東法中村年夫（新潟）
東法並木四郎（舊福井）（富山）
○木村正男（新潟）
東經幸田健二郎（新潟）
東法向山寬夫（栃木）
東文中島義行（群馬）
九法文柿沼正二（栃木）
京法桐生敏夫（新潟）
東法兒玉基正（栃木）
東經內藤亮（新潟）
東法中島芳雄（新潟）

京法折茂昌三（群馬）
東文赤沼信應（舊關根）（新潟）
●京農塚田芳夫（埼玉）
東北法文 山香弘夫（廣島）
東經小澤正信（愛知）
東文高木博（東京）
東經內田正五（愛知）
京法山根壽雄（鳥取）
（東文）關川肇（新潟）
東法田邊恒夫（新潟）
京法山岸忠三（新潟）

理科甲類（三十七名）

新醫會田俊雄（新潟）
東北醫荒井一郎（栃木）
東理八田亨二（新潟）
東理本間榮一郎（新潟）
（新醫）金子英夫（新潟）
慶應醫加藤三郎（群馬）
京工茂木晃（埼玉）
新醫佐藤甲助（福島）
東工高橋正藏（新潟）
東工氏田市衛（新潟）
東工若月正俊（新潟）
東北工矢浪正夫（東京）
東北理吉永秀太郎（神奈川）
新醫明石勝明（北海道）
東工淺見重夫（新潟）
●○林正樹（新潟）
新醫井村繁樹（新潟）
東醫金子吉雄（新潟）
●東工小池節郎（新潟）
北理仁木達（福島）
新醫佐藤成保（新潟）
新醫寺田宏（新潟）
新醫宇佐美平八郎（新潟）
大工和歌山堯（新潟）
東理橫田伊佐秋（埼玉）
東工青木實（新潟）
東北工大黑尙（新潟）
京工本間章（北海道）
新醫岩永敏男（新潟）
東工片岡正三（新潟）
東農近貞一（新潟）
千醫小川直（茨城）
新醫關泰三（新潟）
東工塚野正夫（東京）
東工臼井昇（福井）
東北理山田金雄（新潟）
東工吉田良三（新潟）

理科乙類（二十三名）

京醫 新井文作（埼玉）　新醫 遠藤三郎（新潟）
東北工 古市勉（新潟）　新醫 北川立夫（新潟）
新醫 北澤俊衛（新潟）　新醫 工藤勝平（長野）
新醫 桝山延夫（新潟）　新醫 毛利正範（宮城）
新醫 中村邦典（新潟）　新醫 野本安行（新潟）
東醫 大谷直木（新潟）　新醫 佐藤謙助（福島）
熊醫 周朝姮（臺灣）　千醫 高野典（舊高田）（埼玉）
新醫 富樫準一（山形）　新醫 植木幸明（新潟）

昭和十二年三月卒業（第十六回）（二一九名）

文科甲類（二十九名）

東經 荒居清藏（栃木）　京法 馬場忠雄（東京）
東文 本間敏雄（新潟）　○ 本城正男（新潟）　東文 藤由理英（新潟）
東文 桑田利人（富山）　東經 金子公（新潟）　東法 萱野四郎（新潟）
東經 増田高安（神奈川）　東經 松本一（新潟）　東文 森永祐司（神奈川）
東法 畠秀雄（新潟）　東經 南雲眞一（新潟）　東經 成瀬壽郎（鳥取）
東經 大辻越堂（東京）　東文 齋藤大典（千葉）　東經 坂井賢太郎（新潟）

東法 佐藤郁雄（新潟）　東文 佐藤久衛（新潟）
東法 白澤喜久男（新潟）　東經 鈴木正章（群馬）
○ 田村唯雄（新潟）　（東文）山田長幸（三重）
東北法文 山内辰雄（福島）　東經 湯淺清次（群馬）

文科乙類（三十二名）

京經 阿部津芳（福島）　東法 阿久津實（栃木）　東文 助仁藏（千葉）
東法 伴一郎（福岡）　東經 石橋一（福岡）　東法 佐藤健三（舊石川）（新潟）
東法 石川忠夫（静岡）　京法 一瀬益長（山梨）　東經 金井達雄（長野）
東法 神田廉三（新潟）　東法 春日四海（東京）　京法 加藤久夫（愛知）
東文 小林清市郎（新潟）　京法 小泉英信（岡山）　東文 小松伸六（北海道）
東經 藏重正次（山口）　東法 栗山廉平（新潟）　京法 中谷亮治（岡山）
京法 小倉矢郎（大阪）　東經 岡田英作（群馬）　東文 酒井良夫（愛知）
東法 佐藤亮逸（山形）　東法 佐藤至廣（新潟）　東文 關克巳（舊關根）（新潟）
東經 清水榮一（新潟）　東法 眞保辰男（新潟）　東法 鈴木光吉（新潟）
京法 高島守（新潟）　東北法文 谷澤祐東（舊植田）（大阪）　京法 上山善紀（大阪）
京法 山田忠平（新潟）　東文 五十嵐實（舊柳本）（新潟）

理科甲類（二十七名）

東醫 阿部久二（新潟）　相澤玄伯（舊錄郎）（新潟）　東北理 秋野一（新潟）

新醫 村山憲吾（舊藤田）（新潟）
東工業 清水益郎（舊行形）（新潟）
東北工 今井兼義（新潟）
新醫 今成隼次（新潟）
大工 甲賀正一（新潟）
京理 古關健一（新潟）
東工 窪田義次（青森）
京工 丸山哲二（新潟）
新醫 松山知中（山形）
京工 內藤定雄（新潟）
東工 落合一郎（群馬）
大理 佐久間虎光（福島）
東農 佐藤禮吉（新潟）
東工 下野誠兒（愛知）
東理 鹽谷正雄（新潟）
東工 白根一郎（新潟）
新醫 鈴木貞吉（新潟）
東理 東城眞佐男（新潟）
大工 上田虎之助（東京）
新醫 植村清司（新潟）
新醫 內田武（新潟）
大工 內山辰丙（靜岡）
新醫 渡邊卓三（新潟）
大理 山本德太郎（群馬）

理科乙類（三十一名）

新醫 荒木節郎（佐賀）
新醫 林浩二（群馬）
新醫 平井隆二（新潟）
大醫 廣瀬辰夫（新潟）
新醫 本田正三（新潟）
東醫 星野智雄（新潟）
新醫 石原八十馬（新潟）
•新醫 井東親一（新潟）
大醫 金井篤長（群馬）
新醫 金澤裕（新潟）
東醫 加瀬正夫（千葉）
新醫 北村惣一郎（新潟）
新醫 小松周三（茨城）
新醫 倉井永榮（新潟）
新醫 水內賢籏（群馬）
千醫 最上谷德郎（北海道）
新醫 中原耕一（新潟）
東北醫 西幹男（新潟）
新醫 大西清（北海道）
東醫 坂內啓文（新潟）
•新醫 三五義夫（新潟）
新醫 鈴木保穗（新潟）
京醫 高橋敬道（東京）
京醫 竹山誠一（新潟）
岡醫 豐田立郎（廣島）
新醫 筑波朔郎（新潟）
新醫 若月閲夫（山形）
新醫 渡邊龍五（新潟）
東農 山田榮（東京）
東北理 吉井典（新潟）

新醫 吉村三郎（長野）

昭和十三年三月卒業（第十七回）（一一七名）

文科甲類（二十八名）

九法文 青木潤一（新潟）
東法 箆梅三郎（新潟）
（東北法文）波磨孝雄（岐阜）
京經 濱田國三郎（新潟）
○ 濱田收郎（新潟）
京法 藤野久隆（大阪）
東法 古瀬吾助（新潟）
京法 生田重光（富山）
東文 今津藤一（東京）
新醫 石黒生二（新潟）
東文 石黒大俊（富山）
東法 •伊藤隆清（鹿兒島）
東文 笠原一男（新潟）
東北法文 丸山行雄（新潟）
京農 宮武惠（香川）
京法 桃田孝雄（新潟）
東經 木村保（神奈川）
東經 永井祐信（兵庫）
京法 西本吉郎（北海道）
新醫 西大條博（三重）
京經 能村正（新潟）
東文 小川博（新潟）
東文 坂井壽夫（新潟）
東法 杉田信一（新潟）
東經 鈴木勇（新潟）
京文 渡邊是（新潟）
東經 矢口鐵太郎（東京）
○ 吉田房雄（茨城）

文科乙類（三十名）

京法 安倍大祐（新潟）
東法 安達次郎（福島）
東法 朝日燁（福井）
京文 濱島崇（福島）
東經 早船春洋（埼玉）
東經 樋口武（新潟）
東文 人見春雄（福島）
京文 藤森完治（山口）
•東經 藤岡信（新潟）

東京新東東○京東●新新　東東東京東東
理工醫醫農　工工醫醫　文文文經經法經
和富七佐坂永小木五十青　田達酉森小石今
田所里崖井野柳村嵐柳　中川尾山林山北
成克義德正平孝　昌　精農貫巳季雄治衛長仁
人巳雄義義一已已一正新　一夫一一夫衛三(東
岡(新新新新新新新新新　新新新新新新(京
山)潟潟潟潟潟潟潟潟潟　潟潟潟潟潟潟)

科　甲　理

東京(東新東○東東京岡　新東東東北東東
工工醫農　工理工醫類　醫文法醫經經
山坪高澤榊内眞小石江　徳田小永香宗栃猪俣
本田井野原藤山出井畠　重　川井我部惣
邦元忠十正大英　久忠　(二十九名)
夫幸介麿男吉俊靖哲三(秩　茂史良雄守(東四郎(埼
(静(神奈(愛(新(長(新(新　岡潟川潟潟京玉潟)
岡川潟潟知潟野潟田

新新東新東東東九北　東東○(新新醫醫
醫醫工醫農農工醫工　法法　醫)
上谷品佐野村小川本　山田小永前木石
原川田藤田山村山村岡　代中沼井田村田
篤眞順家之亮　宣邦良　俊正　敏政徳弘
二郎三助次登雄男一(新　雄已裕夫二(山
(新(新(秋(新(新(山(新　潟潟潟潟潟潟)
潟潟潟田潟潟潟潟潟)

科　乙　理　(三十名)

新新新千新新新新千　新新新千新新新千
醫醫醫醫醫醫醫醫醫　醫醫醫醫醫醫醫醫
山田高佐中宮柏布藤猿　岸崎橋藤島原井施倉川
岸崎橋藤島原井施倉川　隆弘　卓正哲征有一
一殺嘩俊也夫郎濱三(編　一　秀英顯義三　義
(新新(埼(新(兵(新新(　郎(宏(雄(橋(新(新(新(新(新(新
潟潟玉潟玉潟潟潟潟)　編)新)潟潟潟潟潟潟)

昭和十四年三月卒業（第十八回）（二〇〇名）

科　甲　文類　(二十五名)

新京東新　東東京岡　新東東東北東東
醫法經農　工理工醫類　醫文法醫經經
丸小假岡　眞小石江　徳田小永香宗栃猪
山泉田郎　内澤榊　重　川井我部惣
平　利幸　　久忠　(二十九名)
夫(新(岡(新彦　茂史良雄守(東四郎(埼
潟)山)潟潟潟　岡潟川潟潟京玉潟)

京東東京　新東東北東東
法法文農　醫醫醫醫經
永近石安　田長谷木桃荻佐高田
井藤本達　嶋川村貝野井三正
修享洪生恒　多嶌司(群　馬)　二好　(二〇〇名)
三一(新規(新　(新潟)　郎(新信(福島)
兵)潟潟潟潟　　　　　　　　潟)

東東　大新新新新新新
(東北法文　醫醫醫醫醫醫
法法)　全渡高大中前金岡本
南小喜保　田達安橋井山山子原
波柳安坂　　一秀英顯義三
健泰尚勝　郎宏雄橋三(正作(
治(新平之(愛(新　(福(新(栃(新(新(新
潟)夫)潟)潟)潟　島潟木潟潟潟潟)

東工金子一士（新潟）
東工小坪正寛（新潟）
東工岡尾守幸北海道（新潟）
京工南雲彰一郎（新潟）
東工小原康作（新潟）
京工曾川浩（新潟）
東工倉田久介（新潟）
東工龜山政美（新潟）
東工本岡啓（京）
東工金野倫吉（東京）
新潟工業專門學校（新潟）
東工高木武夫（新潟）
東工鈴木二郎（京）
東工佐藤作（新潟）
東工小原康（新潟）
東工川路人（新潟）
東工田中信義（新潟）
東工鈴木勘吉（新潟）

理科乙類（二十三名）

東工本岡啓（京）
東工金野倫吉（東京）
新潟工業專門學校（新潟）
東工岡尾守幸北海道（新潟）
京工南雲彰一郎（新潟）
東工小坪正寛（新潟）
東工金子一士（新潟）
京工三國文次郎（新潟）
東工倉田久介（新潟）
東工龜山政美（新潟）
東工本林太郎（新潟）
新潟工業專門學校（新潟）
千葉工業專門學校（千葉）
東工小谷市藏（新潟）
東工井上玉（新潟）
東工鈴木泰男（新潟）
東工小原康（新潟）
東工川路人（新潟）
東工田中信義（新潟）
東工鈴木勘吉（新潟）

理科乙類

東工本岡啓（京）
東工金野倫吉（東京）
新潟工業專門學校（新潟）
千葉工業專門學校（千葉）
東工龜山政美（新潟）
東工本林太郎（新潟）
新潟工業專門學校（新潟）
千葉工業專門學校（千葉）
東工小谷市藏（新潟）
東工井上玉（新潟）
東工鈴木泰男（新潟）
東工小原康（新潟）
東工川路人（新潟）
東工田中信義（新潟）
東工鈴木勘吉（新潟）

東工金野倫吉（東京）
新潟工業專門學校（新潟）
千葉工業專門學校（千葉）
東工龜山政美（新潟）
東工本林太郎（新潟）
新潟工業專門學校（新潟）
東工小谷市藏（新潟）
東工井上玉（新潟）
東工鈴木泰男（新潟）
東工小原康（新潟）
東工川路人（新潟）
東工田中信義（新潟）
東工鈴木勘吉（新潟）

東工本岡啓（京）
東工金野倫吉（東京）
新潟工業專門學校（新潟）
千葉工業專門學校（千葉）
東工龜山政美（新潟）
東工本林太郎（新潟）
新潟工業專門學校（新潟）
東工小谷市藏（新潟）
東工井上玉（新潟）
東工鈴木泰男（新潟）
東工小原康（新潟）
東工川路人（新潟）
東工田中信義（新潟）
東工鈴木勘吉（新潟）

理科甲類（二十六名）

京工安藤安二（新潟）
東工業專門學校（新潟）
京工池田武（新潟）

理科甲類

京工安藤安二（新潟）
東工業專門學校（新潟）
京工池田武（新潟）

京工安藤安二（新潟）
東工業專門學校（新潟）
京工池田武（新潟）

文科乙類（二十六名）

東文新井利明（埼玉）
京法稲本平澤（新潟）
京經小林稔（新潟）
東文小林秀朗（新潟）
京經阿部三郎（新潟）
東文鈴木泰（新潟）
京法佐藤益英（新潟）
東經佐藤一（新潟）
京法竹村俊一（新潟）
京經三浦一（新潟）
東文石川俊夫（新潟）
京法白鳥尾崎（新潟）
東經竹内豐治（新潟）
京經田邊昇（北海道）
京法山崎俊雄（新潟）

東文新井利明（埼玉）
京法稲本平澤（新潟）
京經小林稔（新潟）
東文小林秀朗（新潟）
京經阿部三郎（新潟）
東文鈴木泰（新潟）
京法佐藤益英（新潟）
東經佐藤一（新潟）
京法竹村俊一（新潟）
京經三浦一（新潟）
東文石川俊夫（新潟）
京法白鳥尾崎（新潟）
東經竹内豐治（新潟）
京經田邊昇（北海道）
京法山崎俊雄（新潟）

昭和十五年三月卒業（第十九回）（二〇九名）

甲類（二十二名）

文科

（東京）法　常盤志深加賀谷徳吉（東京）法
（東京）農　小長谷一治（秋田）
（東）経　信濃哮峰栄一（新潟）
（東）経　賀川島山栄一（新潟）
（東京）法　常盤志深加賀谷徳吉（東京）法
（東京）農　小長谷一治（秋田）
（東）経　信濃哮峰栄一（新潟）
（東）経　賀川島山栄一（新潟）
（東京）法　常盤志深加賀谷徳吉（東京）法
（東京）農　小長谷一治（秋田）
（東）経　信濃哮峰栄一（新潟）
（東）経　賀川島山栄一（新潟）

乙類（三十名）

文科

（東北）文　大西田谷利夫（新潟）　（東）文　江間道保男（石川）　（東）文　稲庭静一郎（新潟）　（東）法　伊藤啓助（山形）　（東）経　金田道男（新潟）　（東）文　西田保（石川）　（東北）文　谷川千木堆一（新潟）　（東）経　利夫川（新潟）
（東北）文　大西田谷利夫（新潟）　（東）文　江間道保男（石川）　（東）文　稲庭静一郎（新潟）　（東）法　伊藤啓助（山形）　（東）経　金田道男（新潟）　（東）文　西田保（石川）　（東北）文　谷川千木堆一（新潟）　（東）経　利夫川（新潟）
（東北）文　坂部重九山（新潟）　（東北）文　野村上川（新潟）　（東）経　金石田子友（新潟）　（東）法　伊藤啓助（山形）　（東）文　稲庭静一郎（新潟）　（東）文　江間道保男（石川）　（東）経　金田道男（新潟）　（東）文　西田保（石川）
（東北）文　坂部重九山（新潟）　（東北）文　野村上川（新潟）　（東）経　金石田子友（新潟）　（東）法　伊藤啓助（山形）　（東）文　稲庭静一郎（新潟）　（東）文　江間道保男（石川）　（東）経　金田道男（新潟）　（東）文　西田保（石川）

理科

（東）工　鳥竹尾村丸山林小林洋三郎片山一雄（東京）　（東）農　松安芳政友治（東京）　（東）農　林琅山洋一郎（新潟）　（東）農　尾村琅山洋一郎（新潟）　（東）工　丸山林小林洋三郎片山一雄（東京）　（東）農　安芳政友治（東京）　（東）農　琅山洋一郎（新潟）　（東）農　村琅山洋一郎（新潟）
（東）工　鳥竹尾村丸山林小林洋三郎片山一雄（東京）　（東）農　松安芳政友治（東京）　（東）農　林琅山洋一郎（新潟）　（東）農　尾村琅山洋一郎（新潟）　（東）工　丸山林小林洋三郎片山一雄（東京）　（東）農　安芳政友治（東京）　（東）農　琅山洋一郎（新潟）　（東）農　村琅山洋一郎（新潟）

乙類（三十八名）

理科

（東北）工　本田重六堆一（新潟）　（東）理　出平島（東京）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）
（新）医　本田重六堆一（新潟）　（新）医　出平島（東京）　（新）医　谷川健夫郎（新潟）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）
（東）工　本田重六堆一（新潟）　（新）医　出平島（東京）　（新）医　谷川健夫郎（新潟）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）
（新）医　本田重六堆一（新潟）　（新）医　出平島（東京）　（新）医　谷川健夫郎（新潟）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）

甲類（二十九名）

理科

（東）経　佐藤正彌（新潟）　（東）経　高橋俊二（新潟）　（東）法　鳥島久男（静岡）　（東）経　原田豊義城（新潟）　（東）法　伸悦豊（新潟）　（東）経　上富智義（新潟）　（東）経　田良（新潟）
（東）経　佐藤正彌（新潟）　（東）経　高橋俊二（新潟）　（東）法　鳥島久男（静岡）　（東）経　原田豊義城（新潟）　（東）法　伸悦豊（新潟）　（東）経　上富智義（新潟）　（東）経　田良（新潟）
（東）経　末松栄太郎（山口）　（東）経　法雪野二堆（長野）　（東）経　立高来栄一（新潟）　（東）経　川松末栄太郎（山口）　（東）経　法雪野二堆（長野）　（東）経　立高来栄一（新潟）　（東）経　川松末栄太郎（山口）
（東）経　末松栄太郎（山口）　（東）経　法雪野二堆（長野）　（東）経　立高来栄一（新潟）　（東）経　川松末栄太郎（山口）　（東）経　法雪野二堆（長野）　（東）経　立高来栄一（新潟）　（東）経　川松末栄太郎（山口）

乙類（三十八名）

理科

（東）工　工藤義輔（新潟）　（東）工　川場馬（新潟）　（東）工　早藤吉（新潟）　（東）農　澤行廣一（東京）　（東）工　山片愛小（新潟）　（東）工　川澤行廣一（東京）　（東）農　藤早吉（新潟）　（東）工　場馬（新潟）　（東）工　義輔（新潟）
（東）工　工藤義輔（新潟）　（東）工　川場馬（新潟）　（東）工　早藤吉（新潟）　（東）農　澤行廣一（東京）　（東）工　山片愛小（新潟）　（東）工　川澤行廣一（東京）　（東）農　藤早吉（新潟）　（東）工　場馬（新潟）　（東）工　義輔（新潟）
（東）工　本田重六堆一（新潟）　（新）医　出平島（東京）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）
（新）医　本田重六堆一（新潟）　（新）医　出平島（東京）　（新）医　谷川健夫郎（新潟）　（東）理　尾蔭陽英堆（神奈川）　（東）理　名理工美堆（新潟）　（東）工　佐藤岡桑小林（東京）　（東）工　小川健比子（栃木）　（東）工　山田佐藤政友（新潟）　（東）農　宮藤芳夫（新潟）　（東）農　崎美堆（新潟）

(慶醫)今井仁(新潟)　(新醫)岩永護(新潟)　(新醫)古寺一郎(新潟)
(京醫)駒形泰男(新潟)　(千醫)熊谷中(長野)　(新醫)草野磐(新潟)
(新醫)眞部雅(新潟)　(千醫)松永千秋(新潟)　(名醫)野垣四郎(愛知)
(千醫)宮田靜一(茨城)　(東醫)小川喜敏(新潟)　(新醫)太田狷亮(新潟)
(名醫)齋藤修(群馬)　(京醫)杉本芳彦(新潟)　(名醫)錫村滿(新潟)
(千醫)高橋有恒(新潟)　(京醫)高橋一雄(新潟)　(新醫)高橋吉郎(新潟)
東農富永時任(北海道)　(新醫)渡邊修作(新潟)　(新醫)渡邊健(新潟)
(京醫)山田利夫(千葉)

昭和十六年三月卒業（第二十回）（一二〇名）

文科甲類（三十四名）

(京農)秋葉敬三(千葉)　(東文)荒川勇(大阪)　(京經)朝倉隆夫(新潟)
(東北法文)波田野靜治(新潟)　(京經)林辰彦(新潟)　(京法)平林達郎(長野)
(東經)保坂忠吾(新潟)　(東法)今成秀三郎(新潟)　(京經)神取芳德(三重)
(京經)金倉剛敬(埼玉)　(新醫)金子立白(新潟)　(京法)笠間良一(埼玉)
(東北法文)北村隆(東京)　(京文)小久保勝夫(大阪)　(京文)松井元夫(北海道)
(東文)水野清藏(神奈川)　(東文)中山弘嘉(新潟)　(東經)西島雅弼(滋賀)
(京法)仁多見一彦(新潟)　(東經)緒方太郎(東京)　(東文)大久保正(新潟)
(東法)齋藤英治(秋田)　京經)坂内益雄(新潟)　(東法)坂内龍雄(新潟)

(東經)坂路正幸(福島)　(東文)佐々木庸一(北海道)　(京法)椎野哲男(神奈川)
(東北法文)白井光雄(愛知)　(東文)高野國夫(新潟)　(東文)宇尾野宏(新潟)
(東經)漆原誠之助(東京)　(東北法文)漆山邦衞(新潟)　(神戸商)山口逢二(東京)
(京農)安井成喜(千葉)

文科乙類（三十一名）

(京法)赤星武次郎(山形)　(東文)朝日徹(福井)　(京法)星野仲二(群馬)
(東法)石井仁(鳥取)　(東法)片桐英才(福島)　(東經)川村榮助(新潟)
(京法)萱森壽春(新潟)　(東經)北村武敏(長野)　(東經)喜安信雄(愛媛)
(新醫)小島瑞(新潟)　(東法)牧康治(東京)　(京文)牧野彊(福井)
(京法)三鬼彰(福島)　(京法)水谷貞輝(愛媛)　(京法)長田貞一(福井)
(東文)野澤浩(新潟)　(京文)岡島博(三重)　(東法)佐伯悟郎(東京)
(東文)齋藤力(山形)　(京經)坂部重久(山形)　(東經)佐藤守邦(德島)
(金醫)重野進(新潟)　(名醫)白谷二郎(愛知)　(東北醫)田村正男(東京)
(新醫)田中義一(東京)　(東北法文)富井信郎(長野)　(京法)舍川溥(長野)
(東北法文)塚越久雄(埼玉)　(神戸商)渡邊良(愛媛)　(東經)山本桂(東京)
(東經)吉浦達彌(新潟)

理科甲類（二十八名）

(東北工)相田定次郎(新潟)　(京理)青木元(新潟)　(京工)青木文夫(長野)

（京）工 新井 清一（群）馬
（京）工 藤崎 繁（新）潟
（東）二工 金澤 武（新）潟
（東）農 小巻 平（新）潟
（東）農 正敏 重直（東）京
（東）農 江洲 大（岡）潟
（東）農 出澤 木井 平（静）岡
（東）農 植櫻 幸泰（新）潟
（京）工 吉武 孝（福）岡

乙類（三十七名）

（東）工 星野 仁雄（東）京
（東）工 稻野 藤三郎（新）潟
（京）工 川本 重（新）潟
（東北）工 小池 光三（新）潟
（東）農 山澤 玉（潟）
（東）理 山田 正亨（新）潟
（大）醫 丸山 寶（新）潟
（東）工 稻星 野仁 雄（東）京
（京）工 藤三郎 新（新）潟
（京）工 本重 新（新）潟
（東）工 光三 雄（新）潟
（東）農 三正 新（新）潟
（東）農 光誠 三（新）潟
（東）農 北光 夫（新）潟
（東）農 壯光 夫（新）潟
（東）農 鵬太郎 滝（東）京
（京）工 正公 力（福）島
（東）農 正男 本（新）潟
（京）工 岩細 井（福）島
（東）農 山塚 坂三 草（新）潟
（東）農 崎田 井村 川（新）潟
（東）農 鵬太郎 滝（東）京
（京）工 正公 力（福）島
（東）農 正男 本（新）潟
（京）工 岩細 井（福）島
（東）農 山塚 坂三 草（新）潟
（東）農 崎田 井村 川（新）潟

（千）醫 吉岡 幸（東）京
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟

（東）醫 新井 幾（玉）
（新）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟
（東）醫 藤井 健（新）潟
（東）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟

（東）醫 新井 幾（玉）
（新）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟

（千）醫 吉岡 幸（東）京
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟

（東）工 新井 清一（群）馬
（京）工 藤崎 繁（新）潟
（東）工 金澤 武（新）潟
（東）農 小巻 平（新）潟
（東）農 正敏 重直（東）京
（東）農 江洲 大（岡）潟
（東）農 出澤 木井 平（静）岡
（東）農 植櫻 幸泰（新）潟
（京）工 吉武 孝（福）岡

（京）工 新井 清一（群）馬
（京）工 藤崎 繁（新）潟
（東）工 金澤 武（新）潟
（東）農 小巻 平（新）潟
（東）農 正敏 重直（東）京
（東）農 江洲 大（岡）潟
（東）農 出澤 木井 平（静）岡
（東）農 植櫻 幸泰（新）潟
（京）工 吉武 孝（福）岡

（東）醫 新井 幾（玉）
（新）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟

（千）醫 吉岡 幸（東）京
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟

（東）醫 新井 幾（玉）
（新）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟

（東）經 石田 善（東北帝大）
（東）經 明 吉（富）山
（京）經 岡山 芳雄（新）潟
（京）法 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（東）經 石田 善（東北帝大）
（東）經 明 吉（富）山
（京）經 岡山 芳雄（新）潟
（京）法 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

乙類（三十二名）

（東）經 石田 善（東北帝大）
（東）經 明 吉（富）山
（京）經 岡山 芳雄（新）潟
（京）法 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（東）醫 新井 幾（玉）
（新）醫 宮澤 松太郎（新）潟
（東）醫 井藤 貢（新）潟
（東）醫 澤 健（新）潟
（東）醫 近藤 一（新）潟
（千）醫 中坂 一（新）潟
（千）醫 谷田 士（新）潟
（東）醫 啓（埼）玉
（東）醫 坂中 近（新）潟
（新）醫 田谷 一（新）潟

（千）醫 吉岡 幸（東）京
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟
（東）醫 横田 大（東）京
（千）醫 吉山 高（新）潟
（東）醫 野室 信一（新）潟
（東）醫 大村 邦（新）潟
（東）醫 山坂 忠（新）潟

（東）經 石田 善（東北帝大）
（東）經 明 吉（富）山
（京）經 岡山 芳雄（新）潟
（京）法 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

昭和十七年三月卒業（第二十一回）（二三七名）

甲類（三十七名）

文科

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

乙類（三十二名）

文科

（東）經 石田 善（東北帝大）
（東）經 明 吉（富）山
（京）經 岡山 芳雄（新）潟
（京）法 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

（京）經 吉積 周清（静）岡
（東）經 岡山 水（岡）山
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京
（京）法 櫻井 英（岡）山
（東）經 大塚 新（東）京

(東法)阿野男生(長野)
(東文)林爲春(東京)
(東經)金井彌壽郎(新潟)
(京法)川上繁(栃木)
(京法)永守三郎(東京)
(東文)中村四郎(秋田)
(東北法文)小野浩二(新潟)
(東北法文)高野寛(新潟)
(東經)田崎弘(新潟)
(東經)和田博(新潟)
(東北法文)羽村孝道(東京)
(東法)本間慧(秋田)
(新醫)金澤正(新潟)
(金醫)丸川敏平(新潟)
(東北法文)中本幹夫(神奈川)
○根本芳弘(福島)
(京法)須藤一雄(新潟)
(京經)田村弘市(福島)
(新醫)田島茂男(埼玉)
(京經)米川實(茨城)
(東北法文)原田俊作(東京)
(東法)飯田和雄(新潟)
(京文)笠原安治(群馬)
(東文)松本正(群馬)
(東經)中村六郎(新潟)
(京法)小鹿原龍男(新潟)
(新醫)鈴木寛(栃木)
(東法)田村宣明(新潟)
(東北法文)寺田泰夫(石川)

理科甲類(三十四名)

(東二工)安達直義(新潟)
(新醫)藤野臻(新潟)
(東一工)今井清(新潟)
○川崎政信(新潟)
(京工)源川誠(新潟)
(京工)中川三夫(新潟)
(新醫)大藤一夫(新潟)
(東北工)佐野恒夫(岡山)
(東二工)相田實(新潟)
(京理)藤山久雄(神奈川)
(東二工)伊崎宏(岐阜)
(京理)小堀正明(茨城)
(東工業)長戸毅(新潟)
(東農)中山慶一(秋田)
(東一工)齋藤俊文(新潟)
(東北工)佐藤良吉(新潟)
(東二工)濱田敏衞(新潟)
(東工業)池田邦夫(長野)
(京工)上島孔明(長野)
(大工)松澤立身(大阪)
(京工)長山毅一(秋田)
(京工)中山鐘二郎(静岡)
(東工業)酒井辛一(東京)
(東北工)杉之内武男(栃木)

(東一工)杉山弘治(静岡)
(新醫)殖栗信義(新潟)
(東北工)山田豐(新潟)
(東理)山崎敬(神奈川)
(名醫)竹內末次(愛知)
(東工業)牛山一(山梨)
(京工)山岸文雄(長野)
(東工業)寺田利雄(東京)
(東農)渡會末彥(愛知)
(東北工)山信田連三(秋田)

理科乙類・(三十四名)

(東二工)安藤誠也(新潟)
(新醫)石原八十秋(新潟)
(東醫)金井茂(新潟)
(千醫)川村明義(東京)
(東醫)小林脩(新潟)
(新醫)松谷豐(新潟)
(新醫)永井逢吉(新潟)
(京醫)二宮貞雄(三重)
(名醫)小野廣喜(秋田)
(千醫)酒井六郎(群馬)
(京醫)重田精一(群馬)
(東農)柳谷岩雄(新潟)
(新醫)長谷川弘(新潟)
(東農)石塚亘(新潟)
(東醫)加藤威司(福島)
(新醫)河村元彥(新潟)
(京工)小池博(埼玉)
(東醫)宮尾登英(新潟)
(東醫)中山徹也(新潟)
(東一工)西山長吉(新潟)
(千醫)大塚梅治(新潟)
(新醫)佐藤善吉(神奈川)
(新醫)高橋光雄(新潟)
(新醫)深野千里(新潟)
(東一工)嚴眞溫(神奈川)
(名醫)勝俣正孝(樺太)
(東北理)幾石敬夫(神奈川)
(名工)松橋欣一(長野)
(東農)本島哲三(群馬)
(東北醫)中島康彥(山梨)
(新醫)荻間勇(新潟)
(新醫)小澤英夫(新潟)
(京醫)澁谷孝(埼玉)
(北醫)内田孝治(石川)

昭和十七年九月卒業（第二十二回）（一九二名）

文科甲類（四十二名）

（新醫）竝木　喬（廣島）　（東文）足高昌郎（奈良）
（東經）長谷川良二（新潟）　（東文）畑　喜一（新潟）
（東文）伊藤正春（新潟）　（京法）岩上光男（東京）
（京文）桐本源一郎（和歌山）　（京文）木阪　登（廣島）
（東文）小松亮範（山形）　（東經）小澁明男（千葉）
（東經）宮本　信（埼玉）　（東文）濱口昇三（新潟）
（京文）中野繁雄（新潟）　○　濁川　悼（新潟）
（京法）小川祥（岡山）　（東文）大平芳夫（長野）
（新醫）岡村　茂（新潟）　（京法）長田　孝（神奈川）
（京經）澁谷駿吉（兵庫）　（京法）高橋康太郎（秋田）
（東文）瀧澤博夫（長野）　（東經）田邊華一郎（山梨）
（京法）富岡愼吉（秋田）　（新醫）内島晴夫（東京）
（東文）山口康助（福島）　（東文）渡部榮一（東京）
（京文）山崎榮（栃木）　（京法）山中　博（千葉）
（京法）吉田武利（新潟）　（新醫）吉住五郎（東京）

文科乙類（四十二名）

（東經）阿邊太郎（山形）　（京農）赤津敬二郎（福島）
（京文）畠山和雄（新潟）　（東北法文）星　二郎（福島）
（東文）伊狩　章（新潟）　（東北醫）池田　弘（東京）
（東文）伊藤新作（新潟）　（京經）勝村　肇（茨城）
（新醫）倉澤　忠（栃木）　（新醫）村上直人（栃木）
（京法）中村正秀（新潟）　（東經）中西民雄（香川）
（東文）中田英三（樺太）　（東北法文）新津義雄（新潟）
（東文）野水哲郎（新潟）　（東北法文）沼田幸雄（茨城）
（九法文）小原　晃（東京）　（東文）大橋信夫（新潟）
（京文）小貫瑞夫（秋田）　（京經）太田隆治（東京）
（新醫）坂井吉次（新潟）　（東北法文）庄司芳雄（北海道）
（東北法文）田中力也（東京）　（東文）田中健夫（群馬）
（東經）藁谷精一（福島）　（東法）渡邊正弘（新潟）
○　山城彬成（長野）　（東法）姚　榮（臺灣）

理科甲類（一）（三十四名）

（京工）羽生榮吉（千葉）　（東一工）廣瀨正幸（新潟）
（東一工）細川忠世（新潟）　（京工）古澤眞成（岐阜）
（京工）本間　素（山形）
（東工業備）池邊　洋（東京）

○

加納　持　正富（東二工）
持田　敏啓二（京工）
倉森　修（九工）
佐津藤　敏郎（京）
中宮　正（千醫）
小杉　作二（神奈川）
文　精岩夫（新潟）
伊藤　岩夫（新潟）

（三十五名）

甲類　（二）

波多野　隈一雄（東二工）
多田　雄（新潟）
深井　修（東一工）
池金　修（佐賀）
入堀本平（新潟）
川間村（新潟）
公良平（新潟）
勇（東京）
夫（新潟）
一（新潟）
平（新潟）
夫（新潟）
幸（東醫）
夫（新潟）
郎（三新）
潟）
知（新潟）
川（東京）
順之介（新潟）
一（香川）
真（愛知）
河（東京）
上（東京）
坂（東京）
野（東京）
原（東京）
園（東京）
男（東京）
英（新潟）
雄（新潟）
郎（新潟）
敏（新潟）
芳（愛知）
雄（新潟）
周（新潟）
一（東京）
陽（新潟）
郎（東京）
男（東京）
二（東京）
正（東京）
芦（東京）
崎（東京）
雄（東京）
一（東京）
順（東京）
東（東京）
夫（東京）
一（東京）
夫（東京）
一（東京）
哲（東京）
敏（東京）
信（東京）
正（東京）
良（東京）
夫（東京）
一（東京）
平（東京）
平（東京）
川（東京）
男（東京）
京（東京）

（三十九名）

乙類

阿部　忠雄（秋田）
浦口　俊夫（新潟）
規　英爽夫（群馬）
今泉　夫（宮城）
狩谷　真二（神奈川）
木村　和一郎（宮城）
久保田真一郎（新潟）
三浦　順之介（新潟）
中河　真一（香川）
野　真（知川）
上　英男（新潟）
坂　雄（新潟）
小　敏（愛知）
大　芳雄（新潟）
南　周陽（新潟）
森　雄（新潟）
小　周陽（新潟）
島　一郎（新潟）
尾　英男（新潟）
見　雄（新潟）
野　周陽（新潟）
池　雄（新潟）
本　周陽（新潟）
岡　雄（新潟）
部　周陽（新潟）
三　雄（新潟）
茂　周陽（新潟）
三　雄（新潟）
京　周陽（新潟）

理科

野　正（長野）
田　眞（東京）
内　東（東京）
岸　修（東京）
蓑　秀（東京）
堆　一（千葉）
島　東（東京）
郷　村（東京）
新　堆（千葉）
東　雄（東京）
鳥　東（東京）
京　東（東京）
山　東（東京）
田　東（東京）
原　東（東京）
園　東（東京）
男　東（東京）
英　東（東京）
雄　東（東京）
郎　東（東京）
敏　東（東京）
芳　東（東京）
雄　東（東京）
周　東（東京）
一　東（東京）
陽　東（東京）
郎　東（東京）
男　東（東京）
二　東（東京）
正　東（東京）
芦　東（東京）
崎　東（東京）
雄　東（東京）
一　東（東京）
順　東（東京）
東　東（東京）
夫　東（東京）
一　東（東京）
哲　東（東京）
敏　東（東京）
信　東（東京）
正　東（東京）
良　東（東京）
夫　東（東京）
一　東（東京）
平　東（東京）
平　東（東京）
川　東（東京）
男　東（東京）
京　東（東京）

○

○卒業生一覽表

卒業年次		文科		理科		計
		甲類	乙類	甲類	乙類	
大正十一年	第一回	三四	三五	二八	三三	一一〇
〃十二年	第二回	三二	二六	二八	二一	一〇七
〃十三年	第三回	三六	三四	二五	二九	一二四
〃十四年	第四回	三五	二九	三〇	二八	一一二
〃十五年	第五回	三五	三〇	三八	二八	一三一
昭和二年	第六回	二八	二八	三六	二七	一一九
〃三年	第七回	三五	三〇	三一	三八	一三四
〃四年	第八回	四〇	二六	三〇	三二	一二八
〃五年	第九回	三三	三五	三四	三一	一三三
〃六年	第十回	三二	二九	三〇	三一	一一二
〃七年	第十一回	一七	三三	二八	三五	一一三
〃八年	第十二回	三〇	二八	三五	三六	一一九
〃九年	第十三回	三〇	三三	三一	三二	一一六
〃十年	第十四回	二六	二七	二九	三二	一一四
〃十一年	第十五回	二六	二六	三七	三三	一一二
〃十二年	第十六回	二九	三二	二七	三一	一一九
〃十三年	第十七回	二八	三〇	二九	三〇	一一七
〃十四年	第十八回	二五	二六	二六	三三	一〇〇
〃十五年	第十九回	二二	三〇	二九	二八	一〇九
〃十六年	第二十回	三四	三一	二八	二七	一一〇
〃十七年三月	第二十一回	三七	三二	三四	三四	一三七
〃十七年九月	第二十二回	四二	四二	六九	三九	一九二
合計		六七六	六六二	七〇二	六五八	二六九八

〔一〇〕關係法令

一、高等學校令

第一條　高等學校ハ皇國ノ道ニ則リテ男子ニ精深ナル程度ニ於テ高等普通教育ヲ施シ國家有用ノ人物ヲ錬成シ大學教育ノ基礎タラシムルヲ以テ目的トス

第二條　高等學校ハ官立、公立又ハ私立トス

第三條　高等學校ヲ設立スルコトヲ得ル公共團體ハ北海道及府縣トス

第四條　私立高等學校ハ財團法人タルコトヲ要ス　但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　前條ノ財團法人ハ高等學校ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ高等學校ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス　但シ其ノ基本財產ノ額ハ五十萬圓ヲ下ルコトヲ得ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第六條　公立及私立ノ高等學校ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　高等學校ノ修業年限ハ六年トシ高等科二年、尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條　高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條　削　除

第十條　削　除

第十一條　高等學校尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十二條　高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校ノ尋常科ヲ修了シタル者、中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條　高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以內、尋常科三百二十人以內トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ六百人以內トス

第十四條　高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ　但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合セテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十五條　高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合一學級ノ生徒定數ハ四十人以內トス

第十六條　高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス　但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十七條　高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教授訓練、教科書並生徒ノ入學、退學及懲

戒授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十八條　公立及私立ノ高等學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第十九條　文部大臣ハ公立及私立ノ高等學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條　本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中等學校令ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依ル高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ內第十三條ノ規定ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日迄之ヲ存置ス

附　則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校高等科ニ在學スル生徒（文部大臣ノ定ムル者ヲ除ク）ニ付テハ其ノ修業年限ハ第七條第一項ノ改正規定ニ拘ラス仍從ノ例ニ依ル

中學校令ニ依ル中學校若ハ中等學校令第二十條ノ規定ニ依ル中學校ノ第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者ハ第十二條ノ改正規定ニ拘ラス高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得

二、高等學校規程

第一章　學科課程及教科書

第一節　（略）

第二節　高等科

第四條　高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條　國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智德ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普

通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ヲ習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條　外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表スノ能力ヲ得シメ兼テ智德ノ增進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條　歷史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史、東洋歷史及西洋歷史ヲ授クヘシ

第九條　地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ知識ヲ授クヘシ

第十條　哲學概說ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概說ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條　心理及論理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條　數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條　自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條　物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條　植物及動物、鑛物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

鑛物及地質ハ鑛物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル知識ヲ授ケ又便宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條　法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル知識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條　圖畫ハ形體ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

第十八條　體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

第十九條　文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道、柔道及弓道ヲ加フルコトヲ得

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史	三	五	四
地理	二		
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三

第二十條　理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	
第一外國語	八	六	六
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史			四
地理			
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三
計	(三三四)	(三三四)	(三三〇)
第二外國語	(三)	(三)	(三)
第一外國語	一一	一〇	一〇

毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ　但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シムル此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ

學科目 ＼ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ履修シタル外國語トス			
計	(三二九)	(三二九)	(三二八)

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
數學	四	四	四〔一〕
物理			三 講義三 實驗二五
化學			講義三 實驗二
植物及動物			二 講義二 實驗二四
鑛物及地質			
心理			二
法制及經濟			二
圖畫			二〔一〕
體操	三	三	三
計	二八（三二）	二八（三二）	二八（三二）

第三學年ノ數學〔二〕及圖畫〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義二實驗二〕トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス　但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九
第二外國語		（三）	（三）	（三）
計		三〇（三三）	三一（三四）	三一（三四）

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十一條　專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、法律學、社會學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、鑛物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第二十二條　高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ旨趣ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第二十三條　高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ　但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章　學年、教授日數及式日

第二十四條　學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス　但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條　教授日數ハ尋常科ニ在リテハ毎學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ毎學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス　但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限リニアラス

第二十六條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章　編制

第二十八條　尋常科ニ於テハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス

高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除クノ外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ教員數ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ・但シ兼任教員ハ教員數ノ半數ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十條　公立又ハ私立ノ高等學校高等科ニ於テ劍道、柔道又ハ弓道ノ教授ヲ擔任スル教員ハ前條ノ定數外トス

第四章　設備

第三十一條　高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衞生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條　校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衞生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條　校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條　高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一、學則、日課表及教科用圖書配當表

二、職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三、生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

四、試驗ノ問題、答案及成績表

五、資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具、標本、模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日入學試驗ノ有無、轉退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章　設立及廢止

第三十六條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

一、名　稱
二、高等學校令第七條ノ事項
三、學　則
四、各科ノ生徒定數
五、位置及校地
六、校舍ノ圖面及建設ノ設計
七、開校ノ期日
八、經費及維持ノ方法
前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積並ニ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ
第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第三十七條　公立又ハ私立ノ高等學校ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第六章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メヨリ三十日以內トス
第三十九條　當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語、算術、國史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ檢定ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム
第四十條　他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ
第四十一條　尋常科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ
第四十二條　當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ高等科ニ入學セシムヘシ
第四十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム
一、他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
二、高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
三、專門學校入學者檢定規定ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
四、文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
五、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
第四十四條　當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ行フ試驗

ノ成績トヲ併セ考査シテ入學者ヲ選拔スヘシ　但シ試驗ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

前項ノ考査ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考査ヲ行フコトヲ得

第四十五條　高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體檢査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ　但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限リニ在ラス

第四十六條　高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條　高等學校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以內ニ再入學ヲ志願シタルトキハ銓衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ始メヨリ三十日以內ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十八條　高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第四十九條　高等學校尋常科ト中學校トノ相當學年相互ノ間ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ轉學ヲ許可スルコトヲ得

第五十條　高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素學業及試驗ノ成績ヲ考

査シテ之ヲ定ムヘシ　但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條　學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書、專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ、尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條　學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一年以上缺席シタル者

四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五、出席常ナラサル者

第五十五條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章　豫科

第五十七條　高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校令施行規則ヲ準用ス

第八章　雜則

第五十八條　高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一、學年、學期及休業ニ關スル事項
二、學科課程、教授時數ニ關スル事項
三、課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
四、生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項
五、授業料、入學料等ニ關スル事項

第五十九條　私立ノ高等學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校大學豫科ニ在學スル生徒ニシテ大正十年八月三十一日マテニ卒業セサルヘキモノハ之ヲ高等學校高等科ノ相當學年ニ編入ス

高等中學校規程、明治四十一年文部省令第九號、高等學校大學豫科入學者ノ無試驗檢定規程及高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス　但シ第四十條第二項及第四十四條ノ規定改正ハ本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル　但シ本令ノ規定ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

作業科ハ本令施行後五年以內之ヲ缺クコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ作業科ヲ缺キタル學校ニシテ之ヲ置クニ至リタル際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ第二項ノ例ニ依ル

第三項ノ規程ニ依リ作業科ヲ缺キタル學校ニ於テハ其教授時數ハ適宜之ヲ他ノ學科目ニ配當スヘシ

參　照

明治四十一年文部省令第九號ハ高等學校大學豫科入學者ニ關スル件ナリ

三、高等學校高等科學力檢定規程

高等學校高等科ノ卒業者ニアラサル帝國大學又ハ官立大學學部入學志願者ニ對シ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ高等學校高等科學力檢定試驗施行ノ通告アリタル時ハ別紙規程ニ依リ試驗ヲ施行スヘシ

第一條　高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通告アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス

試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條　試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ　但シ實業、音樂、作業科及體操ハ之ヲ除ク

第三條　試驗ヲ受ケントスル者ハ受驗料金五圓ヲ納ムヘシ既納ノ受驗料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條　試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

證明書

族籍
何　某

何年何月生

右ハ當校試驗ノ成績ニ依リ高等學校高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス

年　月　日

某高等學校長　位勳　氏　　名印

番號

校印

附則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

追加

昭和十七年六月十七日文部省訓令第十八號

高等學校高等科學力檢定規程第一條ニ規定スル試驗ハ當分ノ內七月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

高等學校高等科入學資格試驗規程左ノ通リ定ム

四、高等學校高等科入學資格試驗規程

第一條　高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡滿十六年以上ノ男子ニシテ身體健全、品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條　高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條　試驗ハ中學校第四學年迄ノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ　但シ實業、音樂、作業科及體操ハ之ヲ除ク

第四條　專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルヽ者ニ付亦同シ

第五條　中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條　高等學校高等科入學資格試驗ノ問題、答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條　中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手數料ヲ徵收スルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

四、關係諸規程抄（文部法令彙纂見出）

稱	文部法令彙纂見出 編	頁
○		
文部省直轄學校官制	三	六八ノ六
文部省直轄諸學校職員定員令	三	六八ノ一〇
高等學校教員規程	三	六八ノ一六
學校醫職務規程	一五	八五六
學校傳染病豫防規程	一五	八三七
學生生徒兒童身體檢査規程	一五	八二一
學生生徒兒童身體檢査規程上ノ發育概評決定標準	一五	八二六
行幸啓ノ節學生生徒敬禮方	一〇	二六九
教員無試驗檢定ニ關スル指定學校及學科目	一七	九一一
陸軍現役將校學校配屬令	一〇	二八〇ノ一
學校教練檢定規定	一〇	二八〇ノ二ノ三
高等學校高等科自然科學教授要目	一三	六一五

同　數學（文科）	一三	六一六ノ一
同　圖畫	一三	六一六ノ二
同　數學（理科）	一三	六一六ノ三
同　物理、化學	一三	六一六ノ一五
同　心理及論理	一三	六一六ノ二二
同　植物及動物、鑛物及地質	一三	六一六ノ二五
同　外國語	一三	六一六ノ三〇
同　體操	一三	六一六ノ三四
同　修身、國語及漢文、歷史、地理、哲學概說並法制及經濟	一三	六一六ノ三七

附錄

一、新潟高等學校報國團規則（昭和十五年十一月六日）

第一條　本團ハ新潟高等學校報國團ト稱ス

第二條　本團ノ目的ハ學園一體愈々忠誠報國ノ精神ヲ振起シ團員ノ心身陶冶校風ノ發揚ニ努メ以テ　皇國有爲ノ人材ヲ錬成スルニアリ

第三條　本團團員ハ本校職員並ニ生徒トス

第四條　第二條ノ目的達成ニ必要ナル事業ヲ營ムタメ總務部、鍛錬部、國防訓練部、文化部、生活部及六花寮部ヲ置ク

第五條　總務部ハ本團ノ中核トシテ本團ノ事業全般ニ亘リ其ノ大綱ヲ企畫シ其ノ運營ヲ統制指導スル外本團ノ會計並ニ庶務ヲ管轄ス

鍛錬、國防訓練、文化、生活、六花寮ノ各部ハ總務部所定ノ大綱ニ準ヒ相互ノ緊密ナル連繫ニ於テ各種ノ事業ヲ分擔ス

第六條　本團各部ノ構成ハ左ノ如シ

一、鍛錬部

武道班　劍道部、柔道部、弓道部、水練部、銃劍道部

運動班　野球部、庭球部、籠球部、卓球部、ア式蹴球部、ラ式蹴球部、排球部、競技部、體操部、スキー山岳部

事業班　事業部

二、國防訓練部

操縱班　滑空部

射御班　射撃部、馬術部

海事訓練班　短艇部

三、文化部

學術班　辯論部、讀書部、園藝部、博物研究部、天文研究部、アジア研究部、獨語研究部、理化研究部、英語研究部

藝術班　文藝部、美術部、音樂部、映研部

修養班　佛教研究部、基教研究部、日本精神研究部

四、生活部

購買班　購買部

厚生班　厚生部、相談部

五、六花寮部

總務班　總務部

寮務班　寮務部

第七條　本團團長ハ本校校長之ニ當リ全團ヲ統裁シ團務一切ヲ統轄ス

團長ノ下ニ各種役員ヲ置キ團長之ヲ任免ス

第八條　本團役員左ノ如シ

總務部役員

一、總務部長（一名）　團長ヲ輔佐シ部務ヲ總理ス　職員中ヨリ任命
二、常任理事（若干名）　部長ヲ輔佐シ部務ヲ擔任ス　職員中ヨリ任命
三、理事（若干名）　部長ヲ輔佐シ部務ニ參畫ス　職員中ヨリ任命
四、總務部幹事（若干名）　常任理事指導ノ下ニ部務ニ從事ス
一般幹事ハ一般生徒中ヨリ、學級幹事ハ學級生徒中ヨリ任命
五、會計係（若干名）　本團ノ金錢出納ヲ處理ス　職員中ヨリ任命
六、庶務係（若干名）　本團ノ庶務一切ヲ處理ス　職員中ヨリ任命

各部役員

一、部長（五名）　所屬各班ヲ統轄シ總務部トノ連繫ニ當ル　職員中ヨリ任命
二、班長　班務ヲ掌理シ部長ヲ通シテ總務部トノ連繫ニ當ル　職員中ヨリ任命
三、主任　班内ノ部ヲ統率シ其ノ事業ノ企畫實施ニ當ル　職員中ヨリ任命
四、幹事（若干名）　主任ヲ輔佐シ班内ノ部務ニ從事シ當該部活動ノ推進力トナル一般生徒中ヨリ任命

部長及班長ニハ必要ニ應シ補助ノ役員ヲ附スルコトヲ得

幹事ノ任命ハ毎學年之ヲ行フ

第九條　各種役員會議ハ團長適宜之ヲ開催シ重要事務ニ付諮問スルコトアルヘシ

第十條　職員ハ團費トシテ毎月俸給月額ノ百五十分ノ一ヲ納付スルモノトス

第十一條　生徒ハ團費トシテ一ケ年金拾五圓ヲ第一期授業料ト同時ニ納付スルモノトス

第十二條　生徒ハ入團ノ際入團費金五圓ヲ團費ト共ニ納付スルモノトス

第十三條　本團會計ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

二、新潟高等學校報國團會計規程

第一條　本團ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
會計年度ニ關スル收入支出ノ出納ハ翌年五月三十一日迄ニ完結セシム

第二條　本團ノ收入ハ團費全額、入團費總額ノ三分ノ二、寄附金、基本金利子ヨリ成ル

第三條　本團會計ノ收入支出豫算ハ總務部ニ於テ毎年一月中ニ之ヲ編成シ團長之ヲ決定ス
各班長ハ十二月中ニ班内ノ部ノ豫定經費要求書ヲ取纏メ各部部長ヲ經テ總務部ニ提出スヘシ

第四條　豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ハ之ヲ款項ニ區分ス

第五條　豫算ニハ豫備費ヲ設ケ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補ヒ又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツ
豫備費ノ割當ハ總務部ニ於テ査定シ團長之ヲ決定ス

第六條　豫算殘餘ハ本團基本金ニ編入スルモノトス　但シ團長ニ於テ特ニ必要ト認ムルトキハ其ノ一部若クハ全部ヲ繰越金トスルコトアルヘシ

第七條　寄附ノ申入レアリタル場合ハ團長ノ許可ヲ得總務部ニ於テ領收スルモノトス

第八條　總務部及各班内ノ部ニ於テ經費ヲ使用セントスルトキハ必ス所定ノ傳票ヲ用フヘシ
物品ノ購入ハ出來得ル限リ購買部ヲ通シテ之ヲ行フヘシ

第九條　總務部及班內ノ部ニ於ケル支出豫算各項目間ノ流用ハ團長ノ承認ヲ受クヘシ

第十條　本團會計ノ收入支出決算ハ總務部ニ於テ六月中ニ之ヲ調製シ團長ノ檢査ヲ經ルモノトス

各班長ハ六月十五日迄ニ班內ノ部ノ決算報告書ヲ取纏メ各部長ヲ經テ總務部ニ提出スヘシ

第十一條　會計係ハ物品原簿、現金出納簿、團費收入簿、支拂請求綴及受領證綴ヲ整理保管シ各年度末ニ於テ總務部長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第十二條　班內ノ部幹事ハ當該部ニ關スル會計簿、物品出納簿ヲ整理保管シ每年七月及十二月中ニ之ヲ當該部主任ニ提出シ其ノ檢閱ヲ受クヘシ

第十三條　左記各號ニ該當スルモノヲ以テ本團ノ基本金トス

一、入團費ノ五分ノ二

二、基本金トシテ特ニ指定セラレタル寄附金

三、豫算ノ殘餘

第十四條　六花寮部ノ會計ハ之ヲ特別會計トシ別ニ定ムルトコロノ規程ニ從テ之ヲ經理ス

報國團役員

○職員側○　　昭和十七年十二月一日

團　長　中村校長

總務部長　廣政教授

常任理事　坪田生徒主事、小林教授、赤松教授、巢山教授、鈴木(光)教授、落合教授

永井教授、妹尾教授

理　事　眞保教授、平澤教授、坂部教授、羽鳥教授、望月教官、學級主任全部

庶務係　入山書記

會計係　小山書記、大鹽書記

◎錬成部長　小林教授

○武道班長　坂部教授　副班長　本間講師(劍道部)　坂部教授(弓道部)

主　任　平澤教授(柔道部)　本間講師(銃劍道部)

堀田教授(水練部)　北井助教授　五十嵐講師

○運動班長　落合教授　副班長　永井教授(籠球部)

主　任　眞保教授(野球部)　落合教授(庭球部)　永井教授(籠球部)

竹內教授(ラ式蹴球部)　妹尾教授(ア式蹴球部)　平井教授(卓球部)

豐坂教授(排球部)　三條講師(陸上競技部)　小林教授(スキー山岳部)

五十嵐講師(體操部)

○事業班長　小林教授

主　任　村川講師(事業部)

◎國防訓練部長　坪田生徒主事

○操縱班長　坪田生徒主事

主　任　坪田生徒主事(滑空部)

○射御班長　村川講師

主　任　村川講師(射撃部)　荒井講師(馬術部)

○海事訓練班長　植村教授

◎文化主事　赤松村教授（婦人部）
　副部長　永井教授
　第一班長任長　赤松教授
　第二班長任長　保松教授（歴史部）　永松教授（讀書部）　植村教授（アジア研究部）
　第三班長任長　中眞貫教授（圖書部）　八田教授（博物研究部）　鈴木（保）教授（天文研究部）
　音樂班長任長　平井教授（英語研究部）　小林教授（理化研究部）
　美術班長任長　志賀助教授（美術部）　石井教授（音樂部）
◎生活主事　小林山松木澤赤松教授（佛教研究部）　八田教授（基教研究部）　家永教授（日本精神研究部）
　修養班長任長　赤松教授（映畫研究部）
　厚生班長任長　小林山松教授（購買部）
　購買班長任長　小林山松教授
◎學術部長　赤松教授
　第一班長任長　赤松教授
　第二班長任長　保松教授（婦人部）　永松教授（讀書部）　植村教授（アジア研究部）
　第三班長任長　中眞貫教授（圖書部）　八田教授（博物研究部）　鈴木（保）教授（天文研究部）
　音樂班長任長　平井教授（英語研究部）　小林教授（理化研究部）
　美術班長任長　志賀助教授（美術部）　石井教授（音樂部）
◎厚生班長任長　河東教授（厚生部）　山東教授（相談部）
◎修養班長任長　赤松教授
◎生活主事　落合教授（寮務部）
　寮務班長任長　永井教授（寮務部）
◎六花寮部長　坪田生徒主事

三、新潟高等學校報國團六花寮部規程　（昭和十年七月）

第一條　六花寮ハ本校生徒心得ノ領チ實踐體得スベキ修練道場ナリ、此處ニ入寮スル者ハ一體同心特ニ左ノ點ニ留意シツヽ、校風樹立ノ中心タランコトチ期スベシ

和親　互ニ誠意チ以テ協同實力發揮

自覺　眞實己ニ克ツ努力奉公

至誠

第二條　六花寮部長ハ本校生徒主事之ニ當リ、團長ノ命チ奉シ部務チ掌理ス

第三條　寮生ハ本校學則第三十三條ニ據ル入寮者並ニ部長ノ特ニ許可セル入寮者ヨリ成ル

第四條　寮生ハ入寮ノ際規定ノ書式ニ依リ保證人連署ノ在寮證書チ提出スベシ

第五條　寮生ハ學年末ニ於テ總テ退寮スベキモノトス、中途退寮セントスルモノハ部長ノ許可チ受クベシ

第六條　六花寮部幹事ハ寮生中ヨリ選ビ團長之チ任命ス

◎六花寮部長　坪田生徒主事
　寮務班長任長　永井教授
　寮務主任　落合教授（寮務部）

第七條　幹事中ヨリ總務、副總務、各寮長ヲ選任ス、總務、副總務、各部寮長ハ總務部ニ屬ス
總務部幹事ハ部長統率ノ下ニ班長、部主任ノ指導ニ依リ寮內ノ規律、風紀ヲ維持シ清潔整頓ヲ督勵シ各種行事ノ企畫實施ニ當ル

第八條　全幹事ハ寮務部ニ屬ス、部內ニ庶務係、會計係、炊事係、敎養係及福利係ヲ置キ寮長、部主任指導ノ下ニ各種事務ヲ分擔遂行ス

第九條　寮內ニ於ケル各室人員ノ配當ハ部長之ヲ定ム

第十條　各室ニ室長ヲ置ク、部長之ヲ任命ス

第十一條　部長ハ必要ニ應シ本部役員會ヲ開キ本部ノ部務ニツキ諮問スルコトアルヘシ

第十二條　寮生會合セントスルトキハ豫メ部長ニ屆出其ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　寮生規約ハ園長ノ認可ヲ經テ之ヲ實行スルモノトス

規約ヲ以テ定ムル事項左ノ如シ

一、舍內ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト

一、舍內ノ淸潔衞生ニ關スルコト

一、其ノ他寮務ノ分擔遂行ニ關スルコト

第十四條　外出時限ハ午前六時ヨリ午後十時迄トス　但シ翌日休業ナルトキハ午後十一時迄トス

第十五條　寮生ノ門限後其ノ他隨時點檢ヲ受クルモノトス

點檢ノ方法ハ部長之ヲ定ム

第十六條　左ノ場合ニハ速カニ其ノ事由ヲ具シ總務部幹事及寮務係ヲ通シ部長ニ屆出其ノ許可ヲ受クヘシ

已ムヲ得サル事情ノ爲メ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキ

外出中已ムヲ得サル事情アリテ歸寮時ニ遲レタルトキ

已ムヲ得サル事情アリテ外泊セントスルトキ又ハ外出中外泊セサルヘカラサル事情生シタルトキ

四、新潟高等學校報國隊規則

一、新潟高等學校報國團ヲ強化シ有事即應ノ體制ヲ確立スル爲報國隊ヲ設ク

二、本報國隊ハ新潟高等學校報國隊ト稱ス

三、本報國隊ハ報國團員タル敎職員及生徒全員ヲ以テ之ヲ組織ス

四、本報國隊ハ本隊、特別警備隊トス

本隊ハ報國隊全員ヲ以テ組織ス

特別警備隊ハ非常變災時ニ於ケル特別警備等ノ任ニ當リ得ル者ヲ以テ組織ス

五、報國隊長ハ學校報國團團長之ニ當リ全員ヲ統督ス

六、本報國隊ニ本部ヲ設ク

本部役員左ノ如シ

副隊長　一名　敎職員中ヨリ任命

部附　若干名　同

副官　一名　同

七、本報國隊ニ三個ノ中隊ヲ置キ中隊ハ之ヲ小隊ニ小隊ハ之ヲ分隊ニ分ツ

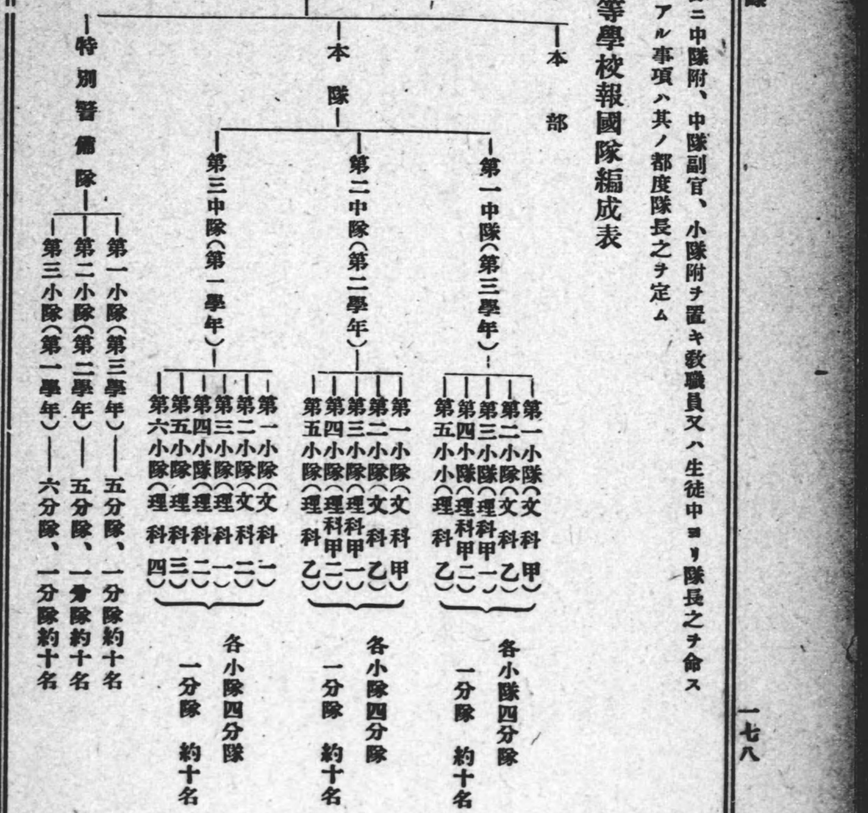
中隊、小隊、分隊ニ各長ヲ置ク

中隊長及小隊長ハ敎職員又ハ生徒中ヨリ分隊長ハ生徒中ヨリ隊長之ヲ命ス

中隊長、小隊長ヲ生徒ヲ以テ充ツル場合ハ夫々指導敎官ヲ附スルモノトス

八、各中隊、小隊ニ中隊附、中隊副官、小隊附ヲ置キ教職員又ハ生徒中ヨリ隊長之ヲ命ス
以上ノ外必要アル事項ハ其ノ都度隊長之ヲ定ム

一、新潟高等學校報國隊編成表



新潟高等學校報國隊部隊長其他

昭和十七年十月

一、本部
報國隊長　中村校長
報國隊副隊長　廣政教授（報國團總務部長）
本部附　眞保教授　平澤教授　坂部教授　小林教授　羽鳥教授
赤松教授　巢山教授　伊藤中尉（配屬將校）
望月大佐（配屬將校）　貝沼書記　中山書記　大鹽書記
小山書記　入山書記
坪田生徒主事

二、本隊
副官
第一中隊長　平澤教授（兼本部附）
第一小隊長　家永教授（學級主任）
第二小隊長　三條講師（同）
第三小隊長　鈴木教授（同）
第四小隊長　落合教授（同）
第五小隊長　永松教授（同）
中隊附　河野教授　石井教授　八田教授　北井助教授　荒井講師
中隊副官　本間講師（教練教官）

△（河野教授）

小隊附　各小隊生徒　一名宛　五名
分隊長　各小隊生徒　四名宛　二十名
第二中隊長　小林教授(兼本部附)
第一小隊長　植村教授(學級主任)
第二小隊長　永井教授(同)　△(中島教授)
第三小隊長　平井教授(同)
第四小隊長　志賀助教授(同)
第五小隊長　市原講師(同)
第六小隊長　妹尾教授(同　△(澤木教授)
中隊附　中島教授　堀田教授　鷺坂教授　澤木教授　野田講師
五十嵐講師
中副隊官　村川講師(教練教官)
小隊附　各小隊生徒　一名宛　六名
分隊長　各小隊生徒　四名宛　二十四名
備考　小隊長中△(　)印ハ特別警備隊ノ派遣セラレタル後ノ代理小隊長
三、特別警備隊
中隊長　落合教授
第一小隊長　妹尾教授
第二小隊長　永井教授

中隊副官　村川講師
中隊附　五十嵐講師　本間講師
小隊附　各小隊生徒　一名宛　三名
分隊長　第一小隊　生徒　五名
第二小隊　生徒　五名
第三小隊　生徒　六名

五、新潟高等學校同窓會會則

第一章　總　則

第一條　本會ハ新潟高等學校同窓會ト稱ス
第二條　本會ハ會員相互ノ親睦向上ヲ圖リ在校生トノ關係ヲ密接ナラシメ併セテ母校ノ發展ニ貢獻スルヲ以テ目的トス
第三條　本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メニ左ノ事業ヲ行フ
一、會員名簿ノ發行
二、會報ノ發行
三、其ノ他本會ノ目的ヲ達スル爲メ適當ナル事業
第四條　本會ノ事務所ハ新潟高等學校内ニ置ク

第二章　會員及役員

第五條　本會ノ會員ヲ別テ左ノ二種トス

一、普通會員　新潟高等學校卒業生及本校ニ在籍セル者ニシテ役員會ノ承認ヲ經タル者
二、特別會員　新潟高等學校ノ職員及職員タリシ者

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一、會　長　一　名
二、理　事　若干名
三、評議員　若干名
四、幹　事　若干名

第七條　會長ニハ學校長ヲ推戴ス
理事ハ總會ニ於テ會員中ヨリ選擧ス
評議員ハ各支部總會ニ於テ若干名宛選出ス
幹事ハ特別會員及各年度各級卒業生中ヨリ一名宛選出ス

第八條　理事、評議員及幹事ノ任期ハ二ケ年トス　但シ重任ヲ妨ケス

第三章　會　務

第九條　會長ハ本會ヲ代表シテ會務ヲ總理ス
會長事故アルトキハ會長ノ指名シタル理事其ノ職務ヲ代理ス

第十條　理事ハ會務ヲ掌理ス

第十一條　評議員及幹事ハ會務ヲ援助ス

第十二條　會長、理事、評議員及幹事ヲ以テ役員會ヲ組織ス

第十三條　本會ハ每年一回總會ヲ開ク

第十五條　役員會及總會ハ會長之ヲ招集ス
役員三名以上ノ贊成ヲ得テ役員會ノ招集ヲ又其ノ過半數ノ贊成ヲ以テ臨時總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
會員ハ五十名以上ノ贊成ヲ得テ役員會又ハ臨時總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前二項ノ請求アリタルトキハ會長ハ速カニ之ヲ招集スルコトヲ要ス

第十六條　役員會及總會ノ議決ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第十七條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十八條　普通會員ハ終身會費トシテ金五圓納入スルコトヲ要ス

第四章　支　部

第十九條　會員多數在住スル地ニハ役員會ノ承認ヲ得テ支部ヲ置クコトヲ得

第二十條　各支部ハ本會ノ目的遂行ニ努メ總會ヲ開キ其ノ他適切ナル事業ヲ行フ

校内防護團ノ編成ハ附表第一、人員差出區分ハ附表第二ノ如シ

空襲警報アリタル際ハ警報班員ハ速ニ之ガ傳達ニ努メ其他ノ勤務員ハ
所定ノ位置ニ集合シ班長・係長指揮ノ下ニ其ノ任務ニ服スベシ
附除ノ者モ防火其他ニ協力シ危險迫ルトキハ第二十九條所定ノ如ク行
スベシ

第三章　警報及對空監視

校内ニ於ケル警報ノ種類及傳達方法ハ左ノ如シ

(1)	警戒警報	口頭ヲ以テ傳達ス
	同　解除	口頭ヲ以テ傳達ス
(2)	空襲警報	「ベル」ヲ三秒置キニ六秒間ヅヽ十回鳴ラス
(3)	空襲警報解除	「ベル」ヲ只一回一分間鳴ラス
(4)	瓦斯警報	「ガス」ト連呼ス
(5)	同　解除	「ガスナシ」ト連呼ス
(6)	火災警報	「何個所火災」ト連呼ス
(7)	敵機警報	口頭ヲ以テ敵機ノ數・位置並ニ其去來ノ方向ヲ傳達ス

警報班傳達係ハ空襲警報ノ傳達並ニ之ガ解除ノ傳達ヲ主タル任務トス
モ併セテ對空監視哨ノ報スル敵機狀況ノ傳達ニ務ムベシ

對空監視係ハ空襲警報アリタルトキハ直ニ所要ノ器材（双眼鏡・メガ
ホン等）ヲ携行十二階段上ニ於テ對空監視ニ當リ、若シ敵機ヲ發見セル
トキハ速ニ所要事項ヲ警報班ニ通達スベシ

[illegible]解除サレタルトキハ班長ノ許可ヲ得テ對空監視ヲ解ク

エト6042
(附表あり)

昭和十八年一月廿五日印刷
昭和十八年二月一日發行

新潟高等學校
新潟市西大畑町字濱浦
（電話本校一六〇〇番
宿寄舍一六九九番）

印刷者　本田芳平
新潟市西堀通三番町

刷印所　昭和時報社印刷部
新潟市西堀通三番町
電話七二四番

附表第一

新潟高等學校防護團編成表

（生徒在校中）　昭和十三年一月

區分	任務	人員	準備材料	位置	摘要
本部	一、全般ノ計畫統制及指揮配給 二、命令ノ受領傳達 三、連絡及取締 四、防空其ノ他ニ關スル記錄	團長 一 副團長 二 參與 三 本部附 八	ラヂオ 一 メガホン 三 記錄材料	校長室 事務室 電話室 小使室	一、甲副團長ハ主トシテ本部ノ統轄指導ニ任ス 二、乙副團長ハ主トシテ本部以外各班ノ統轄指導ニ任ス
警護班	一、火災盗難ノ防止 二、要警護物件ノ警護 三、警報班及防火班ニ協力	班長 二 班員 六	メガホン 三	生徒控所	一、一組三名、內一名係長トス 二、主トシテ建物外部ヲ巡視シ警護ニ任シ併セテ警報班及防火班ニ協力ス
警報班	一、校內ヘ警報傳達 二、局地對空監視 三、燈火管制ノ監視 四、連絡指導	班長 一 傳達係 三 監視及連絡係 六	メガホン 六 双眼鏡 一 ラヂオ 一	生徒控所 十二階段	一、對空監視哨ノ位置十二階段トス 二、監視哨ノ控員ハ時宜ニヨリ避難方向ノ誘導ニ任ズルヲ以テ常ニ風向ヲ承知シアルヘシ
防火班	一、燒夷彈ニ對スル防火 二、近火ノ延燒防止	班長 一 (1) 本校舍及體操場迄 二一 (2) 特別教室ホール 一〇	防火ホース [illegible] 防火バケツ [illegible] 防火砂 [illegible] 輕便消火器 [illegible] ポンプ 一 メガホン 一〇	(1)(2) 生徒控所及現場	一、本校舍階上二名、階下及講堂體操場附近ニ三名、又特別教室及ホールニハ五名宛服務スルヲ通常トスルモ必要ニ應ジ控員ヲ服務セシメ或ハ人員ヲ增加ス 二、ポンプハ常ニ待機ノ狀態ニ在ラシメ必要ニ應シ六花寮防護團員操作ニ任ス
防毒班	一、校內瓦斯警報傳達 二、瓦斯檢知及瓦斯地帶ノ標示	班長 一 班員 五	防毒衣 六 防毒面 六 檢知器 一 消毒劑 五	生徒控所	

附表第二

新潟高等學校防護團服務區分表

昭和十三年一月

團長　校長
副團長　教頭
同　生徒課長
參與　配屬將校　校醫　診察醫

班別 ＼ 區隊別	平常服務區隊 第一區隊	平常服務區隊 第二區隊	平常服務區隊 第三區隊	平常服務區隊 第四區隊	臨時服務區隊 第一區隊	臨時服務區隊 第二區隊
本部	區隊長 一 區隊附 八	同上	同上	同上	區隊長 一	同上
警護班	班長 一 文三甲 六	同上 同上	同上 一 理二甲 六	同上 同上	長以下 北寮 七	同上
警報班 (1)警報傳達 (2)局地監視哨	班長 一 三 文二甲 六	同上 同上	同上 一 理三甲 三 理二乙 六	同上 同上 同上	長以下 北寮 四 北寮 六	同上 同上
防火班 (1)本校舍及體操場迄 (2)特別教室及ホール	班長 六 文三乙 一一 理三乙 一〇	同上 同上 同上	同上 文二乙 一一 理甲三 一〇	同上 同上 同上	長以下 南寮 三 中寮 一〇	同上 同上
防毒班	班長 一 文三甲 五	同上 同上	同上 一 理二甲 五	同上 同上	長以下 中寮 六	同上
救護班	班長 一 理三乙 四	同上 同上	同上 一 理二乙 四	同上 同上	長以下 南寮 五	同上